

## 取扱説明書

KQ-788S・KQ-788L

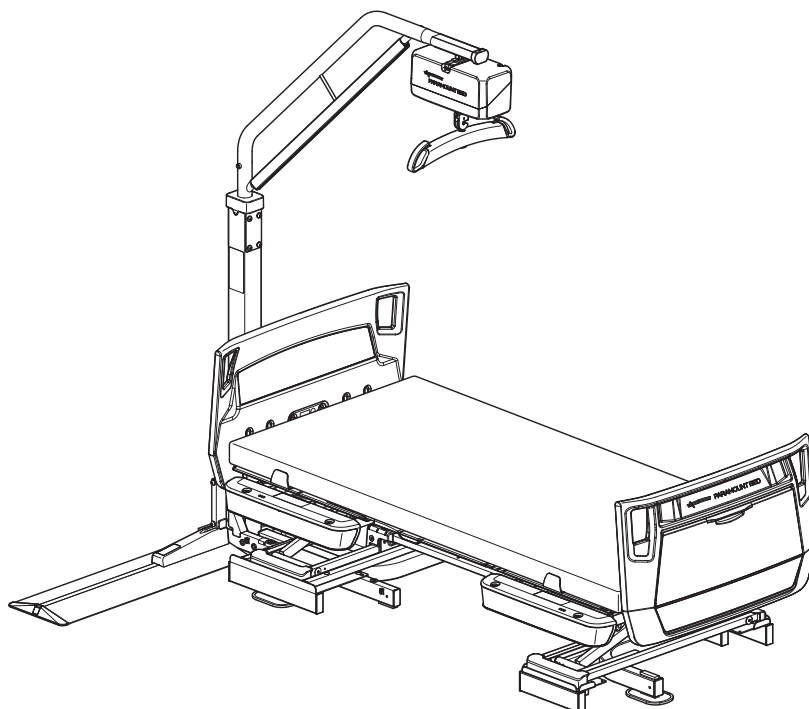
保証書付

7F13087000A3

# Elevedo

エレベオ

## ベッド設置式リフト エレベオ



※イラストは楽匠プラスシリーズ(別売)に取付けた状態です。

### まえがき

このたびは、ベッド設置式リフト エレベオ(以下、介護リフト)をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

この「取扱説明書」には、介護リフトを安全にお使いいただくための注意事項と使用方法などを記載しています。

●介護リフトをお使いになる前に、必ずこの「取扱説明書」および介護リフトを設置するベッドの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しく安全な取扱方法を理解してください。

●ベッドで療養する方ばかりでなく、介護する方もこの「取扱説明書」および介護リフトを設置するベッドの「取扱説明書」をよくお読みください。

●この「取扱説明書」はお読みになった後も、いつでも見られる場所に保管してください。

●お買い上げの製品は、改良などにより、この「取扱説明書」の内容と一部異なる場合があります。

●ご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店または直接弊社までお問い合わせください。

●この介護リフトは日本国内専用です。海外では電源・電圧が異なるため使用できません。

●動作範囲・寸法・角度・質量などの数値の記載がある場合、その数値には多少の誤差が含まれます。特別なものを除きこの「取扱説明書」では、表示を見やすくするため、約・およそといった言葉を省略しております。

# もくじ

<b>1</b> 使用目的・特長	3
<b>2</b> 各部の名称	4
<b>3</b> 安全に使用するための注意事項	5～13
<b>4</b> 使用方法	14～24
1. 昇降ユニット操作部の各部の名称	14・15
2. 手元スイッチの各部の名称	16
3. スイッチを安全に使用するための注意事項	17
4. 手元スイッチのフックの使いかた	17
5. 昇降ユニットを動かしてみましよう	18
6. アームを動かしてみましよう	18
7. 使用しないとき	19
8. スリングシートについて	20～22
9. 乾電池による緊急さげ	23・24
<b>5</b> 設置についての注意事項	25～27
<b>6</b> 部品の確認	28～31
<b>7</b> 組立方法	32～70
1. 設置する向きを決める	33
2. センターフレーム、ベースA、ベースB、ベースCの組立ておよび取付位置	34～40
3. サイドフレームの取付け	41
4. メインフレームの取付け	42・43
5. センターフレームの取付け	44
6. アーム回転止めの取付け	45・46
7. 補助フレームの取付け	46～48
8. 足挟み防止カバーの取付け	48
9. アームの取付け	49
10. 3分岐ケーブルの取付け	50～52
11. ACアダプターの取付け	52
12. 電池ボックスの取付け	53
13. 昇降ユニット・ハンガー・手元スイッチの取付け	54～57
14. ベッドの設置	58
15. ACアダプター・ベッド電源コードの配線	59
16. 緊急停止レバーの準備	59
17. ベッド接続ケーブルの接続	60・61
18. ベッド接続ケーブルの配線	62～70

<b>8 適合オプション</b> .....	71
1. ベッド接続ケーブル (KQ-7881) ※ Q7881 と同じ製品です。 .....	71
2. 分岐ケーブル (KQ-7882) .....	71
<b>9 組立後の点検</b> .....	72 ~ 77
<b>10 定期点検と日常のお手入れ</b> .....	78
1. 定期点検 .....	78
2. 日常のお手入れ .....	78
<b>11 故障かな?と思ったら</b> .....	79 ~ 81
<b>12 長期保管について</b> .....	81
<b>13 分解方法</b> .....	81 ~ 94
1. 分解作業の前に .....	82
2. ベッドの分解 .....	82
3. 昇降ユニット・ハンガー・手元スイッチの取外し .....	83 ~ 85
4. 電池ボックスの取外し .....	85・86
5. ベッド接続ケーブルの取外し .....	86・87
6. ACアダプターの取外し .....	87
7. 3分岐ケーブルの取外し .....	88
8. アームの取外し .....	89
9. 足挟み防止カバーの取外し .....	89
10. 補助フレームの取外し .....	89・90
11. アーム回転止めの取外し .....	91
12. センターフレームの取外し .....	91
13. メインフレームの取外し .....	92
14. サイドフレームの取外し .....	93
15. ベースA、ベースB、ベースCの分解 .....	93
16. 付属部品と分解したユニットの保管 .....	94
<b>14 仕様</b> .....	95
<b>15 アフターサービス</b> .....	96
<b>保証書</b> .....	裏表紙

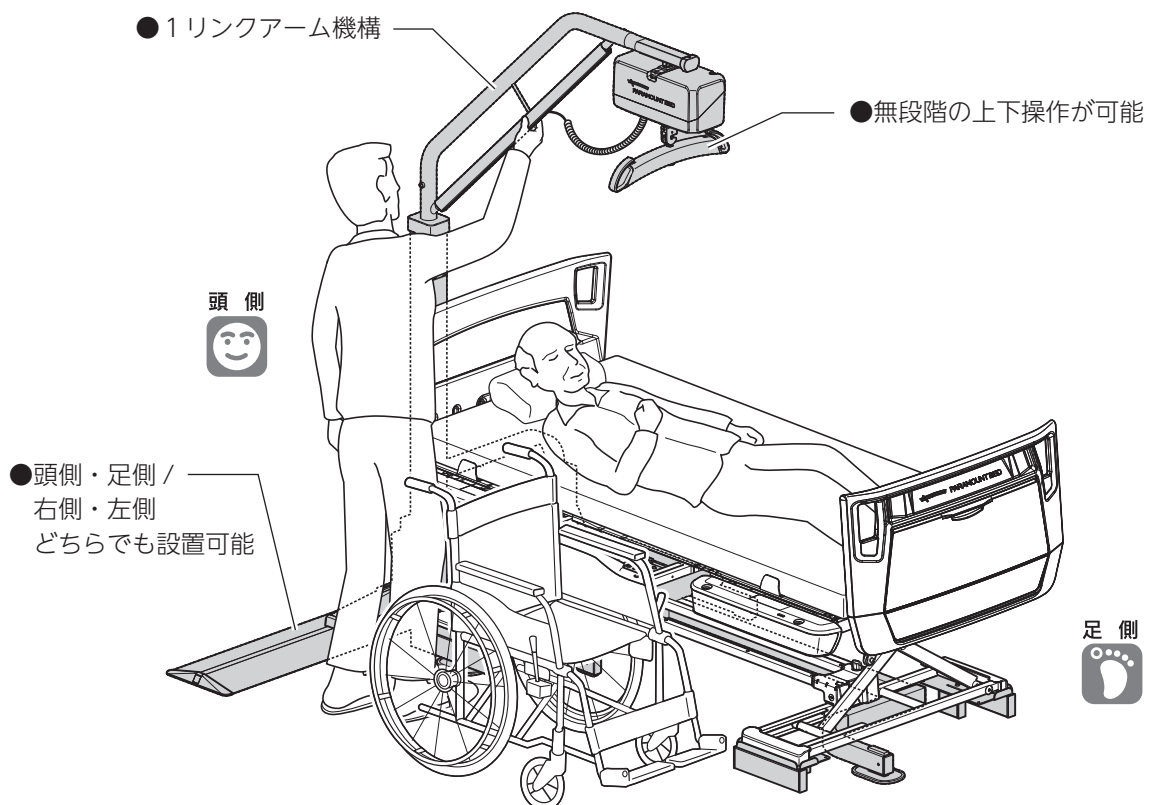
# 1 使用目的・特長

## ■使用目的

介護リフトは、ベッドから車いすへの移動など、さまざまな移乗動作を補助し、介護する方の介護負担を軽くすることを目的に作られています。

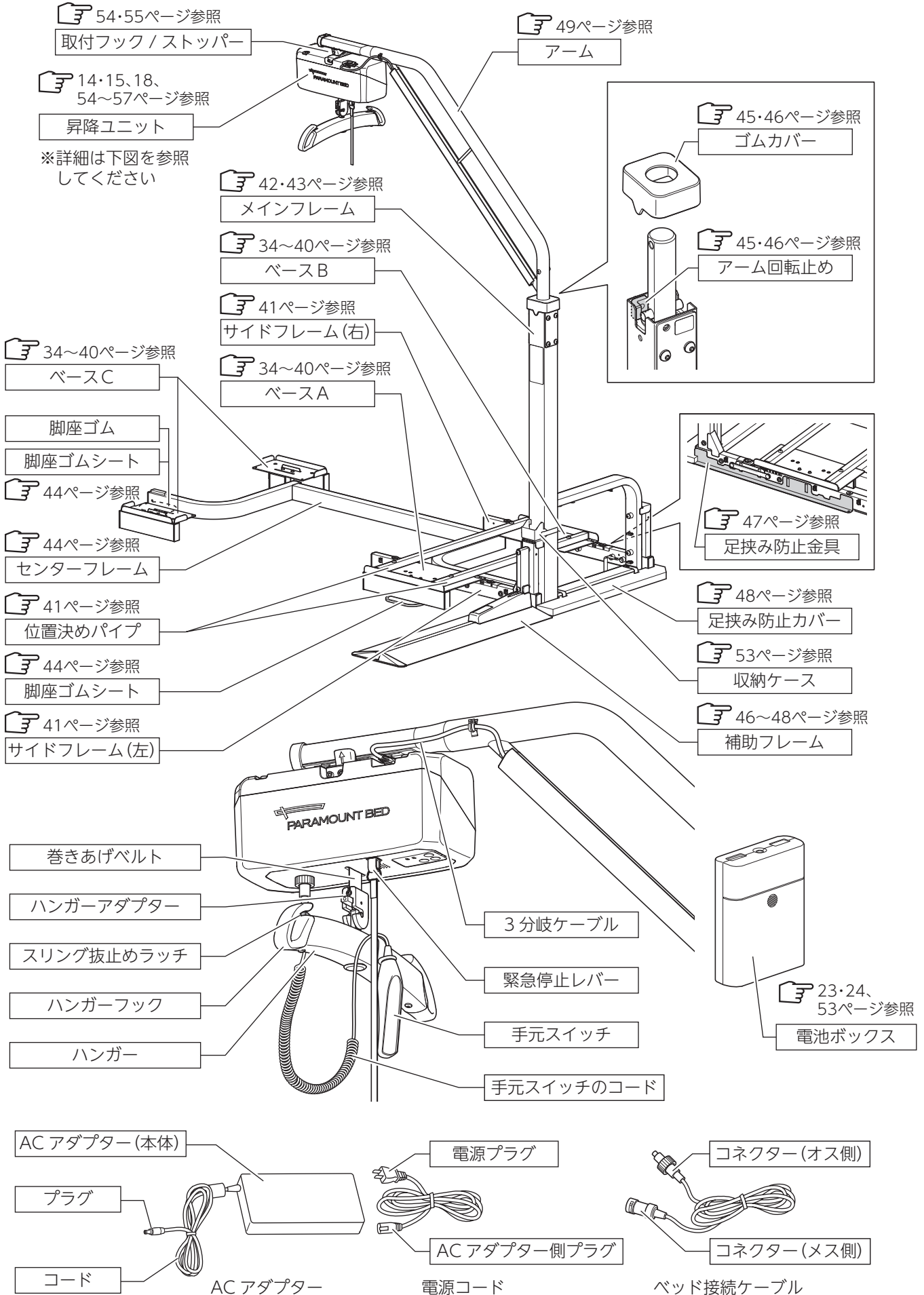
## ■特長

1. 各種適合品のベッドに対応しています。(25・26 ページ参照)
2. ベッドの頭側・足側 / 右側・左側どちらにでも取付けることができるので、介護される方の状態やお部屋のレイアウトにあわせて設置することができます。(33 ページ参照)
3. 1人での設置が可能です。  
(ベッドが設置されている場合、ベッドの分解が必要となります。ベッドの取扱説明書を参照し分解をしてください。介護リフトの設置位置については 32～70 ページ「**7**組立方法」を参照してください)
4. 組立式ですので長期保管時には分解し、コンパクトに収納できます。
5. 昇降ユニットは、手元スイッチや昇降ユニット本体操作ボタンによる無段階の上下操作が可能です。
6. 片手でアームの回転を支えられる 1 リンクアーム機構ですので、安心して移乗させることができます。
7. 操作ボタンや手元スイッチの故障時や停電時などの緊急時でも、あがったままのハンガーを下降させることができます。(23・24 ページ参照)



※イラストは楽匠プラスシリーズ(別売)の頭側 / 右側に取付けた状態です。  
※ベッド・マットレス・車いすは別売です。



## 2 各部の名称



# 3 安全に使用するための注意事項

## ■必ずご使用の前にこの「安全に使用するための注意事項」をよくお読みいただき、正しくお使いください。

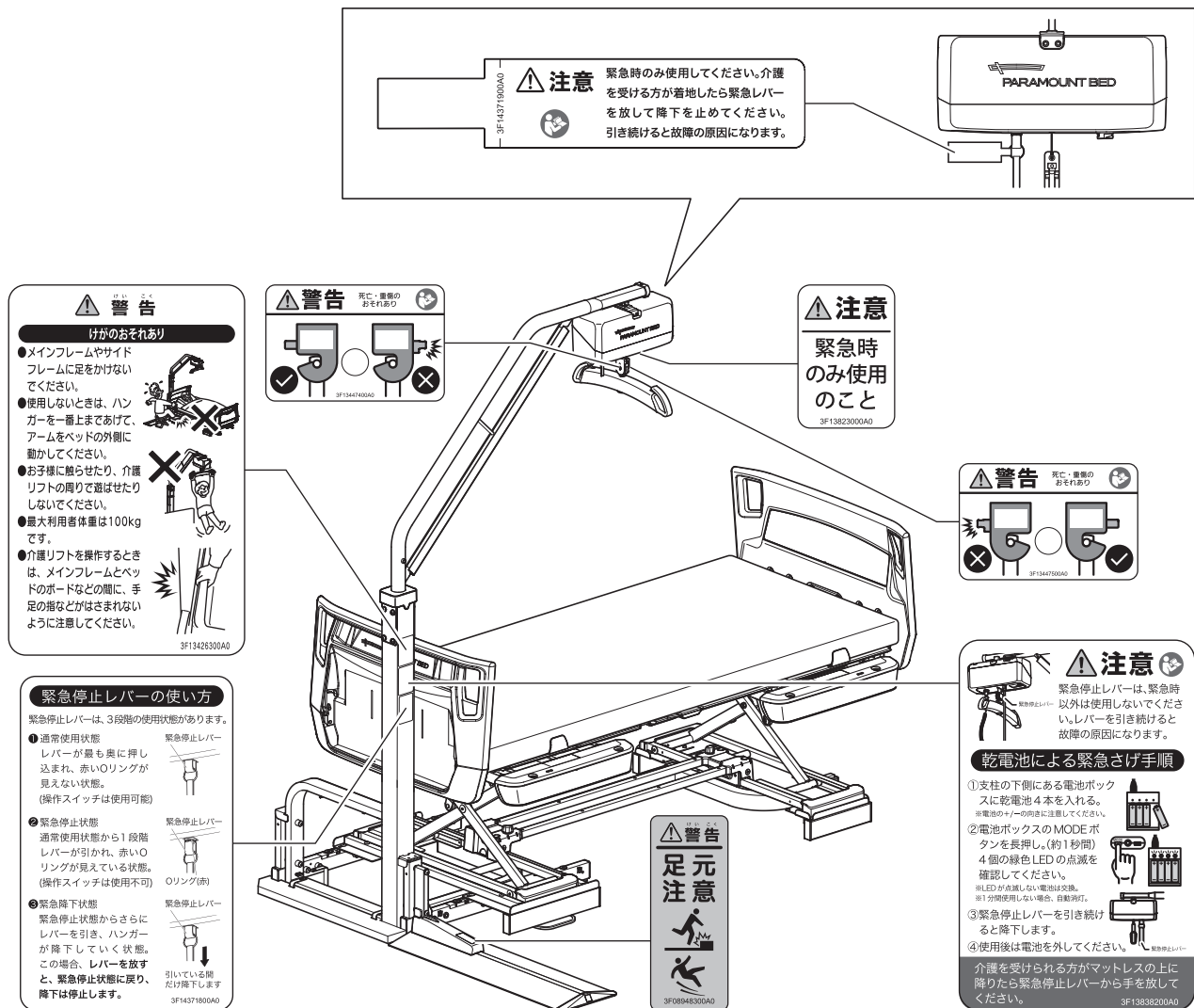
●ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度に応じて「**警告**」と「**注意**」の二つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 <b>警告</b>	この表示を無視して誤った取扱いをすると、死亡または重傷（骨折・圧迫・ <sup>まひ</sup> 麻痺など）を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷（打撲・すり傷・切り傷など）を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

※取扱説明書をお読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

### 【安全ラベルについて】

- 注意事項の中で、介護リフトをお使いになる方に特に注意していただきたい項目をラベルにして、メインフレーム、補助フレーム、昇降ユニットに貼ってあります。はがしたり傷つけたりしないでください。
- ラベルが傷ついたり、はがれたりした場合には販売店から新しいラベルを取り寄せ、正しい位置に貼り直してください。





## ■介護リフトと組合せて使用するベッドやスリングシートなどは弊社が指定する適合品をご使用ください

- 指定以外の製品と組合せると、意図せぬすき間の発生や製品同士の接触、安定性の低下などにより、けがをしたりベッドや介護リフトが故障するおそれがあります。(25・26 ページ参照)
- スリングシートは、弊社が指定する適合品(21・22 ページ参照)をご使用ください。指定以外の製品と組合せると介護を受ける方が不意に落下して、けがをするおそれがあります。また、介護リフトに負担がかかり、介護リフトが故障したりするおそれがあります。

## ■操作が理解できないと思われる方(12歳以下のお子様や認知症の方など)に操作させないでください

- 操作が理解できないと思われる方が、1人で手元スイッチなどを操作した場合、誤って身体がはさまれるなど、思わぬけがをするおそれがあります。1人で手元スイッチなどに触れる可能性がある場合には、昇降ユニットの緊急停止レバーを引き昇降ユニットを停止状態にし、誤操作による事故を未然に防いでください。

## ■2人以上で使用しないでください

- この介護リフトは1人用の設計になっています。2人以上で使用すると、介護リフトが破損してけがをするおそれがあります。

## ■最大利用者体重を超える方を吊りあげないでください

- 介護リフトの最大利用者体重は100kgです。100kgを超える方に使用すると、落下によるけがや、ベッドや介護リフトが破損・変形する原因となります。
- 使用するスリングシートにも最大利用者体重が定められています。スリングシートの最大利用者体重を超える方を吊りあげないでください。スリングシートが破損・変形して、けがをするおそれがあります。

## ■介護を受ける方の症状にあわせて、使用してください

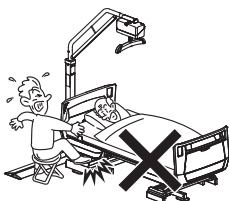
- 介護を受ける方の症状によっては、介護リフトの操作で症状を悪化させる可能性があります。介護リフトのご使用に際しては、専門の医師や理学療法士、作業療法士などに相談してください。
- 関節などに痛みが生じやすい方、床ずれのしやすい方などを吊りあげるときは、慎重に操作してください。

## ■介護リフト操作時およびベッド操作時は、介護リフトの周囲に注意してください

- 昇降ユニットやアームとベッドやサイドレール、壁や周りのものなどとの間やベッドのボードとメインフレームの間にはさまれてけがをするおそれがあります。
- 昇降ユニットやアームが人に当たってけがをしたり、ベッドや家具などに当たり破損したりするおそれがあります。
- ハンガーフックがサイドレールなどに引っ掛かり、介護リフトやサイドレールなどが破損・変形するおそれがあります。
- 特に、予測できない行動をとると思われる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。

## ■メインフレームやサイドフレームに足をかけないでください

- ベッド操作時にはさまれてけがをするおそれがあります。

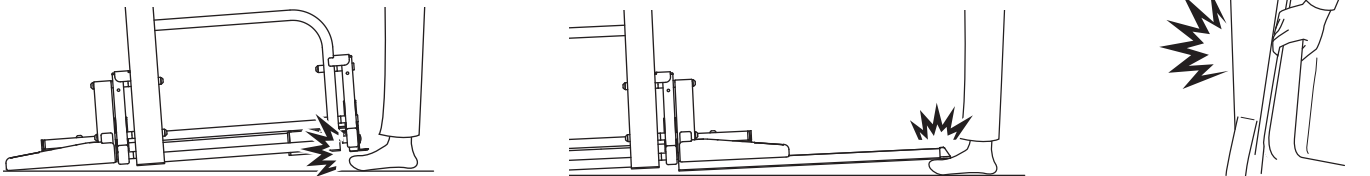


### 3 安全に使用するための注意事項



#### ■介護リフトを操作するときは、サイドフレームやメインフレーム、補助フレームとゆかの間やメインフレームとベッドのボードなどの間に、手足の指やコード類などはさまれないように注意してください

- はさまれてけがをしたり、コード類が断線・破損し、感電・火災のおそれがあります。

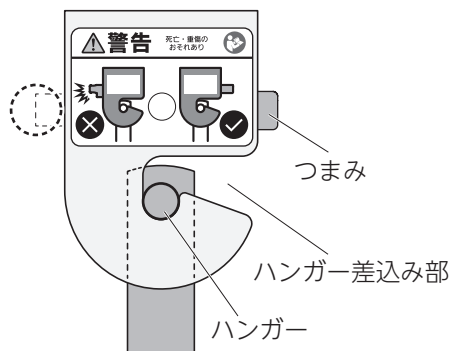


#### ■アームを可動範囲以上に動かさないでください

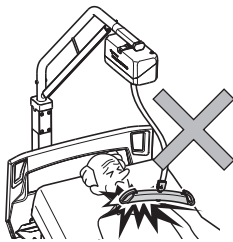
- サイドフレーム、メインフレーム、補助フレームが浮いて、ゆかとの間に足指がはさまれてけがをしたり、コード類が断線・破損し、感電・火災のおそれがあります。
- 無理に動かそうとすると、介護リフトが故障・破損するおそれがあります。

#### ■ハンガーがハンガーアダプターの奥まで差込まれ、つまみがハンガー差込み部の反対側から飛び出していないことを確認してください

- ハンガーがハンガーアダプターから外れ、介護を受ける方が落下してけがをするおそれがあります。

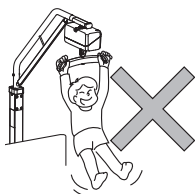


#### ■ハンガーが介護を受ける方の顔などに当たらないように注意してください



- けがをするおそれがあります。
- 特に、スリングシートを着脱するときは、ハンガーを手で支えてください。ハンガーを手で支えないと、ハンガーが揺れたり回転し、ぶつかってけがをするおそれがあります。

#### ■お子様に触らせたり、介護リフトの周りで遊ばせたりしないでください



- 転落・転倒してけがをしたり、介護リフトが破損・変形したりするおそれがあります。
- メインフレームやアームなどのすき間に身体の一部がはさまれて、けがをするおそれがあります。

#### ■アームやハンガーなどにぶらさがったり、ものを掛けたりしないでください

- 転落・転倒してけがをしたり、介護リフトが破損・変形したりするおそれがあります。



## ■介護を受ける方を吊りあげて移乗させる際は、介護を受ける方から目を離さないでください

- 転落・転倒してけがをしたり、介護リフトが破損・変形したりするおそれがあります。

## ■介護を受ける方を吊りあげて移乗させる際は、ゆっくりと動かしてください

- 速く動かすと、介護を受ける方に苦痛や不安を与えるばかりではなく、壁や周囲のものにぶつかったり、落下したりしてけがをするおそれがあります。また、介護リフトが破損・変形したりするおそれがあります。

## ■組立ておよび分解作業時には、部品の取扱いに注意してください

- アームや補助フレーム、メインフレームなどが落下してけがをしたり、アームや補助フレーム、メインフレーム、ゆかなどが破損・変形したりするおそれがあります。
- アームやサイドフレームなどが人に当たってけがをしたり、ベッドや家具などが破損したりするおそれがあります。
- メインフレームが倒れてけがをしたり、メインフレームやゆかなどが破損・変形したりするおそれがあります。

## ■アームに寄りかかったり、アームを手すりとして使用しないでください

- アームが不意に回転し、転倒してけがをするおそれがあります。

## ■介護リフト周辺を移動するときは、頭上や足元に注意してください

- 昇降ユニットやアームに頭などをぶつけて、けがをするおそれがあります。
- メインフレームや補助フレームなどでつまずいて、転倒してけがをするおそれがあります。
- 補助フレームで滑って、転倒してけがをするおそれがあります。
- 車いすで補助フレームを乗り越える際は、ゆっくり乗り越えてください。転落・横転してけがをするおそれがあります。

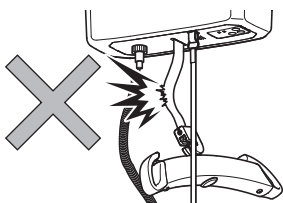
## ■補助フレームなどを外した状態で使用しないでください

- 介護リフトやベッドが転倒して、けがをするおそれがあります。

## ■昇降ユニットの取付け・取外しは、介護を受ける方の上で行わないでください

- 昇降ユニットが落下すると、けがをするおそれがあります。

## ■昇降ユニットの巻きあげベルトにほつれが見つかった場合は、使用を中止してください



- 巻きあげベルトが切れ、介護を受ける方が落下して、けがをするおそれがあります。
- 巻きあげベルトにほつれが見つかった場合は、お買い上げの販売店またはパラテクノコールセンター（96 ページ参照）までお問い合わせください。

## ■ハンガーフックや突起物に衣類などが絡まないように注意してください

- 衣類などが絡まった状態で介護リフトを操作すると、衣類などが引っ張られるなどして、けがをするおそれがあります。
- 介護リフトやベッドなどが転倒して、けがをするおそれがあります。

## ■ハンガーフックに指を入れないよう注意してください

- スリング抜け止めラッチなどの指が挟まって引っ張られるなどして、けがをするおそれがあります。

### 3 安全に使用するための注意事項



#### ■「ベルトを交換してください」の音声アナウンスが発声した場合は、お買い上げの販売店またはパラテクノコールセンターまで巻きあげベルト交換の依頼をしてください

- 数回は使用できますが、使い続けると、上昇ができなくなります。音声アナウンスは、ボタンを押すたびに発声し、巻きあげベルト交換が完了するまで消えません。

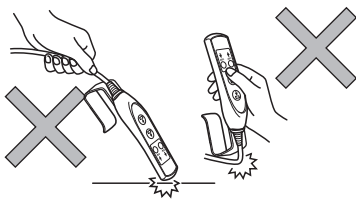
#### ■昇降ユニットの取付フックは確実にアームにかけストッパーが抜けないか確認してください

- 昇降ユニットが外れて介護を受ける方が落下したり、昇降ユニットが落下したりしてけがをするおそれがあります。

#### ■ハンガーや手元スイッチをベッド上に置かないでください

- 巻きあげベルトや手元スイッチのコードなどが介護を受ける方の首や身体などに絡まり、けがをするおそれがあります。
- ハンガーアダプターなどの可動部に手指や足指などがはさまれて、思わぬけがをするおそれがあります。
- ハンガーや手元スイッチがベッドから落下して破損するおそれがあります。

#### ■手元スイッチなどの取扱いに注意してください

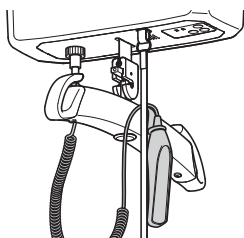


- 昇降ユニットが誤動作してけがをしたり、ショートなどにより感電・火災のおそれがあります。また、故障の原因となります。
  - ぶつかけたり傷つけたりしないでください。
  - 落としたり、コードを無理に引っ張ったりしないでください。
- 傷んだ手元スイッチなどは修理(交換)を依頼してください。
- ハンガーを回転させた際に、手元スイッチのコードが巻きつくことがあります。その状態で動作させると、コードが引っ張られて断線し、ショートなどにより感電・火災のおそれがあります。介護リフトを操作をする前に、コードが巻きついていないか確認をしてください。

#### ■介護を受ける方が手元スイッチや昇降ユニット本体操作ボタンを操作しないでください

- 手元スイッチを落とすと、宙づりのままとなるおそれがあります。
- 思わぬけがをするおそれがあります。

#### ■手元スイッチを使用しないときは、ハンガーなどに引っ掛け、ベッド上やゆかに置かないでください



- 誤ってボタンが押され、意図せぬ昇降ユニットの動きにより、けがをするおそれがあります。

けい こく  
**警告**

**■電源プラグにほこりを付着させないでください**

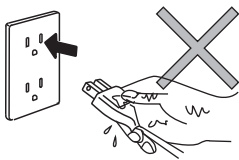


- 電源プラグの表面にほこりが付着していると水分を含んで電流が流れ、ショートなどにより、感電・火災のおそれがあります。
- 電源プラグの表面にほこりが付着している場合、乾いた布などでよく拭き取ってください。

**■電源プラグに無理な力を加えないでください**

- 電源プラグが破損し、感電・火災のおそれがあります。

**■電源プラグを濡れた手で抜き差ししないでください**



- ショートして感電したり、故障したりするおそれがあります。

**■電源プラグを抜く際は、プラグ部を持って抜いてください**

- コードのみを持って引き抜くとコードが傷んで、感電・火災のおそれがあります。

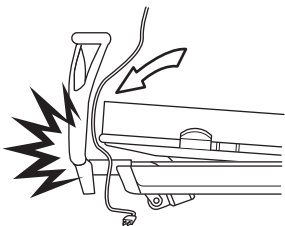
**■コード類(電源コードなど)を傷つけないでください**

- コード類が破損し、感電・火災のおそれがあります。
  - ベッドの可動部でコード類をはさまないようにしてください。
  - コード類に重いものを置いたり無理な力を加えたりしないようにしてください。
- 傷んだコード類は修理(交換)を依頼してください。

**■電源コードや手元スイッチのコードなどに足を引っ掛けないようにしてください**

- プラグやコードが破損し、感電・火災のおそれがあります。
- 転倒して、けがをするおそれがあります。

**■介護リフトの電源コードがベッドのボトムとボード受金具などの間に入らないように注意してください**



- ベッドの操作時にベッドのボトムとボード受金具などのすき間にはさまれて、介護リフトの電源コードが破損し、感電・火災のおそれがあります。

**■介護リフトの電源プラグをコンセントに差したまま介護リフトを移動させないでください**

- 電源プラグに無理な力が加わり破損して、感電・火災のおそれがあります。

**■ベッドやその他の電気機器のコードを介護リフトの下に通さないでください**

- サイドフレームや補助フレームなどにはさまれてコードが破損し、感電・火災のおそれがあります。

### 3 安全に使用するための注意事項



#### ■ ベッドの電源コードは正しく配線してください(配線方法は 59 ページ参照)

- 誤った配線で介護リフトを使用すると、ベッドの電源コードが破損・断線し、感電・火災のおそれがあります。

#### ■ お手入れは介護リフトおよびベッドの電源プラグをコンセントから抜いて行ってください

- 誤操作により昇降ユニットやベッドが動いて、けがをするおそれがあります。

#### ■ 介護リフトに水などをかけないでください

- 昇降ユニットや手元スイッチなどの電装品が濡れるとショートして感電したり、故障したりする原因となります。水などで濡らしてしまった場合には、昇降ユニットの緊急停止レバーを引き、昇降ユニットを停止状態にして、販売店またはパラテクノコールセンター(96 ページ参照)までお問い合わせください。

#### ■ 昇降ユニットから異常な音がする際は、介護リフトを使用しないでください

- 昇降ユニットが破損し、感電・火災のおそれがあります。
- 転落してけがをするおそれがあります。
- 昇降ユニットから異常な音がする際は、お買い上げの販売店またはパラテクノコールセンター(96 ページ)まで、点検・修理をご依頼ください。

#### ■ スリングシートは正しく装着してください

- 介護を受ける方を吊りあげたときに介護を受ける方がスリングシートから抜け落ちたり、皮膚がこすれたりしてけがをするおそれがあります。
- ご使用前にスリングシートの取扱説明書をよくお読みください。

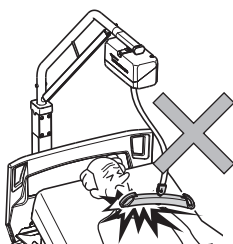
#### ■ スリングシートは、介護を受ける方の身体の状態に適したものをご使用ください。スリングシートの選択に際しては、専門の医師や理学療法士、作業療法士などに相談してください

- 介護を受ける方の状態にあったスリングシートを使用しないと、思わぬけがをしたり、皮膚に異常が起こったりするおそれがあります。

#### ■ スリングシートのストラップ(ループ)は、ハンガーフックに確実にかけてください

- ストラップ(ループ)が外れた状態で昇降ユニットをあげると、介護を受ける方に苦痛を与えるばかりでなく、介護を受ける方がスリングシートから落下して、けがをするおそれがあります。

#### ■ 介護リフトを使用しないときは、ハンガーを一番上まであげて、アームをベッドの外側に動かしてください



- ハンガーが人に当たったり、衣類などに引っ掛かったりして、けがをするおそれがあります。
- ハンガーをさげたままにすると、ハンガーに顔をぶついたり身体の一部(特に首など)に巻きあげベルトや手元スイッチのコードなどが巻きついたりして、けがをするおそれがあります。
- 誤って操作ボタンが押され、意図せぬハンガーの動きにより、けがをするおそれがあります。
- アームやハンガーが身体の一部と接触するなど、思わぬけがをするおそれがあります。



## ■火気に近づけないでください

- 介護リフトの近くで、ストーブなどの熱器具を使用しないでください。変質・変形・火災などの原因となります。

## ■お客様による修理・改造はしないでください

- 意図せぬすき間の発生や異常動作などにより、けがをするおそれがあります。

## ■電子治療機器を使用するときは昇降ユニットの緊急停止レバーを引き、昇降ユニットを停止状態にしてください

- 電子治療機器(マイクロ波治療器、超短波治療器など)を同時に使用した場合、介護リフトの故障や誤動作の原因となります。
- 他のME機器と併用する際は、安全をご確認の上ご使用ください。

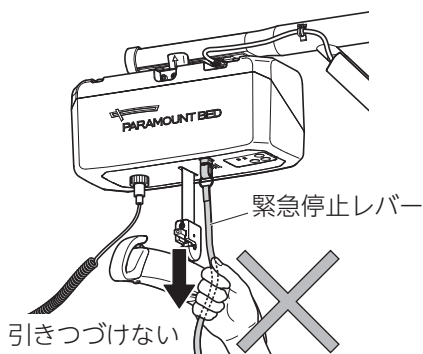
## ■介護リフトは定期的に点検してください

- 使用の頻度や環境により、製品は摩耗・劣化します。定期的に各部のゆるみ、ベルトのほつれ、可動部の動作、破損や異音の有無などを点検してください。思わぬけがをするおそれがあります。

## ■被災した介護リフトは点検・修理を依頼してください

- 地震・火災・水害などで被災した介護リフトは、お買い上げの販売店またはパラテクノコールセンター(96 ページ参照)まで、点検・修理をご依頼ください。電装品のショートや漏電による感電・火災、介護リフトの変形による動作の異常によって、けがをするおそれがあります。

## ■「緊急さげ機能」を使用する際以外は、緊急停止レバーを引きつづけないでください。「緊急さげ機能」を使用した後は、緊急停止レバーを押し、使用状態にしてください(14 ページ参照)



- 緊急停止レバーが意図せず引かれ続けると、「緊急さげ機能」が機能し、巻きあげベルトが下降し、けが・故障のおそれがあります。
- 緊急停止レバーを意図せず引き続けると、「緊急さげ機能」が機能し続けて昇降ユニットが高温になり、けが・火災・故障のおそれがあります。特に、輸送や保管時などには十分注意してください。
- 緊急停止レバーをあやまって操作した場合、意図せずハンガーが下がり、介護を受ける方の頭などに当たりけがをするおそれがあります。

## ■昇降ユニットを置く場合は側面を下にして置き、緊急停止レバーに負荷がかからないようにしてください

- 緊急停止レバーを引かないでください。意図せず引かれ続けると、「緊急さげ機能」が機能し、けが・故障のおそれがあります。
- 緊急停止レバーが破損するおそれがあります。
- 特に、輸送や保管時などには十分注意してください。

## ■きれいな床面で介護リフトを使用してください

- 床面にほこりが付着していると、介護リフトが移動し、思わぬけがをするおそれがあります。

### 3 安全に使用するための注意事項



#### ■緊急停止レバーは、緊急時のみ使用してください

- 緊急停止レバーが意図せず引かれ続けると、「緊急さげ機能」が機能し、さらにハンガーを最下限まで下げつづけますと、巻きあげベルトが伸びきり、正しく動かなくなるなど故障の原因となります。

#### ■ハンガーフックが IV ポール・IV スタンドのフックやノブボルトに引っ掛からないように注意してください

- 介護リフトや IV ポール・IV スタンドが破損・変形するおそれがあります。

#### ■温度が低いときには介護リフトを使用しないでください(10℃未満)

- 昇降ユニットの使用可能温度は 10～40℃です。10℃未満の場所で使用する場合、昇降ユニットが動かず破損するおそれがあります。温度が上がってからご使用ください。

#### ■最大連続使用時間を超えて昇降ユニットのあげ・さげを行わないでください

- 昇降ユニットの最大連続使用時間は2分です。最大連続使用時間を超えて使用すると、昇降ユニットが故障するおそれがあります。

#### ■スプレータイプの殺虫剤を介護リフトに直接噴射しないでください

- 殺虫剤に含まれる溶剤によって、介護リフトの樹脂部分が破損・変色・溶解するおそれがあります。また、破損・溶解した部分で思わぬけがをするおそれがありますので十分ご注意ください。

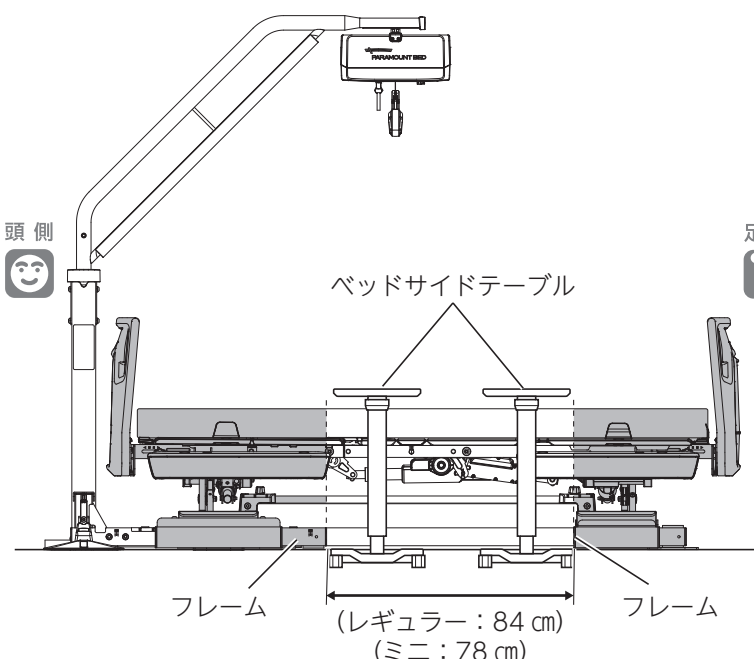
#### ■メインフレームとベッドのボードの間にものを置かないでください

- メインフレームとベッドのボードの間に置いたものが破損するおそれがあります。

#### ■介護リフトの位置にご注意ください

- 位置が変わってしまうと、壁や周りのものなどに当たり破損するおそれがあります。使用に支障がある場合は介護リフトの位置を元の位置に戻しご使用ください。

#### ■ベッドサイドテーブルを使用する際は差し込みが可能な範囲を確認してください



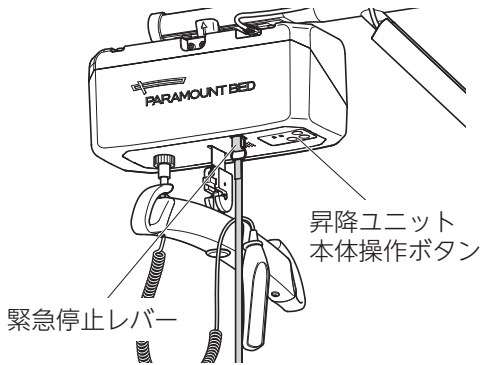
- 左図はベッドサイドテーブルの差し込みが可能な範囲を示しています(■部分は差し込み不可)。

左図の範囲外でテーブルを差し込もうとするとベッドサイドテーブルが破損・変形する恐れがあります。

この範囲でベッドサイドテーブルを差し込んでください

## 4 使用方法

### 1. 昇降ユニット操作部の各部の名称



#### 緊急停止レバー

##### 使用状態

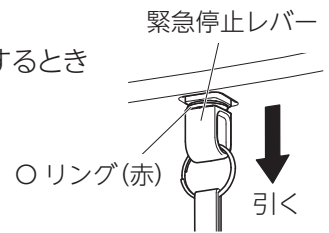
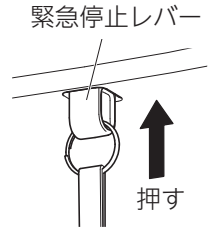
昇降ユニットの緊急停止レバーを押し、○リング(赤)が見えない状態にしてください。



昇降ユニットを長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

##### 緊急停止

非常時に昇降ユニットの昇降動作を停止するとき、緊急停止レバーを引いてください。



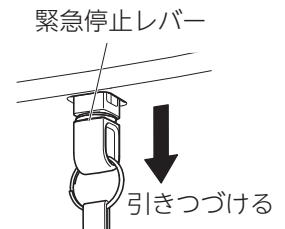
#### 緊急さげ機能

緊急停止状態の緊急停止レバーを引き続けると、「緊急さげ機能」状態になりハンガーが下がります。引いた状態から手を離すと、緊急停止レバーは緊急停止状態に戻りハンガーが止まります。緊急さげ機能は、次のような場合で、緊急にハンガーをさげる必要があるときに使用することを想定しています。

- ・ 停電時、昇降ユニットの本体操作ボタンおよび手元スイッチの操作ができなくなり、介護を受ける方を降ろさなければならぬとき。



- 緊急さげ機能はハンガーにある程度重量がかかっていないと下がりません。また、室内の温度が低い場合(10℃未満)、下がらないことがあります。ハンガーが下がらない、または下がる速度が遅い場合は、付属の電池ボックスを使用してください。(23・24 ページ参照)
- 緊急時以外は使用しないでください。



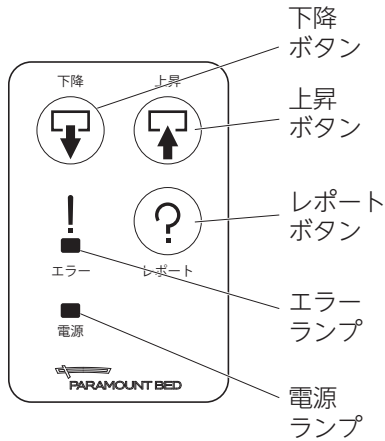
- 「緊急さげ機能」を使用する際以外は、緊急停止レバーを引き続けしないでください。「緊急さげ機能」を使用した後、通常操作を行う場合、緊急停止レバーを押し、使用状態にしてください。

- 緊急停止レバーが意図せず引かれ続けると、「緊急さげ機能」が機能し、巻きあげベルトが下降し、けが・故障のおそれがあります。さらにハンガーを最下限まで下げつづけると、巻きあげベルトが伸びきり、正しく動かなくなるなど故障の原因となります。
- 緊急停止レバーを意図せず引き続けると、緊急さげ機能が機能し続けて昇降ユニットが高温になり、けが・火災・故障のおそれがあります。特に、輸送や保管時などには十分注意してください。
- 緊急停止レバーをあやまって操作した場合、意図せずハンガーが下がり、介護を受ける方の頭などに当たりけがをするおそれがあります。

## 4 使用方法

### 1. 昇降ユニット操作部の各部の名称

#### 昇降ユニット本体 操作ボタン



#### 下降ボタン

#### 上昇ボタン

ハンガーの高さを調節するときに押ししてください。  
ボタンを押すと動き、離すとその位置で止まります。



- 緊急停止レバーが引かれた状態だと動作しません。昇降ユニットの緊急停止レバーを押し、使用状態にしてください。(14 ページ参照)
- 昇降ユニット本体の上昇ボタンまたは下降ボタンを押すと、昇降ユニットの電源が入り動作するようになります。
- 手元スイッチや昇降ユニット本体操作ボタンを 4 分間操作しない状態が続くと、自動的に昇降ユニットの電源が切れ動作しません。昇降ユニット本体操作ボタンの上昇ボタンまたは下降ボタンを押すと、昇降ユニットの電源が入り、再び動作するようになります。
- 昇降ユニットが動作しないときは、79・81 ページの「**故障かな?と思ったら**」を参照してください。

#### レポートボタン

昇降ユニットにエラー・故障が発生している場合は、そのエラーや故障内容を音声アナウンスにて発声します。  
昇降ユニットにエラー・故障がない場合は、「現在、異常はありません」と発声します。

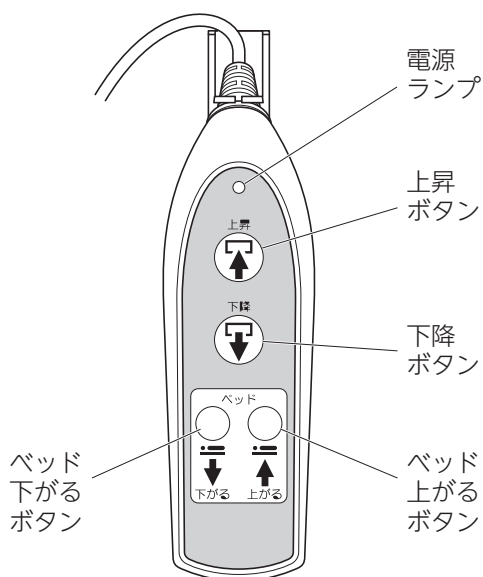
#### エラーランプ

昇降ユニットにエラーがある場合、点灯します。

#### 電源ランプ

手元スイッチや昇降ユニット本体の上昇ボタンまたは下降ボタンを押し、電源が入ると点灯します。

## 2. 手元スイッチの各部の名称



### 上昇ボタン

### 下降ボタン

ハンガーの高さを調節するときに押ししてください。  
ボタンを押すと動き、離すとその位置で止まります。



- 緊急停止レバーが引かれた状態だと動作しません。昇降ユニットの緊急停止レバーを押し、使用状態にしてください。(14 ページ参照)
- 手元スイッチの上昇ボタン(下降ボタン)を押すと、昇降ユニットの電源が入り動作するようになります。
- 手元スイッチや昇降ユニット本体操作ボタンを 4 分間操作しない状態が続くと、自動的に昇降ユニットの電源が切れ動作しません。手元スイッチの上昇ボタン(下降ボタン)を押すと、昇降ユニットの電源が入り、再び動作するようになります。
- 昇降ユニットが動作しないときは、79・81 ページの「**故障かな?と思ったら**」を参照してください。

### ベッド/下がるボタン

### ベッド/上がるボタン

ベッドの高さを調節するときに押ししてください。  
ボタンを押すと動き、離すとその位置で止まります。




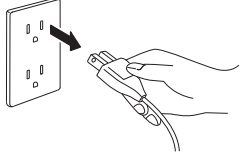
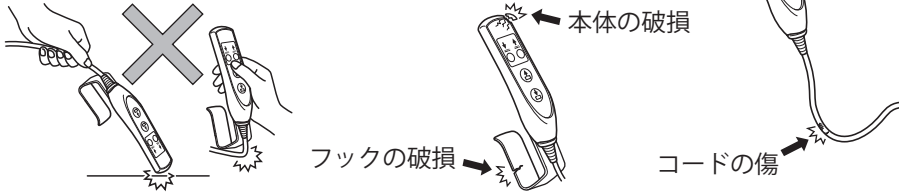
- 適合ベッドのみ高さ操作が可能です。(25・26 ページ参照)
- ベッドの高さ操作が禁止状態になっていたり、ベッドにエラーが発生している場合は、ベッドのボタンは操作できません。介護リフトを設置するベッドの取扱説明書を参照してください。


### 電源ランプ

手元スイッチや昇降ユニット本体の上昇ボタン(下降ボタン)を押し、電源が入ると点灯します。

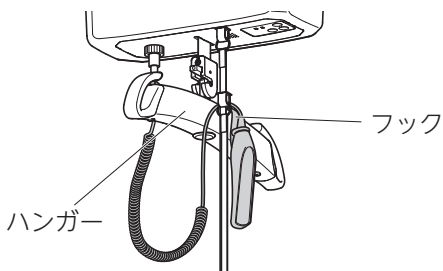
## 4 使用方法

### 3. スイッチを安全に使用するための注意事項


 <p>けい <b>警告</b> こく</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>●操作が理解できないと思われる方(12歳以下のお子様や認知症の方など)に操作させないでください。操作が理解できないと思われる方が、1人で手元スイッチなどを操作した場合、誤って身体がはさまれるなど、思わぬけがをするおそれがあります。1人で手元スイッチなどに触れる可能性がある場合には、昇降ユニットの緊急停止レバーを引き昇降ユニットを停止状態にし、誤操作による事故を未然に防いでください。</li><li>●手元スイッチなどの取扱いに注意してください。昇降ユニットが誤動作してけがをしたり、ショートなどにより、感電・火災のおそれがあります。また、故障の原因となります。<ul style="list-style-type: none"><li>○ぶつかけたり、傷つけたりしないでください。</li><li>○落としたり、コードを無理に引っ張ったりしないでください。</li></ul></li></ul>	
		
	<ul style="list-style-type: none"><li>●傷んだ手元スイッチなどは修理(交換)を依頼してください。</li><li>●ハンガーを回転させた際に、手元スイッチのコードが巻きつくことがあります。その状態で動作させると、コードが引っ張られて断線し、ショートなどにより感電・火災のおそれがあります。介護リフトを操作をする前に、コードが巻きついていないか確認をしてください。</li></ul>	

 <p>ちゅう <b>注意</b> い</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>●手元スイッチは、介護リフト専用のものを取付けてご使用ください。正しく機能しないおそれがあります。</li></ul>
--	---

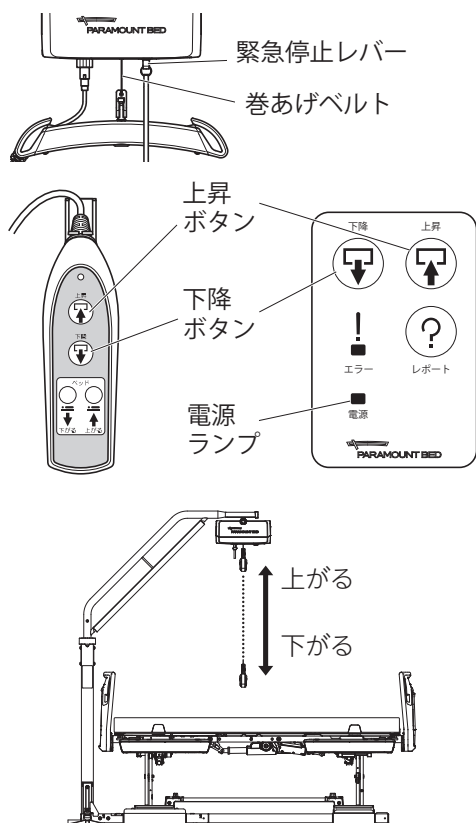
### 4. 手元スイッチのフックの使いかた



手元スイッチにはフックがついています。使用しないときは、ボタンに触れないようにフックを使用して、ハンガーなどに掛けてください。

 <p>けい <b>警告</b> こく</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>●手元スイッチを使用しないときは、ハンガーなどに引っ掛け、ベッド上やゆかに置かないでください。誤ってボタンが押され、意図せぬ昇降ユニットの動きにより、けがをするおそれがあります。</li></ul>
--	---

## 5. 昇降ユニットを動かしてみよう

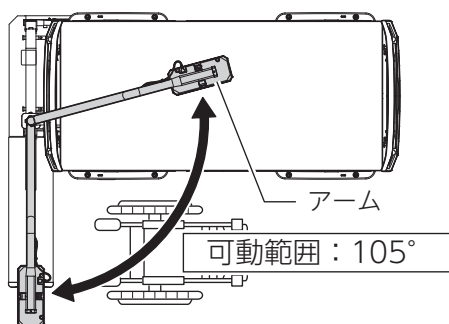


- ①昇降ユニットの巻きあげベルトがねじれたり斜めになっていないことを確認してください。
- ②昇降ユニットもしくは手元スイッチの上昇ボタン / 下降ボタンを押し、ハンガーの高さを調節してください。



- 巻きあげベルトが極端にねじれたり斜めになっていたりしていると、「ベルトが斜めになっています」とアナウンスがあります。
- ハンガーの高さは無段階で調節することができます。
- 手元スイッチや昇降ユニット本体操作ボタンを4分間操作しない状態が続くと、自動的に昇降ユニットの電源が切れ動作しません。手元スイッチや昇降ユニット本体操作ボタンを押すと、昇降ユニットの電源が入り、再び動作するようになります。
- 昇降ユニットが動作しないときは、79・81ページの「故障かな?と思ったら」を参照してください。
- ハンガーのみで上げる場合、人を吊り上げる速度よりも上昇速度が上がる場合があります。

## 6. アームを動かしてみよう



アームを動かす際は、アームを握って操作してください。左図に示す可動範囲内で自由に動かすことができます。



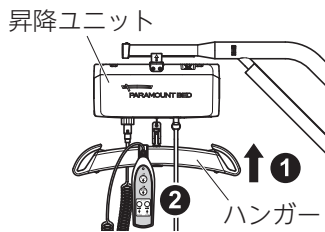
- アームが不意に動かないよう、アームの動きに“しづさ”を設定していますが、故障ではありません。



- 介護を受ける方を吊りあげて移乗させる際は、ゆっくりと動かしてください。速く動かすと、介護を受ける方に苦痛や不安を与えるばかりではなく、壁や周囲のものにぶつかったり、落下したりしてけがをするおそれがあります。また、介護リフトが破損・変形するおそれがあります。
- アームを下側から持ちあげないでください。ベッドや介護リフトが浮いたり転倒したりして、足指がはさまれてけがをしたり、ベッドや介護リフトが破損・変形したりするおそれがあります。
- アームを可動範囲以上に動かさないでください。サイドフレーム、メインフレーム、補助フレームが浮いて、ゆかとの間に足指がはさまれてけがをしたり、コード類が断線・破損し、感電・火災のおそれがあります。また無理に動かそうとすると、介護リフトが故障・破損するおそれがあります。

## 4 使用方法

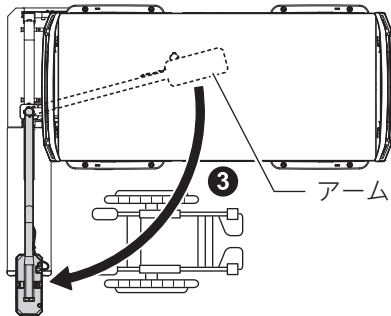
### 7. 使用しないとき



- ①ハンガーを一番上まであげてください。(18 ページ参照)
- ②手元スイッチをハンガーに掛けてください。(17 ページ参照)
- ③アームをベッドの外側に動かしてください。



- 昇降ユニットを長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。



- 介護リフトを使用しないときは、ハンガーを一番上まであげて、アームをベッドの外側に動かしてください。
  - ハンガーフックが人に当たったり、衣類などに引っ掛かったりして、けがをするおそれがあります。
  - ハンガーを下げたままにすると、ハンガーに顔をぶついたり身体の一部(特に首など)に巻きあげベルトや手元スイッチのコードなどが巻きついたりして、けがをするおそれがあります。
  - 誤って操作ボタンが押され、意図せぬハンガーの動きにより、けがをするおそれがあります。
  - アームやハンガーが身体の一部と接触するなど、思わぬけがをするおそれがあります。
- 手元スイッチを使用しないときは、ハンガーなどに引っ掛け、ベッド上やゆかに置かないでください。誤ってボタンが押され、意図せぬ昇降ユニットの動きにより、けがをするおそれがあります。

## 8. スリングシートについて

■スリングシートには、脚分離型やセパレート型(ベルト型)などがあります。スリングシートの選択にあたっては、介護を受ける方の症状や体型などにあわせて選んでください。

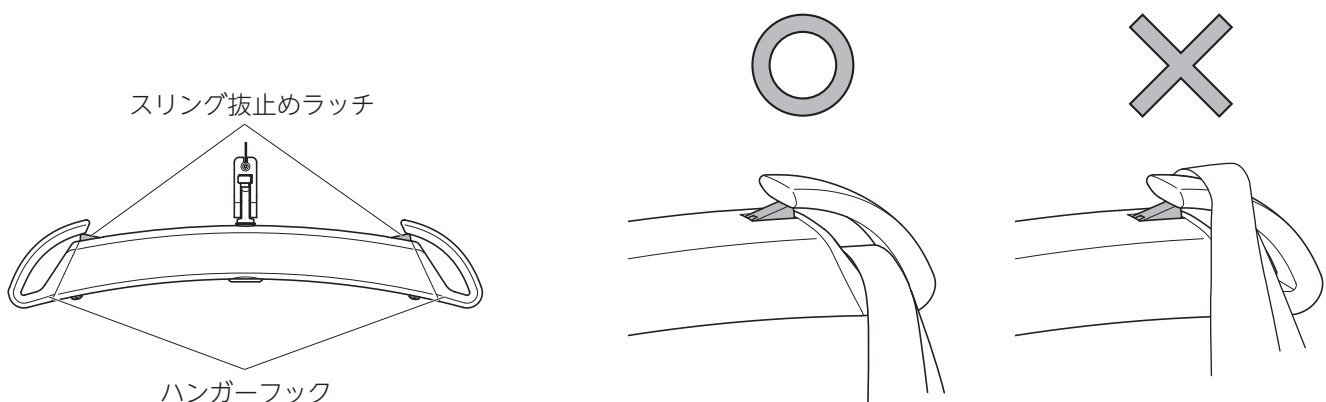


●介護リフトを使用後、スリングシートが当たっていたところの皮膚の変化がないか確認してください。太ももの下などスリングシートが当たっていたところが赤くなったまま戻らないときは、直ちに医師の診察を受けてください。



- 介護リフトに直接取付けて使用するスリングシートなどは弊社が指定する適合品をお使いください。指定以外の製品と組合せると介護を受ける方が不意に落下して、けがをするおそれがあります。また、介護リフトに負担がかかり、介護リフトが故障するおそれがあります。
- スリングシートは、介護を受ける方の身体の状況に適したものをご使用ください。スリングシートの選択に際しては、専門の医師や理学療法士、作業療法士などに相談してください。介護を受ける方の状態にあったスリングシートを使用しないと、思わぬけがをしたり、皮膚に異常が起こったりするおそれがあります。
- 介護を受ける方の身体の大きさにあった適切なサイズのスリングシートを使用してください。サイズのあわないものを使用すると、正しい吊りあげ姿勢がとれないばかりでなく、落下してけがをするおそれがあります。
- スリングシートは消耗品です。ご使用前には、スリングシートのストラップ(ループ)の摩耗や糸のほつれ、メッシュ部の破れがないことを確認してください。摩耗・損傷した状態で使用するとスリングシートが破損し、介護を受ける方が落下してけがをするおそれがあります。早めに新しいスリングシートと交換してください。
- ご使用前にスリングシートの取扱説明書をよくお読みいただき、スリングシートの正しい使用方法を理解してください。間違った方法で使用しますと、介護を受ける方に苦痛を与えるばかりでなく、介護を受ける方がスリングシートから落下して、けがをするおそれがあります。

■スリングシートの取扱説明書に従い、スリングシートのストラップ(ループ)をハンガーフックに確実にかけてください。













## 4 使用方法

### 8. スリングシートについて

- 用途にあわせてお選びいただけます。
- 本製品には〈スリングシート タイプ別一覧〉に記載されたスリングシートが適合します。適合品の品番やその他のスリングシートの適合につきましては、販売店または直接弊社までお問い合わせください。

#### 〈スリングシート タイプ別一覧〉

		脚分離型		
<p><b>ローバックタイプ</b> (骨盤部の支持で座れる方に)</p>	 <p>骨盤</p>	 <p>ローバックR</p>	 <p>脚分離型ライトスリング</p>	
<p><b>ミドルバックタイプ</b> (体幹の支持を必要とする方に)</p>	 <p>胸部 骨盤</p>	 <p>ベーシックR</p>	 <p>KQ-T57</p>	
<p><b>ハイバックタイプ</b> (頭部の支持を必要とする方に)</p>	 <p>頭部 胸部 骨盤</p>	 <p>ハイバックR</p>	 <p>フレキシブルR脚 分離型</p>	 <p>KQ-T58</p>

片足ずつ分けて支えます。  
座位で着脱できる標準型のスリングシートです。  
身体との接触面積がシート型に次いで大きいので、  
吊りあげが安定しています。

※身体機能との適合範囲が比較的広いですが、  
股関節の固定力が弱とお尻が落ちやすくなります。



- スリングシートは正しく装着してください。
  - 介護を受ける方を吊りあげたときに介護を受ける方がスリングシートから抜け落ちたり、皮膚がこすれたりしてけがをすることがあります。
  - ご使用前にスリングシートの取扱説明書をよくお読みください。
- スリングシートは、介護を受ける方の身体の状態に適したものをご使用ください。スリングシートを選択に際しては、専門の医師や理学療法士、作業療法士などに相談してください。
  - 介護を受ける方の状態にあったスリングシートを使用しないと、思わぬけがをしたり、皮膚に異常が起こったりするおそれがあります。

シート型	セパレート型(ベルト型)	ハイジーン型(トイレ用)
<p>1枚のシートで身体を包み込みます。身体との接触面積が大きく、股関節にかかる力が少ないので、ご本人様も楽です。</p> <p>※座位で着脱はできません。臥位で行います。車椅子着座後は敷き込んだままになります。</p>	<p>2本のベルトで背と太ももを支えます。着脱はもっとも簡単です。吊りあげた状態で下着の着脱ができるので、トイレへの移乗や排泄介助にも利用できます。</p> <p>※身体機能との適合範囲がもっとも狭く、状態によってはベルトの間から抜け落ちる、ベルトの上を滑り落ちる可能性があります。</p>	<p>脚分離型のお尻の覆いを小さくした形状です。吊りあげた状態で下着の着脱ができるので、トイレへの移乗や排泄介助にも適しています。</p> <p>※脚分離型とセパレート型との中間的な吊り具です。身体機能によってはお尻が落ちやすくなります。</p>
	 <p>セパレート型スリング</p>	 <p>ハイジーンスリング      ハイジーンR ローバック</p>
 <p>クラシックR      KQ-T55</p>		
 <p>クラシック ハイバックR      フレキシブルR シート型      KQ-T56</p>		 <p>ハイジーンRハイバック</p>

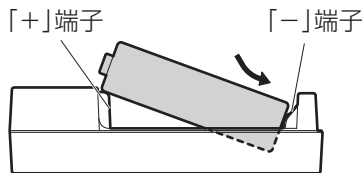
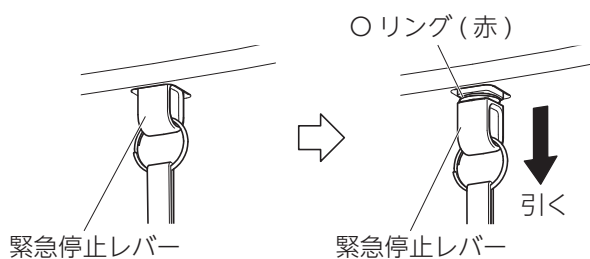
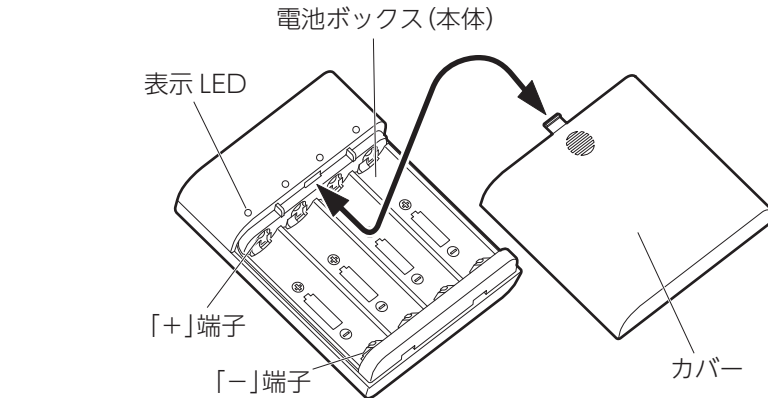
## ■その他のスリングシート

- 上記の他にも様々なスリングシートを準備させて頂いております。販売店または直接弊社までお問い合わせください。

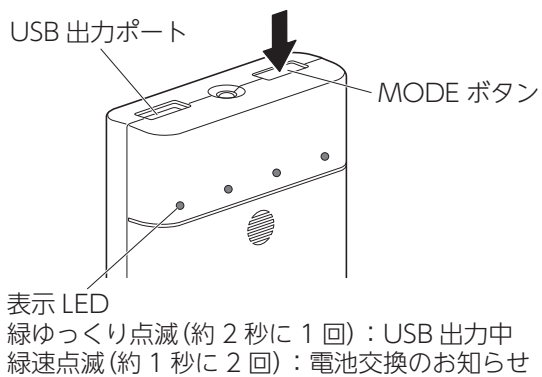
## 4 使用方法

### 9. 乾電池による緊急さげ

- 緊急さげ機能を使用してハンガーを下げる際(14 ページ参照)に、ハンガーが下がらないまたは下がる速度が遅い場合は、電池ボックスを使用してください。



「-」端子から先に入れ、「+」端子を後から入れる



- ①緊急停止レバーを Oリング(赤)が出るまで引き、緊急停止状態にしてください。

- ②収納ケースにある電池ボックスと単 3 形乾電池 (4 本) を取出してください。  
※電池ボックスの USB 出力ポートに 3 分岐ケーブルが接続されているか確認してください。

- ③カバーをあけ、乾電池を入れてください。  
※乾電池の「+」と「-」の向きを間違えて入れないでください。

- ④電池ボックスの MODE ボタンを 1 秒以上押し、4 個の表示 LED (緑) がゆっくり点滅するのを確認してください。

- ⑤緊急停止レバーを引き続け、ハンガーを下げてください。(14 ページ参照)  
※介護を受ける方がマットレスの上に降りたら、緊急停止レバーから手を放してください。

- ⑥操作後は電池ボックスから乾電池を取外して、収納ケースに入れてください。



- 乾電池の取扱いには十分に注意してください。破損、火災、感電、けがなどの原因となるおそれがあります。
  - 単3形乾電池以外の乾電池を使用しないでください。
  - 新旧の乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - 「+」と「-」の向きを間違えて入れないでください。
  - 「+」端子と「-」端子をショートさせないでください。
  - 乾電池の液が目や皮膚、衣服に付着した場合は、すぐに多量の水で洗い流し、医師の治療を受けてください。
  - 暖房器具のそばや直射日光のあたる場所などでは使用しないでください。
- 電池ボックスの取扱いには十分に注意してください。破損、火災、感電、けがの原因となるおそれがあります。
  - 指定以外の電池BOXやモバイルバッテリーなどのUSB機器を使用しないでください。
  - お客様による分解・修理・改造はしないでください。
  - USB出力ポートや+/-端子に金属類を差込まないでください。
  - 水などをこぼさないでください。
  - 破損したケーブル類は使用しないでください。
  - 体に触れた状態で使用しないでください。
  - 濡れた手で乾電池やケーブル類の取付け・取外し、ボタンの操作を行わないでください。
  - 操作が理解できないと思われる方(12歳以下のお子様や認知症の方など)に操作させないでください。
  - 発熱、異音、異臭などの異常が発生したら、ただちに電池ボックスから乾電池と3分岐ケーブルを取外してください。



- 乾電池や電池ボックスの取扱いには十分に注意してください。破損、火災、感電、けがなどの原因となるおそれがあります。
  - 10℃～40℃の環境で使用してください。
  - USB出力ポートが傷ついたり、差込みがゆるい場合は使用しないでください。
  - 電池ボックスに物を載せたり、落下しやすい場所に置かないでください。
  - 湿気やほこりの少ない場所で使用・保管してください。
  - 乾電池の使用表示に従ってください。
- 操作後は電池ボックスから乾電池を取外してください。乾電池が過放電し液漏れするおそれがあります。

## 5 設置についての注意事項

- 介護リフトを設置するにあたって、下記の注意事項を守ってください。
- 一度組立ててしまいますと、ベッドと介護リフトの位置の変更が困難になります。



### ■適合するベッドを確認してください

- 取付けるベッドによっては設置できない場合があります。詳しくは下記の適合表を確認してください。
- ベッド接続ケーブル使用可能機種では、ベッド接続ケーブルを使用することで、リフトの手元スイッチにてベッドの高さ調整が可能となります。詳しくは下記の適合表を確認してください。  
(ベッド接続ケーブルの接続方法は 60 ページ参照)
- 楽匠フィット Hタイプで足側にリフトを設置する場合は、必ずフットパネル (KQ-PC01C/02C) を取付けたパノラマタイプのベッド (KQ-C \*\*\* B/C/D/E) をご使用ください。フットパネルを使用していないベッドではご使用できません。
- 楽匠フィット Hタイプ用のハイトスパーサー (KQ-PC00A) を取付けたベッドは使用できません。
- オプションは正しい組合せで使用してください。
- 誤った組合せで使用すると、思わぬけがや故障のおそれがあります。
- オプションを使用するときは、各オプションの取扱説明書をお読みください。

### <適合表>

ベッドタイプ		ベッド長さ	リフト設置可能な位置	ベッド接続ケーブル使用可能機種
楽匠フィット	Hタイプ 3 モーション / 2 モーション	レギュラー	頭側・足側 (足側はパノラマタイプのみ)	○
		ミニ	頭側・足側 (足側はパノラマタイプのみ)	○
		ロング	頭側・足側 (足側はパノラマタイプのみ)	○
	Xタイプ 3 モーター / 2 モーション / 2 モーター	レギュラー	頭側・足側	○
		ミニ	頭側・足側	○
		ロング	足側のみ	○
楽匠プラス	Hタイプ 3 モーション / 2 モーション	レギュラー	頭側のみ	○
		ミニ	頭側のみ	○
	Xタイプ 3 モーター / 2 モーション / 2 モーター	レギュラー	頭側・足側	○
		ミニ	頭側・足側	○
楽匠 Z	3 モーション / 2 モーション	レギュラー	頭側のみ	×
		ミニ	頭側のみ	×
楽匠 FeeZ**	3 モーター / 2 モーター	レギュラー	頭側・足側	×
楽匠 S**	らくらくモーション / 3 モーター / 2 モーター	レギュラー	頭側・足側	×
		ミニ	頭側・足側	×
楽匠 S 100cm 幅**	らくらくモーション / 2 モーター	レギュラー	頭側・足側	×
楽匠 Wing	3 モーション / 2 モーション	レギュラー	頭側のみ	○
		ロング	頭側のみ	○

↓ 次ページに続く

ベッドタイプ		ベッド長さ	リフト設置可能な位置	ベッド接続ケーブル使用可能機種
レント	3 モーター / 2 モーター	レギュラー	頭側・足側	○
		ミニ	頭側・足側	○
KQ-60000	3 モーター / 2 モーター	レギュラー	頭側のみ	×
		ミニ	頭側のみ	×
KQ-B6000	3 モーター / 2 モーション / 2 モーター	レギュラー	頭側のみ	○
		ミニ	頭側のみ	○
INTIME-COMFORT **	3 モーター	レギュラー	頭側・足側	×
KR+	3 モーター / 2 モーター	レギュラー	頭側のみ	×
INTIME1000	3 モーター / 2 モーター	レギュラー	頭側のみ	×
INTIME2000	3 モーター / 2 モーター	レギュラー	頭側のみ	×
INTIME3000	4 モーター	レギュラー	頭側のみ	○
INTIME1000 (RQ-A1 **** / RQ-B1 ****)	3 モーター	レギュラー	頭側のみ	○
RA-B1 モデル	3 モーター	レギュラー	頭側のみ	○
RA-C1 / C 2 モデル	3 モーター	レギュラー	頭側のみ	○
RA-E1 モデル	4 モーター	レギュラー	頭側のみ	○

※本製品は各種在宅ケアベッド用です。

※「\*\*」のベッドは、ハイトスパーサー(KQ-P90H)を使用してください。

※キャスター、ハイトスパーサー(KQ-027A)、キャスター付ハイトスパーサーとの併用はできません。

※IV ポールホルダーをご使用の場合、IV ポールホルダーを取付けている側への取付けはできません。

※延長フレームをご使用の場合、足側への取付けはできません。

※楽匠フィット、楽匠プラスの棚ユニットは、リフト設置位置と反対側のボード(リフト設置位置が頭側の場合は足側ボード、リフト設置位置が足側の場合は頭側ボード)に取り付けてください。

※楽匠Zの棚付ボード、INTIME1000、INTIME2000、INTIME3000、INTIME1000(RQ-A1 \*\*\*\* / RQ-B1 \*\*\*\*)、RA-C1/C2モデル、RA-E1モデルのキューブ(宮付)は使用できません。

※楽匠フィットXタイプ、楽匠プラスXタイプの脚座は、ベッド高さ(床高)が『低床』になるようにしてください。『超低床』には対応していません。

※INTIME1000(RQ-A1 \*\*\*\* / RQ-B1 \*\*\*\*)、RA-C1/C2モデルは、脚座の高さを「高」にしてください。脚座の高さの「低」には対応していません。

※INTIME1000(RQ-A1 \*\*\*\* / RQ-B1 \*\*\*\*)、RA-C1/C2モデルのセミダブルサイズには対応していません。

## 5 設置についての注意事項



### ■けがをしたり、故障の原因となりますので、次のような場所への設置は避けてください

- 直射日光のあたる場所・冷暖房器による冷気や暖気が直接当たる場所・過度の水蒸気や油蒸気のかかりやすい場所・高温・多湿・低温・乾燥した場所・ほこり、煙、塩分、イオウ分、腐食性物質などの多い場所・換気の悪い場所・振動や衝撃のある場所・ゆかが水平でない場所・段差や凹凸のある場所・滑りやすいゆか



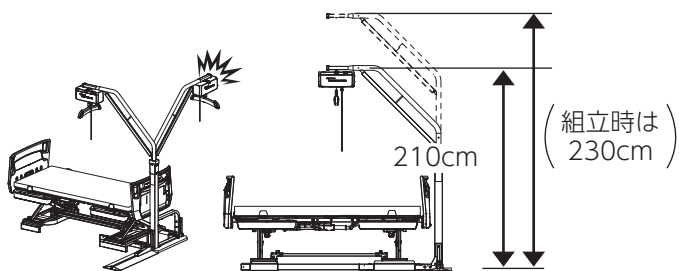
### ■介護リフトを設置・使用するスペースを確保してください

- 介護リフトを使用する方がベッドから移乗する場合に、ベッドの左右どちら側からの移乗を行うか、また介護リフトをベッドの頭側、足側のどちら側に取付けるかによって必要なスペースを確保してください(33 ページ参照)。壁やものを傷つけるおそれがあります。
- 介護する方が介護リフトを使用するためのスペースをどれだけとるかを考慮してください。

### ■介護リフト使用時にゆかにかかる荷重に耐えられる場所に設置してください

- 介護リフトの質量は 86kg です。ベッドやベッドの寝具・スリングシートなどの質量と、介護リフトを使用する方の体重を加えた総質量が、介護リフト使用時にゆかにかかる荷重となります。この荷重に耐えられる場所に設置してください。ゆかなどが破損するおそれがあります。

### ■介護リフト周りの家具備品、部屋の構造物の一部などと当たらないよう注意してください

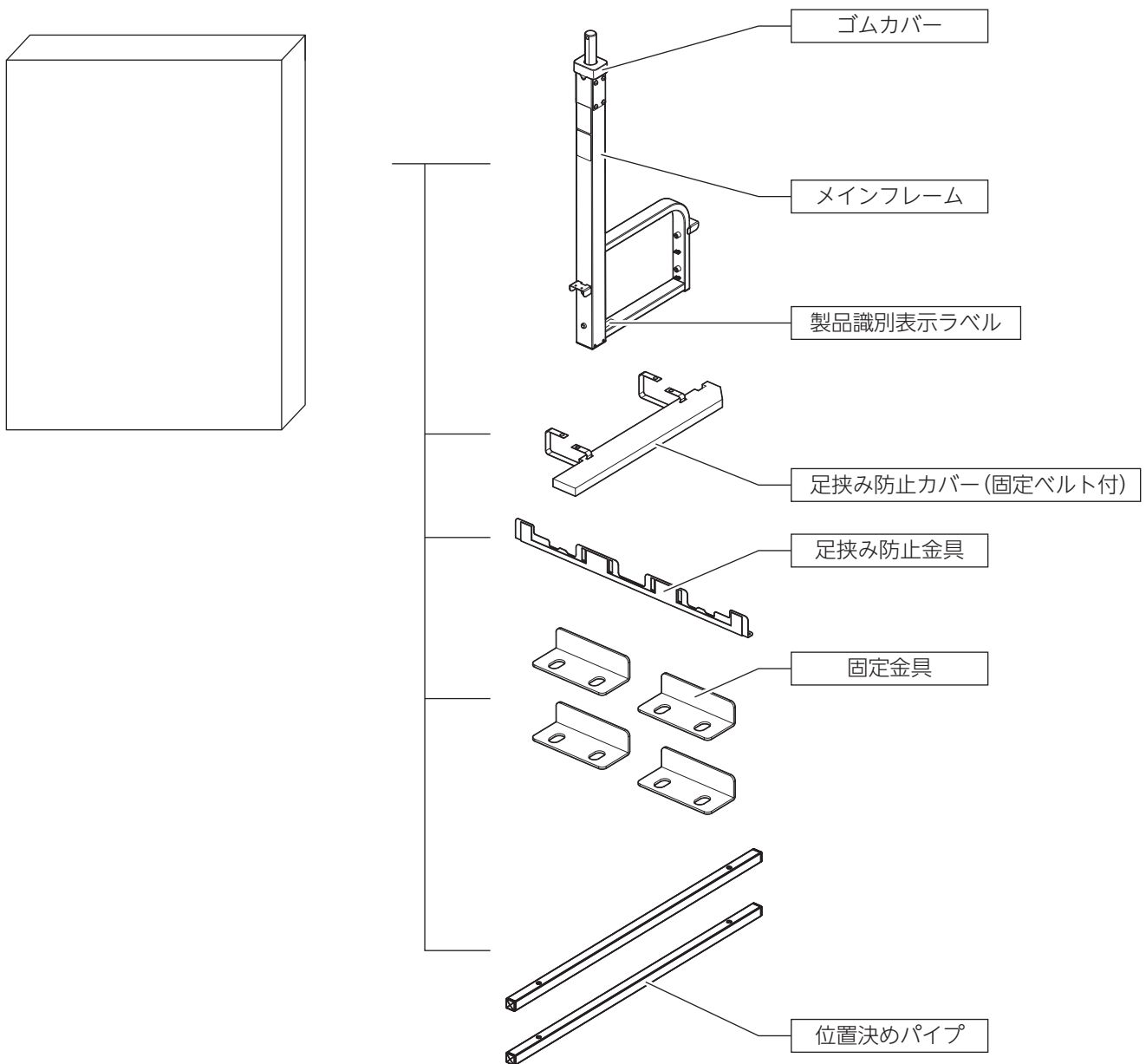


- アームやハンガーの回転によって、介護リフト周りの家具備品、部屋の構造物の一部などに当たらないように配慮してください。備品や構造物などが破損するおそれがあります。
- アームの組立時には、アームの高さがゆかから 230cm 程度になります。天井や照明にアームが当たらないように配慮してください。天井や照明などが破損したり、思わぬけがをするおそれがあります。

## 6 部品の確認

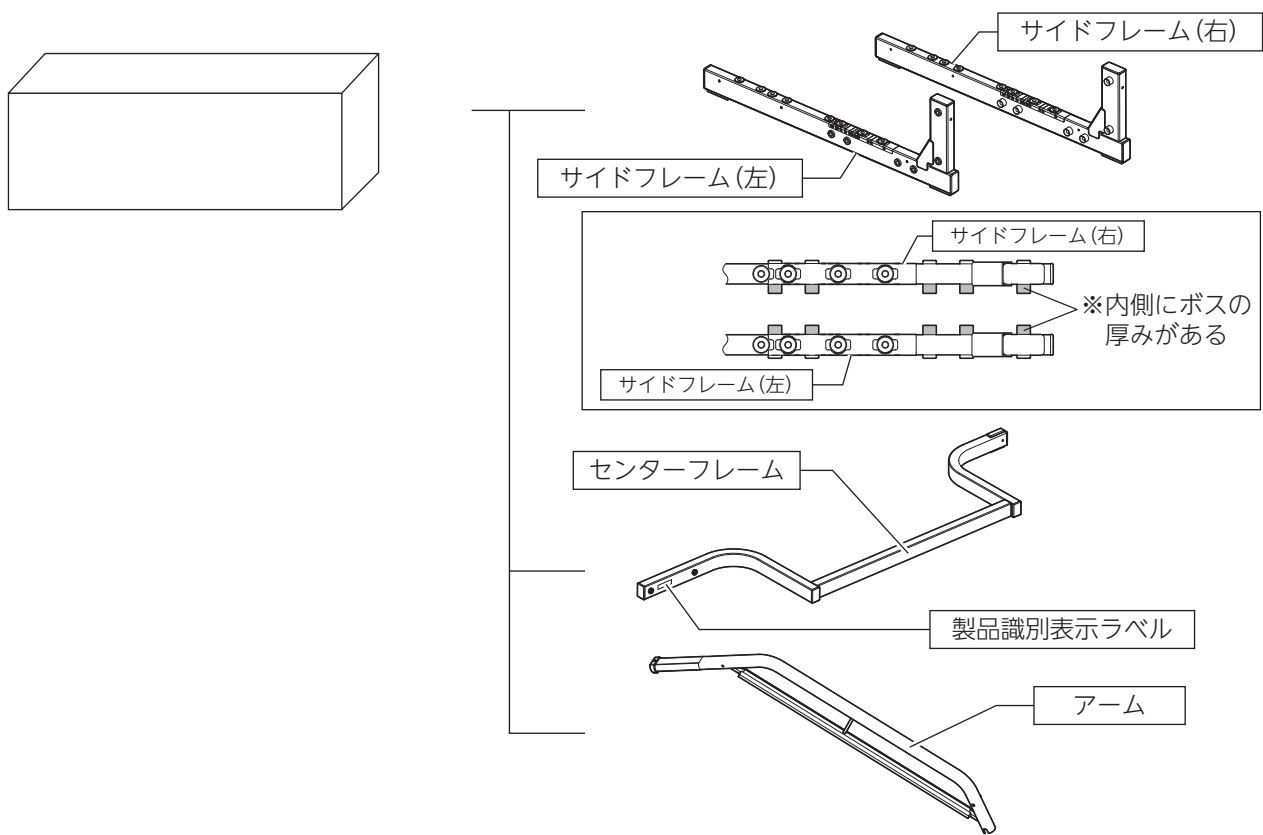
■開梱後、下記の部品がすべて揃っていること、破損していないことを確認してください。  
万一、部品の不足や破損があった場合には、販売店または直接弊社までご連絡ください。

### ①メインフレームセット(Q788AA) 25kg

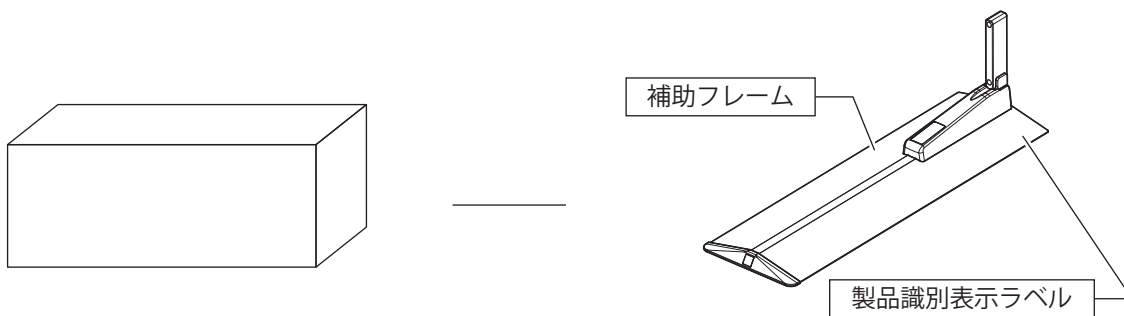


## 6 部品の確認

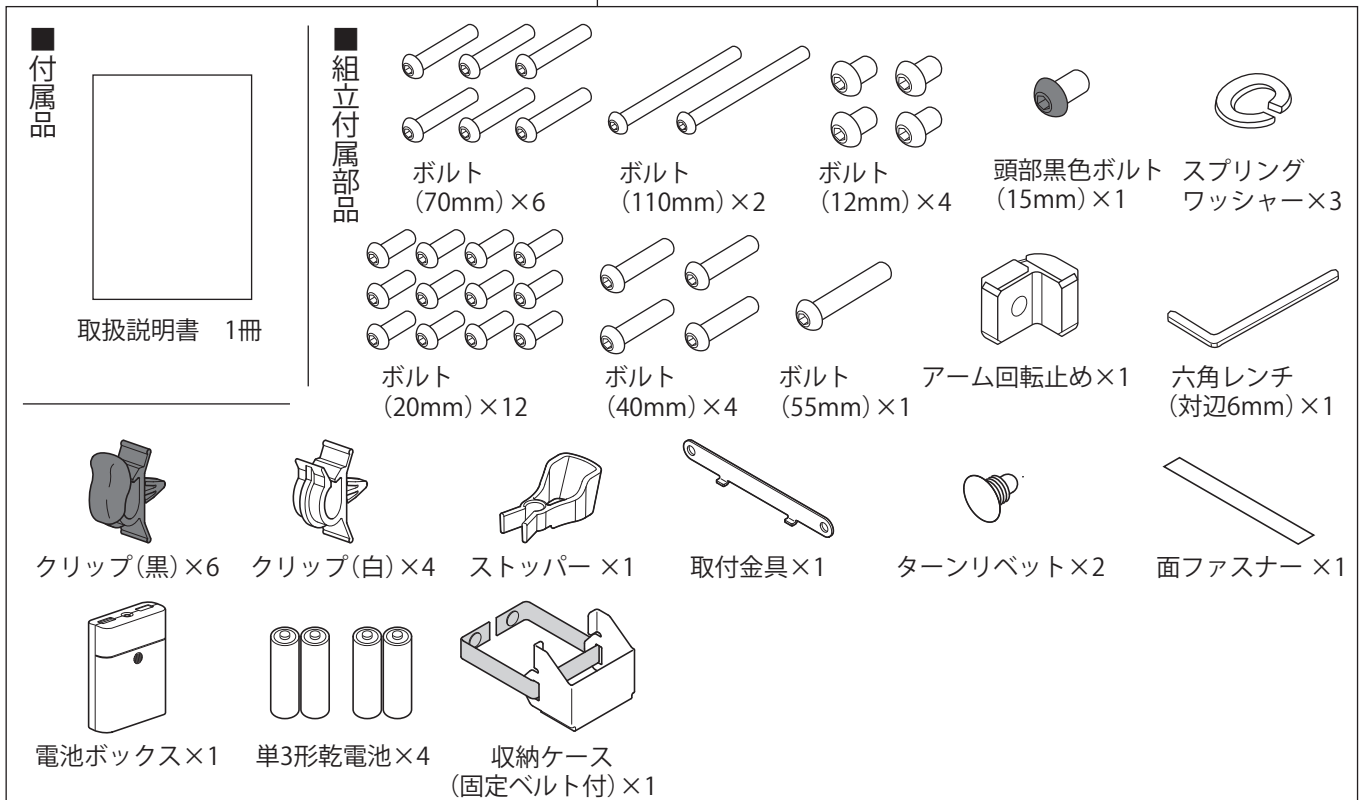
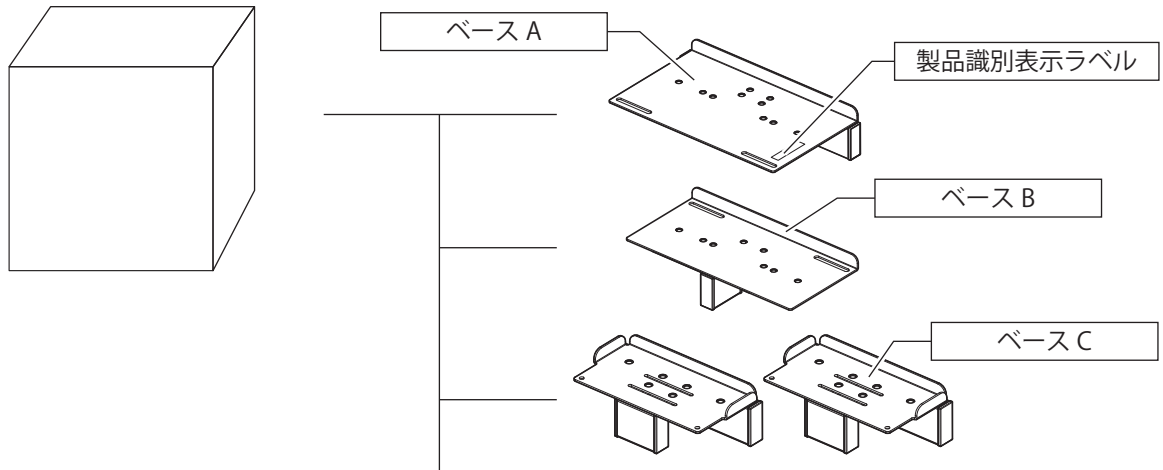
### ② サイドフレームセット (Q788B) 33kg



### ③ 補助フレーム (Q788C) 19kg



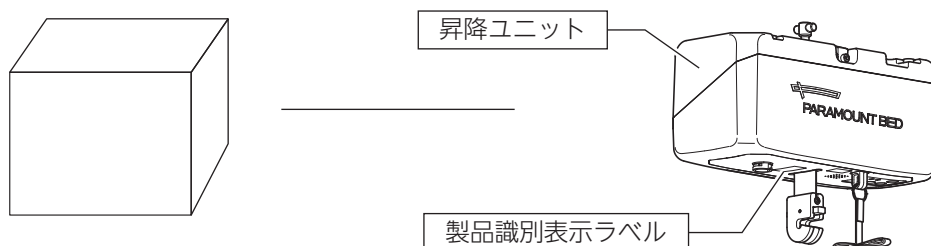
#### ④ ベースセット(Q788DA) 14kg



●ボルトのねじピッチは2種類あります。誤ったボルトを取り付けないでください。

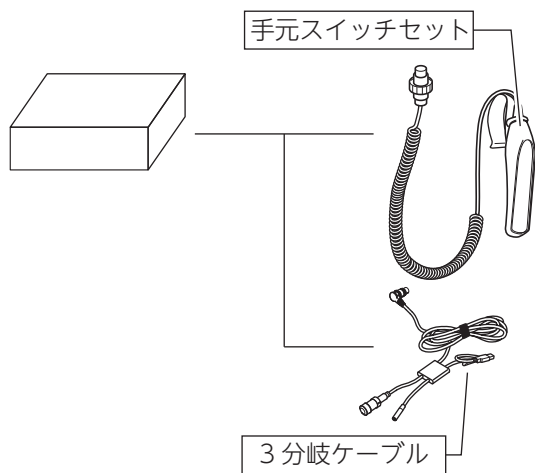
- ①ボルト(110mm)(70mm)(15mm): 細目 M10×ねじピッチ 1.25
- ②ボルト(55mm)(40mm)(20mm)(12mm): 並目 M10×ねじピッチ 1.5

#### ⑤ 昇降ユニット(Q788EA) 9.6kg

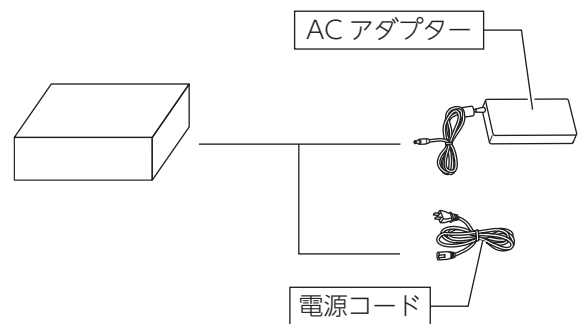


## 6 部品の確認

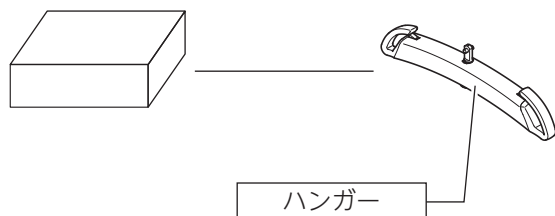
### ⑥手元スイッチセット(Q788FA) 0.6kg



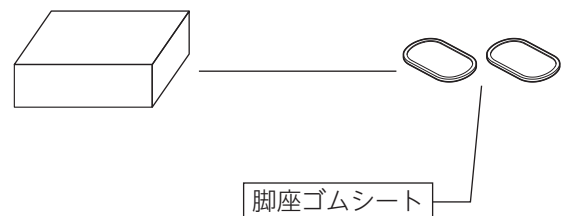
### ⑦ACアダプタ(Q788G) 1.2kg



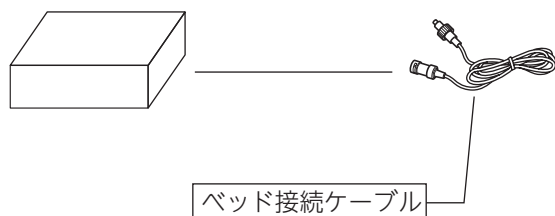
### ⑧ハンガー(Q788H) 1.9kg



### ⑨脚座ゴムシート(QP732) 0.65kg (予備2枚)



### ⑩ベッド接続ケーブル(Q7881) 0.2kg



※⑩は KQ-788L にのみ付属します

## 7 組立方法

■介護リフトの組立は販売店に依頼することをおすすめしますが、ご自分で行う場合は以下の手順に従ってください。

### けい こく 警告

- ベッドに人が乗っている状態で、介護リフトを設置しないでください。思わぬけがをするおそれがあります。
- 設置や組立ての際は、部品の取扱いに注意してください。落下した場合、手などの一部がはさまれた場合に、けがをするおそれがあります。
- 設置や組立て後、がたつき、ボルトのゆるみ、締め忘れがないことを確認してください。転倒してけがをしたり、介護リフトが破損・変形したりするおそれがあります。
- 設置や組立ての際は、正しい長さのボルトを取付けてください。転倒してけがをしたり、介護リフトが破損・変形したりするおそれがあります。

### ちゅう い 注意

- 組立ての際にはユニット同士やユニットの可動部で、手や指をはさまないように注意してください。けがをするおそれがあります。



- 組立方法および分解方法は「ベッドの頭側／左側に設置する場合」で説明しています。使用するベッド、介護リフトの設置方向により組立方向が異なりますので、「1. 設置する向きを決める」(33 ページ参照)を確認し作業を行ってください。

# 7 組立方法

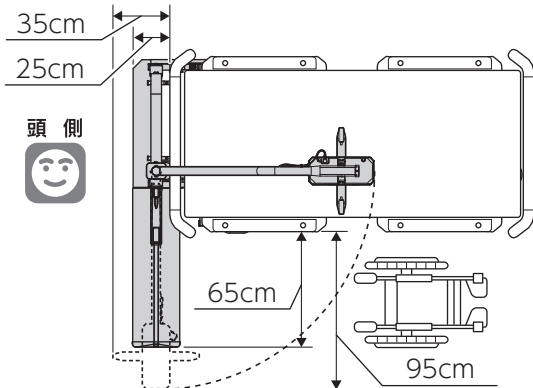
## 1. 設置する向きを決める

介護リフトを組立てる前に、下図を参考に介護リフトの設置向きを決めてください。

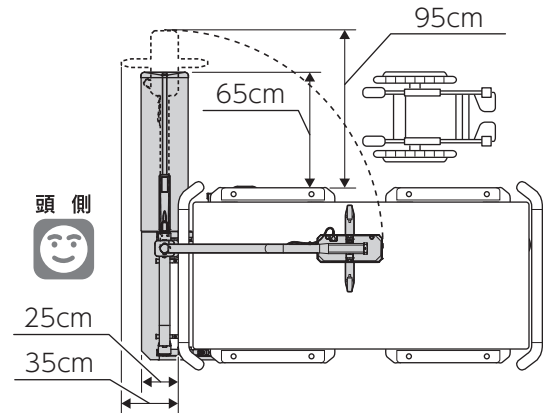


- ベッド周りに介護リフトを設置・使用するスペースを確保する必要があります。組立てる前に、必要なスペースが確保されているか下図を参考に確認してください。
  - 下図に記載してある距離（寸法）は介護リフトを設置する場合に最低限必要な距離を示しています。介護する方が介護リフトを使用するためのスペースをどれだけとるかを考慮してください。
- この介護リフトは、ベッドの頭側・足側／右側・左側どちらにでも取付けることができます。部屋のレイアウトや移乗の方向を考慮して、介護リフトを設置・使用する向きを決めてください。
  - 頭側・足側どちらでも設置できる場合は、壁側に介護リフトを設置することを推奨します。
- 取付けるベッドやベッドに取付けて使用するオプション品によっては設置できない場合があります。詳しくは 25・26 ページの表を確認してください。

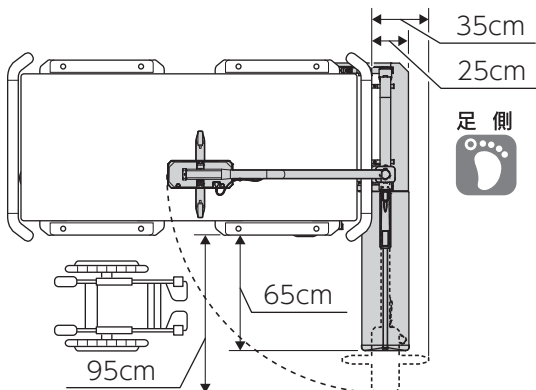
### ■ ベッドの頭側 / 右側に設置する場合



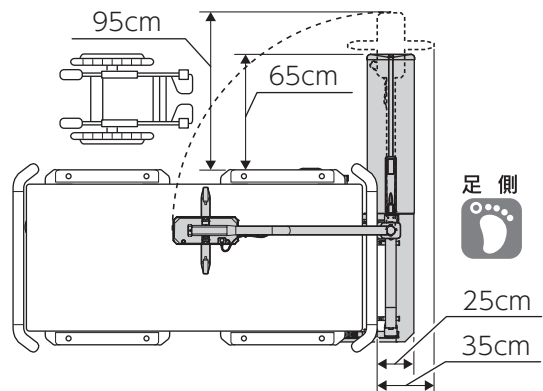
### ■ ベッドの頭側 / 左側に設置する場合



### ■ ベッドの足側 / 右側に設置する場合



### ■ ベッドの足側 / 左側に設置する場合



## 2. センターフレーム、ベースA、ベースB、ベースCの組立ておよび取付位置

■該当するベッドのタイプを表で確認し、ベースA、ベースBの固定金具の組立て、サイドフレームの取付位置、およびベースCを固定金具の組立てを行ってください。

<ベースA、ベースB、ベースCの組立ておよび取付位置>

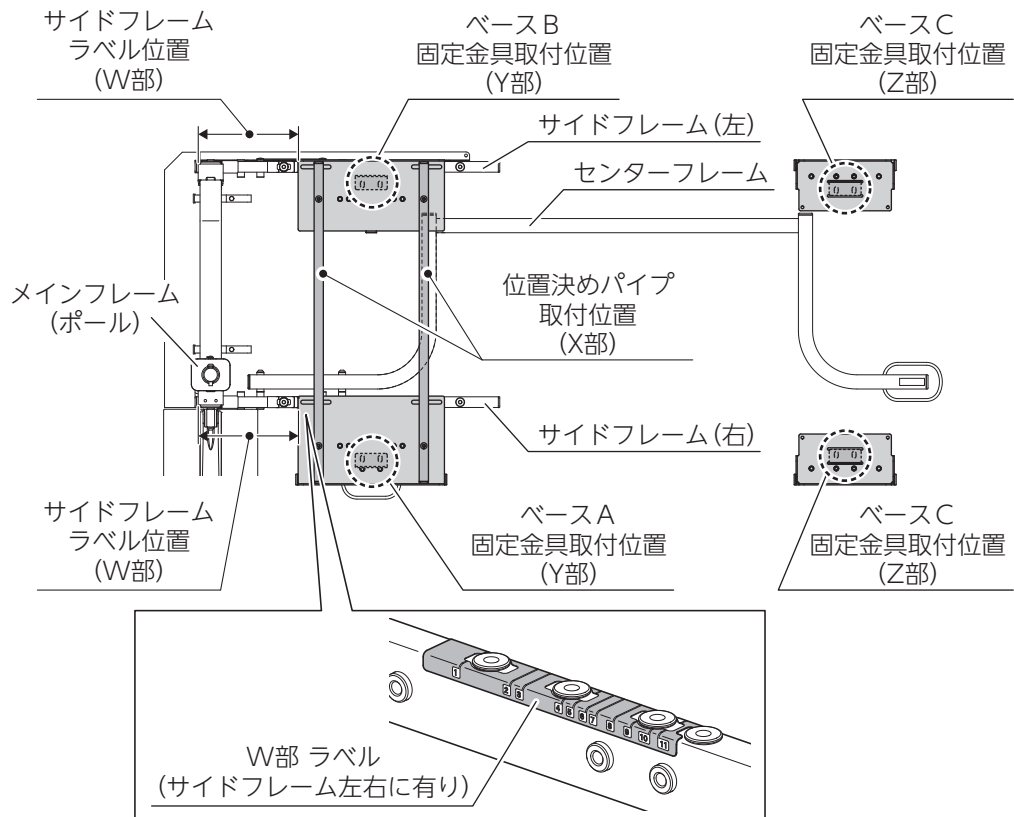
ベッドタイプ		リフト 設置位置	ベッド長さ	センター フレーム 取付位置 → 37 ページ	サイド フレーム ラベル位置 (W部) → 36 ページ	位置決め パイプ 取付位置 (X部) → 37 ページ	ベースA, ベースB 固定金具 取付位置 (Y部) → 38 ページ	ベースC 固定金具 取付位置 (Z部) → 39・40 ページ		
楽匠フィット	Hタイプ 3モーション/ 2モーション	頭側設置	レギュラー	①	③	㊦	f	i		
			ミニ	②	①	㊦	f	i		
			ロング	①	⑧	㊦	f	i		
		足側設置 (パノラマ タイプのみ)	レギュラー	①	⑦	㊦	f	i		
			ミニ	②	②	㊦	f	i		
			ロング	①	⑪	㊦	f	i		
	Xタイプ 3モーター/ 2モーション/ 2モーター	頭側設置	レギュラー	①	⑨	㊧	g	iii		
			ミニ	②	④	㊧	g	iii		
		足側設置 (パノラマ タイプのみ)	レギュラー	①	⑤	㊧	g	iii		
			ミニ	②	②	㊧	g	iii		
楽匠プラス	Hタイプ 3モーション/ 2モーション	頭側設置	レギュラー	①	③	㊦	f	i		
			ミニ	②	①	㊦	f	i		
		Xタイプ 3モーター/ 2モーション/ 2モーター	頭側設置	レギュラー	①	⑨	㊧	g	iii	
				ミニ	②	④	㊧	g	iii	
	足側設置	レギュラー	①	⑤	㊧	g	iii			
		ミニ	②	②	㊧	g	iii			
		楽匠 Wing	3モーション/ 2モーション	頭側設置	レギュラー	①	③	㊦	f	i
					ロング	①	⑧	㊦	f	i
楽匠 Z	3モーション/ 2モーション	頭側設置	レギュラー	①	③	㊦	f	i		
			ミニ	②	①	㊦	f	i		
楽匠 FeeZ	3モーター/ 2モーター	頭側設置	レギュラー	①	⑨	㊧	h	ii		
		足側設置	レギュラー	①	⑤	㊧	h	ii		
楽匠 S	らくらくモーション/ 3モーター/ 2モーター	頭側設置	レギュラー	①	⑨	㊧	h	ii		
			ミニ	②	④	㊧	h	ii		
		足側設置	レギュラー	①	⑤	㊧	h	ii		
			ミニ	②	②	㊧	h	ii		
楽匠 S 100cm 幅	らくらくモーション/ 2モーター	頭側設置	レギュラー	①	⑧	㊧	k	ii		
		足側設置	レギュラー	①	④	㊧	k	ii		
レント	3モーター/ 2モーター	頭側設置	レギュラー	①	④	㊥	h	ii		
			ミニ	②	②	㊥	h	ii		
		足側設置	レギュラー	①	③	㊥	h	ii		
			ミニ	②	①	㊥	h	ii		

↓ 次ページに続く

## 7 組立方法

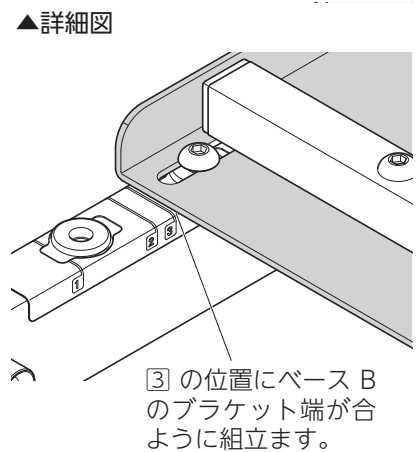
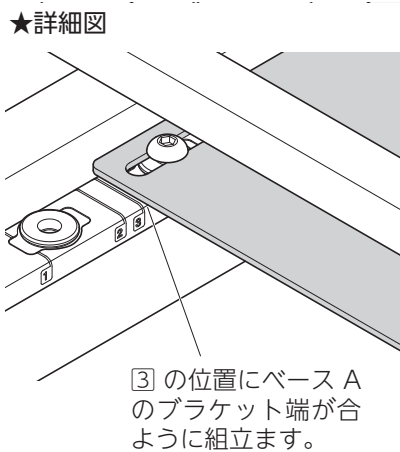
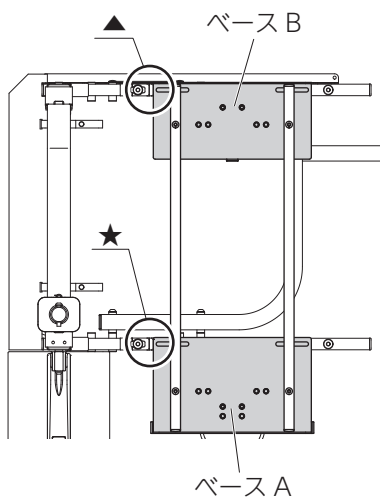
### 2. センターフレーム、ベースA、ベースB、ベースCの組立ておよび取付位置

ベッドタイプ		リフト 設置位置	ベッド長さ	センター フレーム 取付位置 → 37 ページ	サイド フレーム ラベル位置 (W部) → 36 ページ	位置決め パイプ 取付位置 (X部) → 37 ページ	ベースA, ベースB 固定金具 取付位置 (Y部) → 38 ページ	ベースC 固定金具 取付位置 (Z部) → 39・40 ページ
KQ-60000	3 モーター/ 2 モーター	頭側設置	レギュラー	①	⑪	㊦	g	iv
			ミニ	②	㉗	㊦	g	iv
KQ-B6000	3 モーター/ 2 モーション/ 2 モーター	頭側設置	レギュラー	①	⑩	①	g	vi
			ミニ	②	⑥	①	g	vi
INTIME- COMFORT	3 モーター	頭側設置	レギュラー	①	⑧	①	k	ii
		足側設置	レギュラー	①	④	①	k	ii
KR+	3 モーター/ 2 モーター	頭側設置	レギュラー	①	⑧	㊦	h	v
INTIME1000	3 モーター/ 2 モーター	頭側設置	レギュラー	①	⑩	㊦	g	iv
INTIME2000	3 モーター/ 2 モーター	頭側設置	レギュラー	①	⑩	㊦	g	iv
INTIME3000	4 モーター	頭側設置	レギュラー	①	③	㊦	f	i
INTIME1000 (RQ-A1 **** / RQ-B1 ****)	3 モーター	頭側設置	レギュラー	①	①	㊦	h	ii
RA-B1 モデル	3 モーター	頭側設置	レギュラー	①	⑪	①	g	vi
RA-C1 / C 2 モデル	3 モーター	頭側設置	レギュラー	①	①	㊦	h	ii
RA-E1 モデル	4 モーター	頭側設置	レギュラー	①	③	㊦	f	i



①表 (34・35 ページ参照) の「サイドフレームラベル位置 (W部)」を参照しベースA、ベースBの取付位置をメモしてください。

例:「楽匠プラス Hタイプ 頭側設置」に設置する場合、図の③の位置がベースA、ベースBのブラケット端が合うように組立てます。

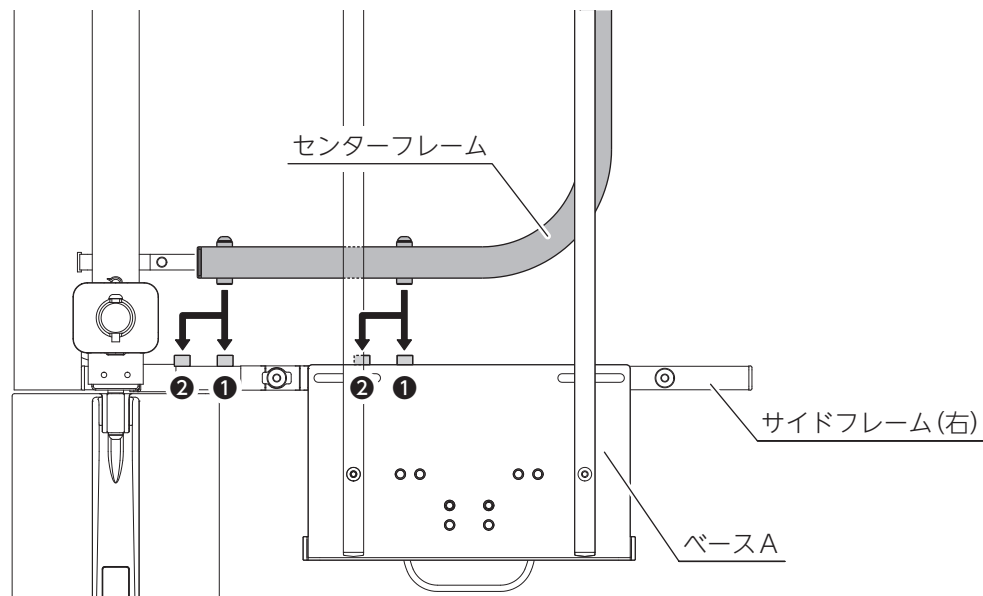


## 7 組立方法

### 2. センターフレーム、ベースA、ベースB、ベースCの組立ておよび取付位置

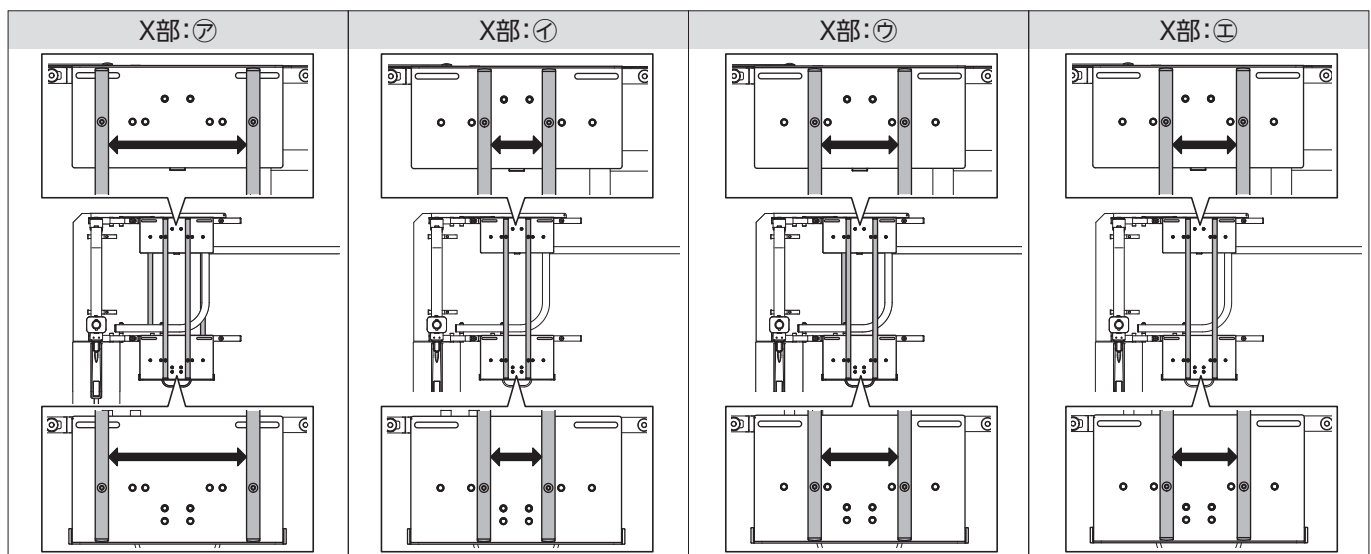
②表(34・35 ページ参照)の「センターフレーム取付位置」を参照し、センターフレームの取付位置をメモしてください。

例：ベッド長さが「レギュラー」の場合、図の①の位置がセンターフレームの取り付け位置になります。



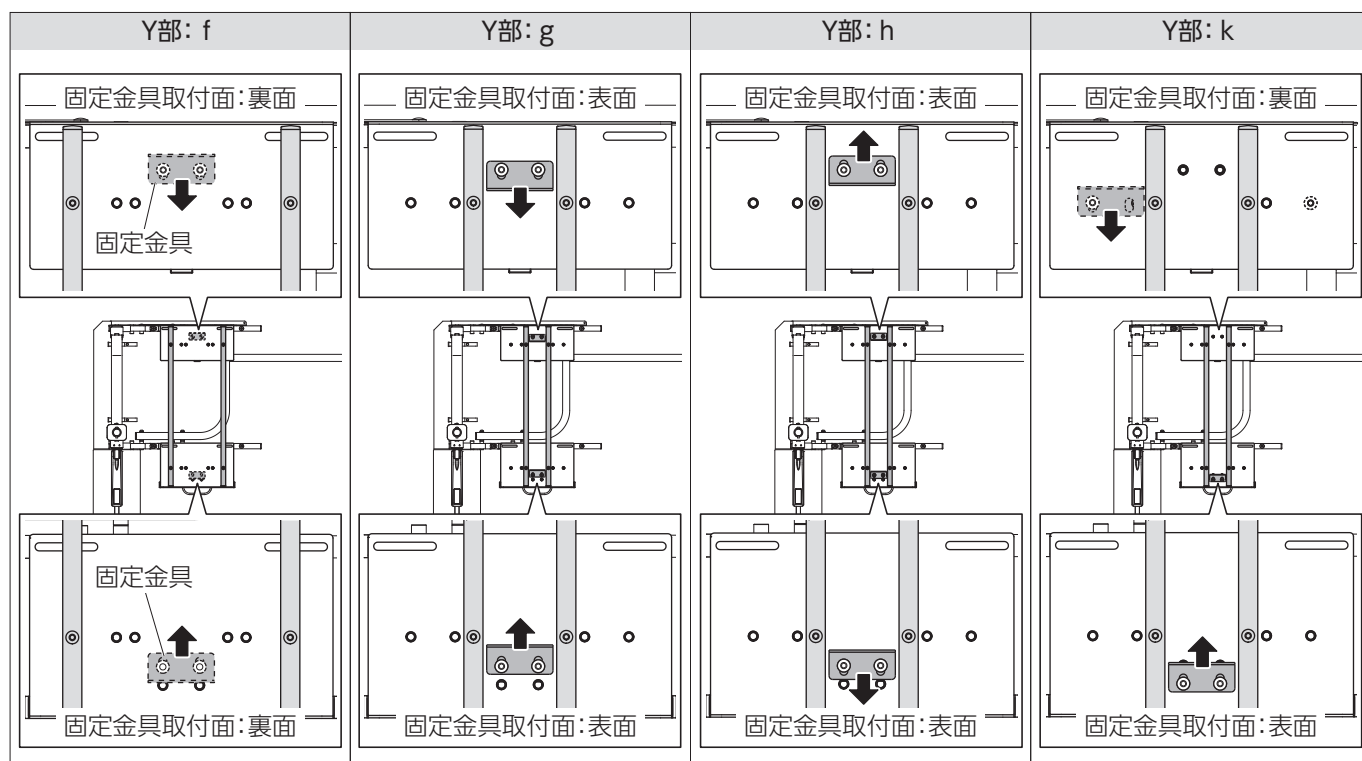
③表(34・35 ページ参照)の「位置決めパイプ取付位置(X部)」を参照し、図から位置決めパイプの取付位置をメモしてください。

例：「楽匠プラス Hタイプ 頭側設置」に設置する場合、図の㊦の位置が位置決めパイプの取付位置となります。



④表 (34・35 ページ参照) の「ベースA, ベースB固定金具取付位置 (Y部)」を参照し、図から固定金具の取付位置を確認します。

例:「楽匠プラス Hタイプ 頭側設置」に設置する場合、図のfの位置が固定金具の取付位置となります。



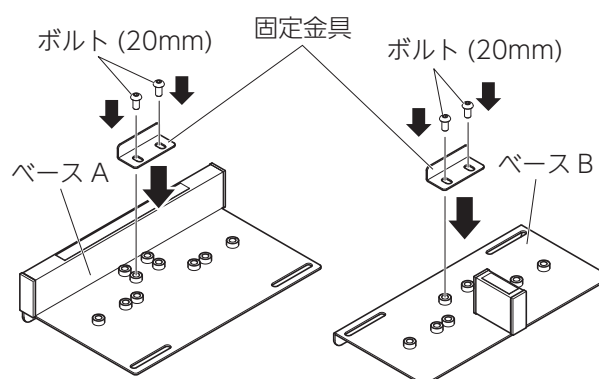
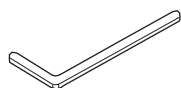
※fの両側、kの片側の固定金具は裏面

⑤固定金具をベースA、ベースBにボルト (20mm) で組立ててください。

例: 取付位置 [f] の場合 (裏面への組付け)

※推奨締付トルクは 30 ~ 50N・m です。

使用工具  
六角レンチ (対辺6mm)

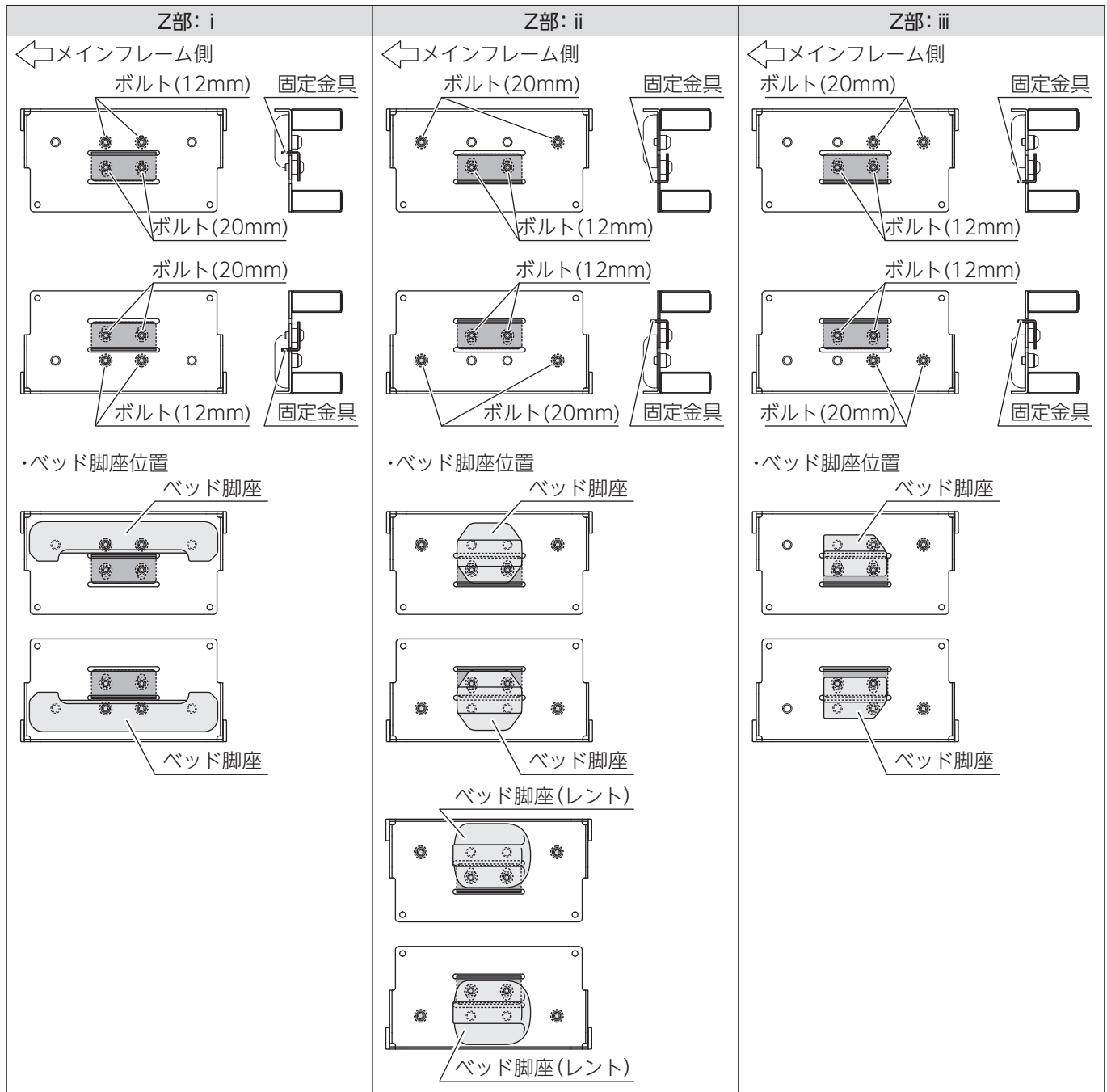


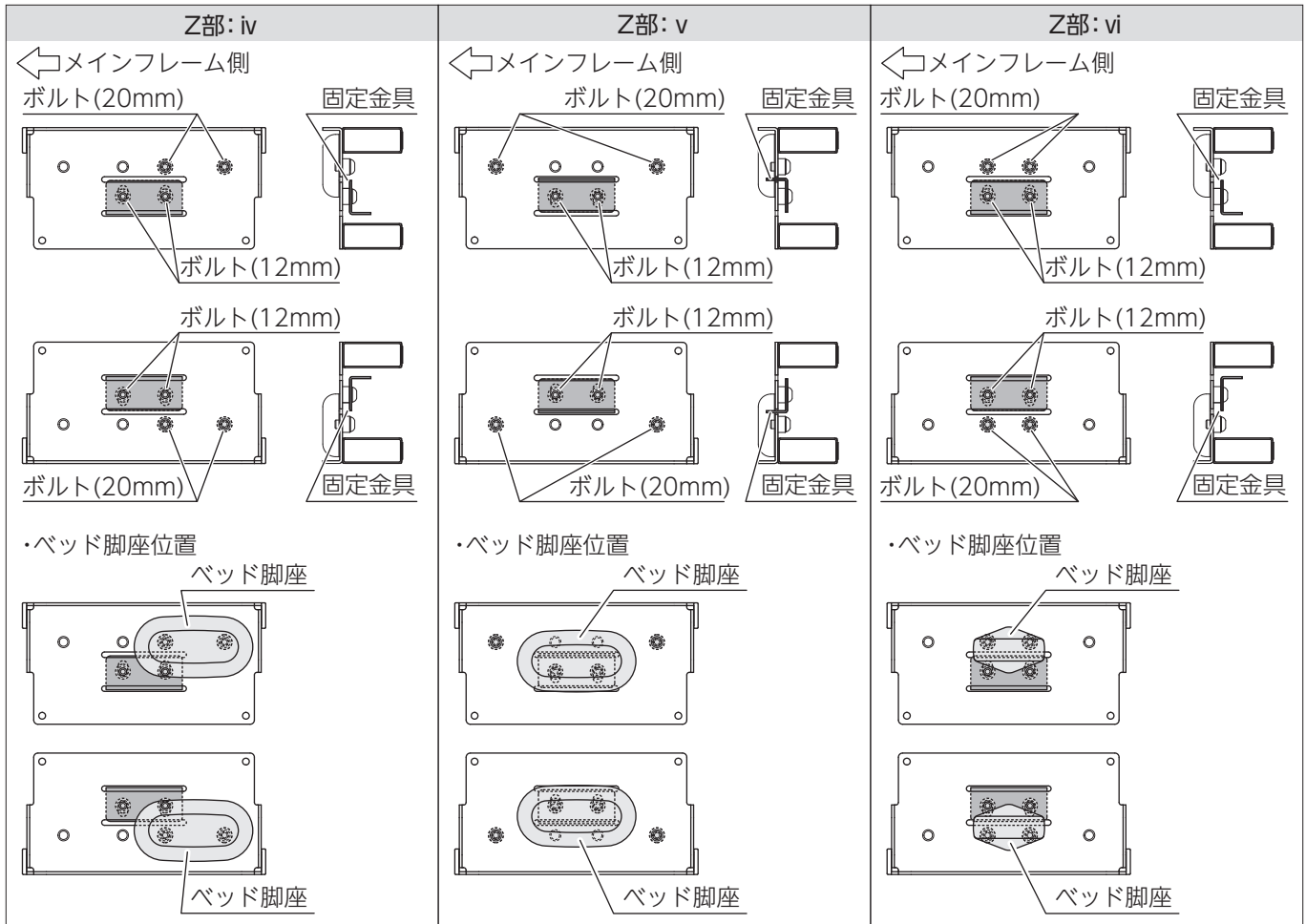
# 7 組立方法

## 2. センターフレーム、ベースA、ベースB、ベースCの組立ておよび取付位置

⑥表 (34・35 ページ参照) の「ベースC固定金具取付位置 (Z部)」を参照し、図から固定金具、ボルトの取付位置をメモしてください。

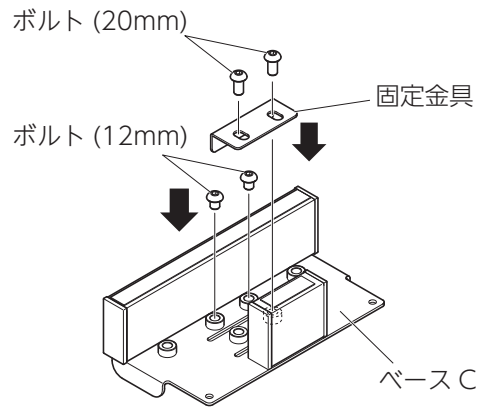
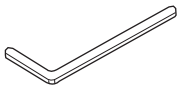
例:「楽匠プラス Hタイプ 頭側設置」に設置する場合、図のiの位置が固定金具の取付位置となります。



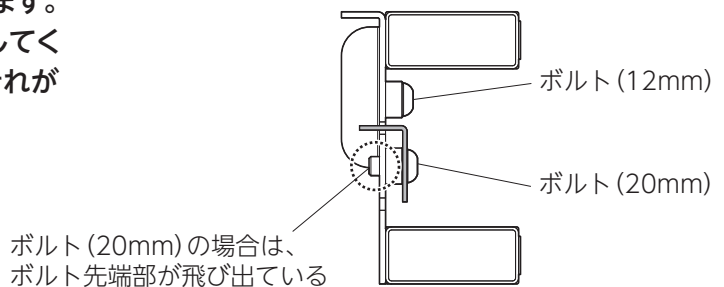


- ⑦固定金具をベースCにボルト(20mm、12mm)で組立ててください。  
 例: 取付位置 [i] の場合  
 ※推奨締付トルクは 30~50N・m です。

使用工具  
六角レンチ(対辺6mm)

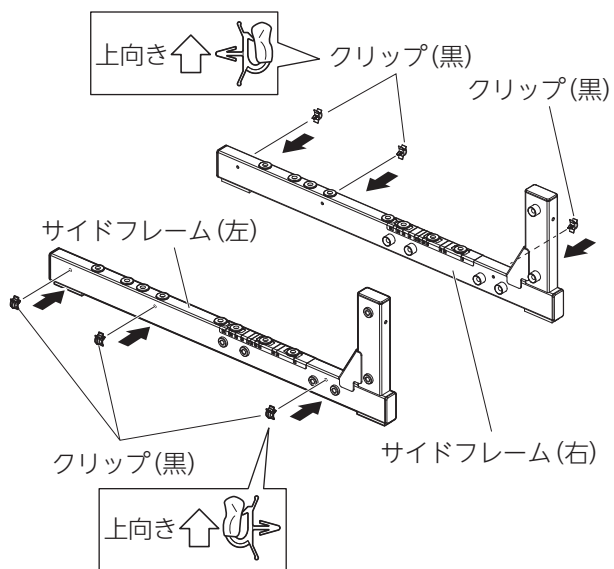


- ボルトの長さによって取付位置が異なります。  
 下図を参考にボルトの取付位置を確認してください。ベッドに取付けられなくなるおそれがあります。

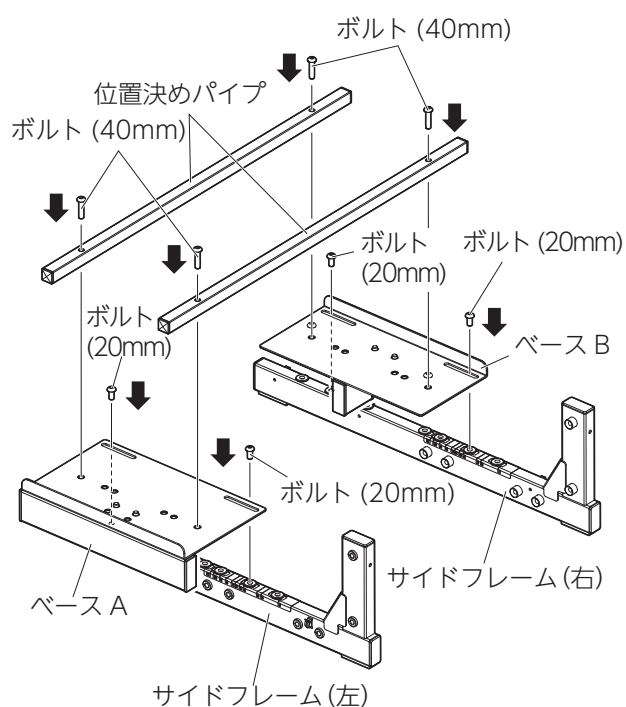


## 7 組立方法

### 3. サイドフレームの取付け



① サイドフレームにケーブル取付口が上向きになるように、クリップ(黒)を取付けてください。



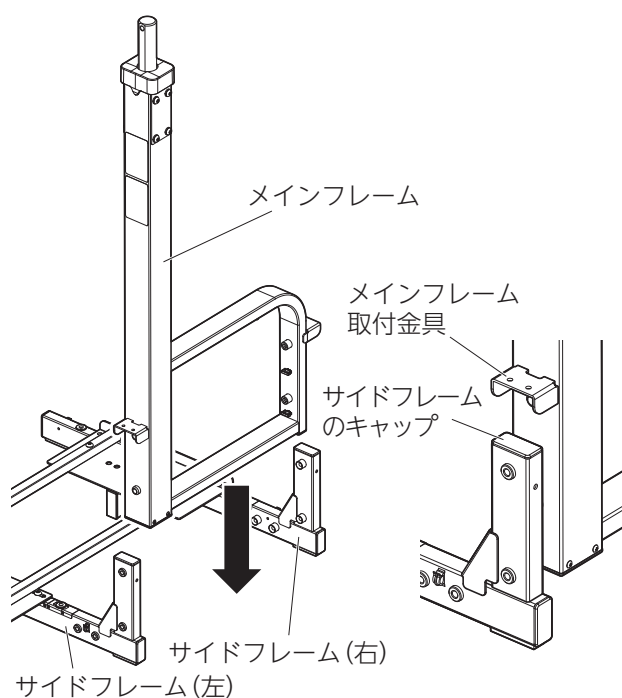
② ベッドの頭側・足側どちらに介護リフトを取付けるか確認してください。どちらに介護リフトを取付けるかによって、センターフレームの取付位置が変わります。44 ページを参照し取付向きを確認してください。

③ ボルト(40mm、20mm)でベースA、ベースB、位置決めパイプをサイドフレームに仮止めしてください。

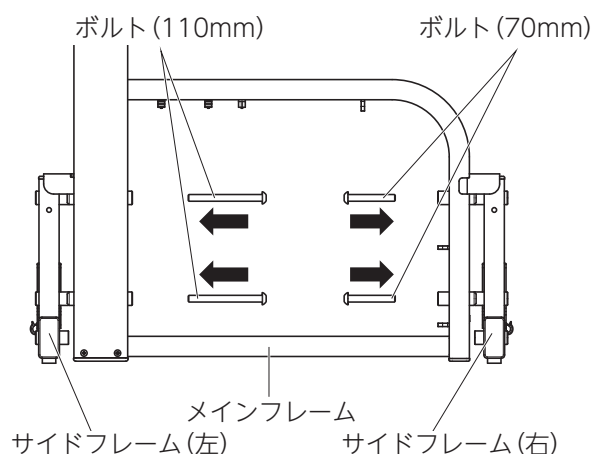
## 4. メインフレームの取付け



- 組立てる際はメインフレームが倒れないよう、手でメインフレームを支えてください。メインフレームが倒れてけがをしたり、メインフレームやゆかなどが破損・変形したりするおそれがあります。
- メインフレームは移乗側に安全ラベルが見えるように取付けてください。誤って逆側に取付けると、介護リフトが転倒してけがをしたり、介護リフトが破損・変形したりするおそれがあります。



①図のようにメインフレームを垂直に降ろし、メインフレーム取付金具をサイドフレームのキャップの上に載せてください。その際、両側ともしっかり載るように注意してください。



②ボルト(110mm、70mm)でメインフレームをサイドフレームに仮止めしてください。

③仮止めしたボルト(110mm、70mm)を六角レンチ(対辺6mm)でしっかりと固定してください。

※推奨締付トルクは30～50N・mです。

※ねじピッチ：細目(M10×ねじピッチ1.25)

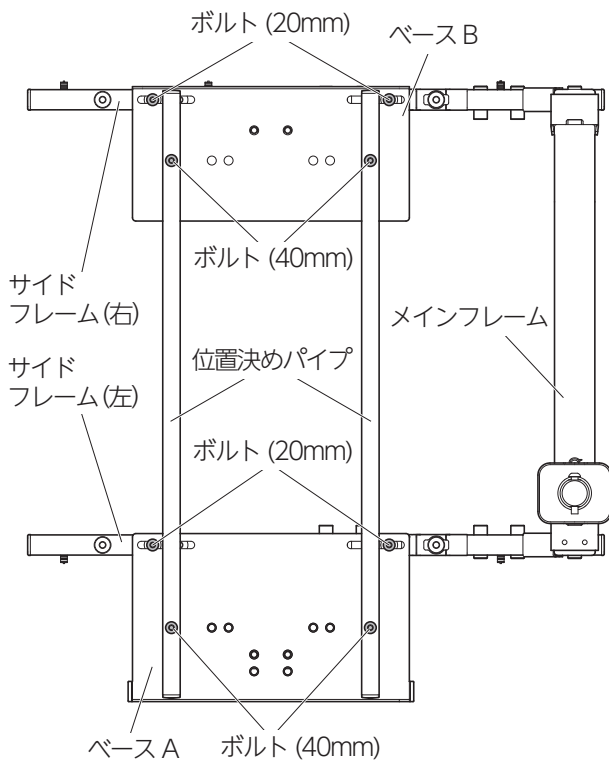
使用工具  
六角レンチ(対辺6mm)



- 使用するボルトの長さに注意してください。取付るボルトの長さを間違えると、介護リフトが転倒してけがをしたり、介護リフトが破損・変形したりするおそれがあります。

## 7 組立方法

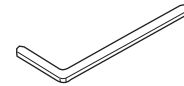
### 4. メインフレームの取付け



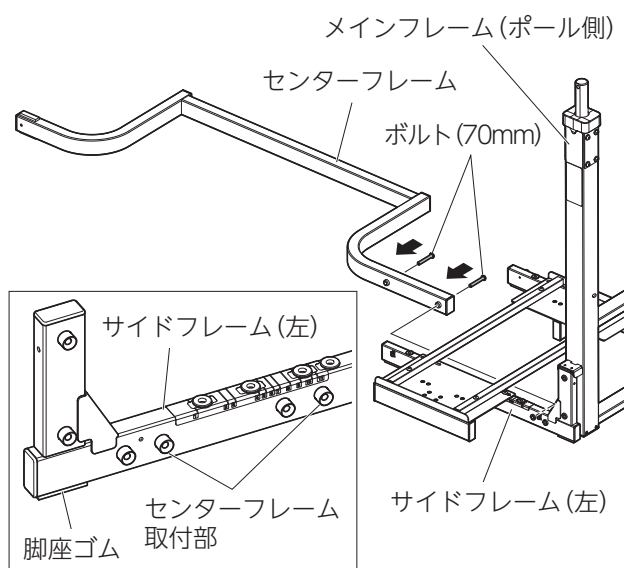
④ 仮止めしていたベースA、ベースB、位置決めパイプのボルト(40mm、20mm)を六角レンチ(対辺6mm)でしっかりと固定してください。

※ 推奨締付トルクは 30～50N・m です。

使用工具  
六角レンチ(対辺6mm)



## 5. センターフレームの取付け



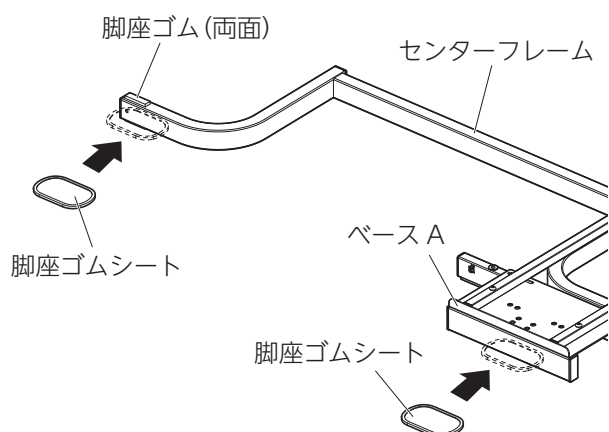
- ① ボルト (70mm) でセンターフレームをサイドフレームに仮止めしてください。
- ② 仮止めしたボルト (70mm) を六角レンチ (対辺 6mm) でしっかりと固定してください。  
※ 推奨締付トルクは 30～50N・m です。  
※ ねじピッチ：細目 (M10 ×ねじピッチ 1.25)

使用工具  
六角レンチ (対辺6mm)



- センターフレームはメインフレーム (ポール側) のサイドフレームに取付けてください。

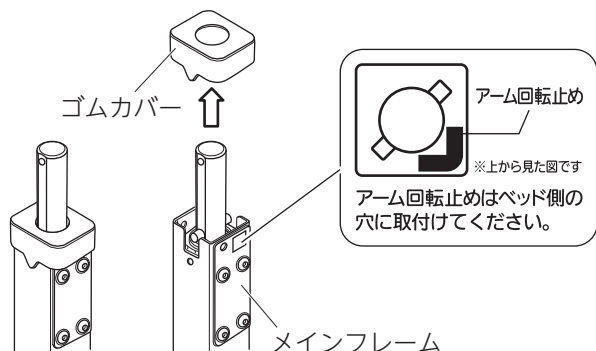
- ③ 脚座ゴムシートをベースA、センターフレームに配置してください。



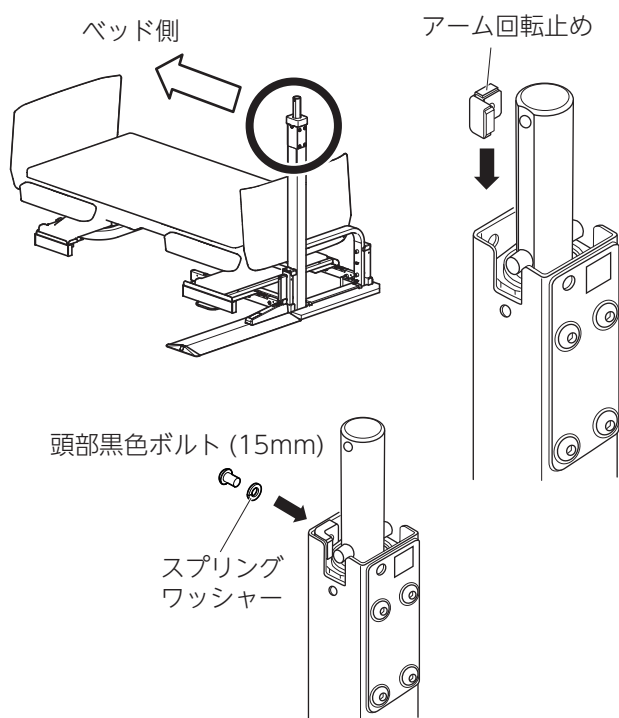
- 脚座ゴムシートは必ず配置してください。配置し忘れると、介護リフトが転倒してけがをしたり、介護リフトが破損・変形したりするおそれがあります。

# 7 組立方法

## 6. アーム回転止めの取付け



①メインフレームのゴムカバーを外してください。



②アーム回転止めを、ベッド側に取付けてください。

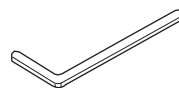


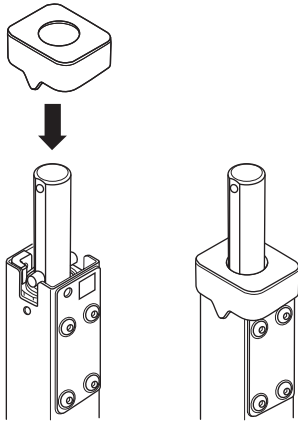
●アーム回転止めはベッド側に取付けてください。  
誤った位置にアーム回転止めを取付けると、アームが誤った方向に回転して、介護リフトが転倒してけがをするおそれがあります。

③頭部黒色ボルト (15mm) にスプリングワッシャーを通し、アーム回転止めをメインフレームに仮止めしてください。

④仮止めした頭部黒色ボルト (15mm) を六角レンチ (対辺 6mm) でしっかりと固定してください。  
※推奨締付トルクは 30～50N・m です。  
※ねじピッチ：細目 (M10 ×ねじピッチ 1.25)

使用工具  
六角レンチ (対辺6mm)

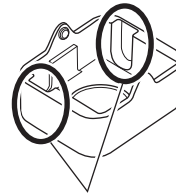




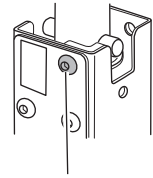
⑤ゴムカバーを元のようにメインフレームに取付けてください。



●ゴムカバーの裏面には、アーム回転止めを固定した頭部黒色ボルト(15mm)の頭が入るくぼみがあります。ゴムカバーを取付ける際は、頭部黒色ボルト(15mm)の頭とゴムカバー裏面のくぼみの向きをあわせて取付けてください。(下図参照)



ゴムカバーの裏面のくぼみ



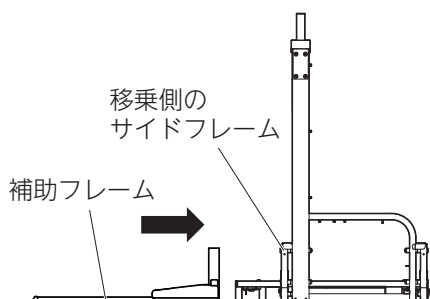
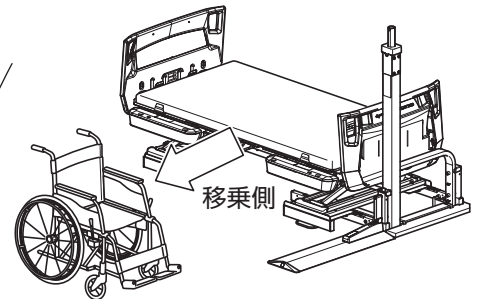
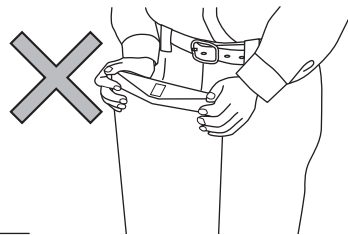
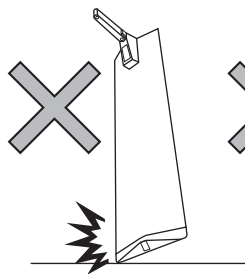
頭部黒色ボルト(15mm)の頭

## 7. 補助フレームの取付け



●組立てる際は、補助フレームを落としたり、補助フレーム先端の角を持ったり、補助フレームの先端の角をゆかに当てないように注意してください。誤って落とすと、補助フレームが足などにぶつかったりしてけがをしたり、ゆかや家具、補助フレームなどが破損・変形したりするおそれがあります。また、補助フレーム先端の角でけがをしたり、ゆかを傷つけたりするおそれがあります。

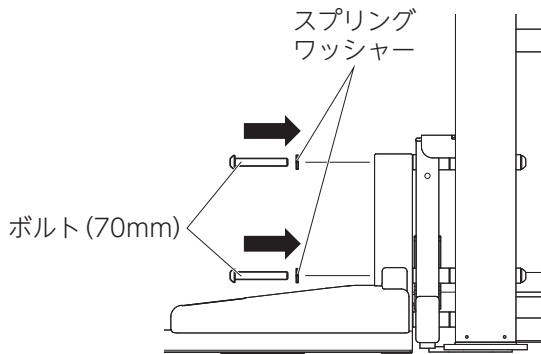
●補助フレームは移乗側に取付けてください。誤って逆側に取付けると、介護リフトが転倒してけがをしたり、介護リフトが破損・変形したりするおそれがあります。



①補助フレームを移乗側のサイドフレームに取付けてください。

# 7 組立方法

## 7. 補助フレームの取付け



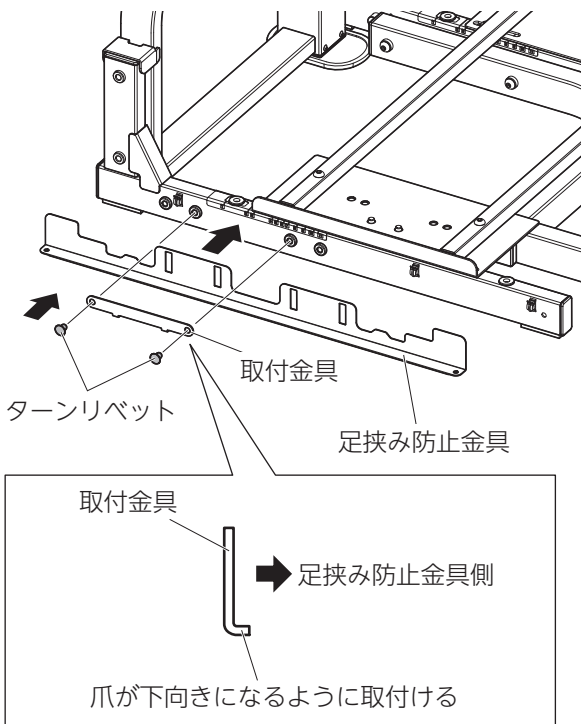
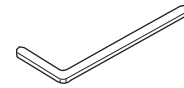
② ボルト(70mm)、スプリングワッシャーで補助フレームをサイドフレームに仮止めしてください。



●使用するボルトの長さに注意してください。

③ 仮止めしたボルト(70mm)を六角レンチ(対辺6mm)でしっかりと固定してください。  
※推奨締付トルクは30~50N・mです。  
※ねじピッチ:細目(M10×ねじピッチ1.25)

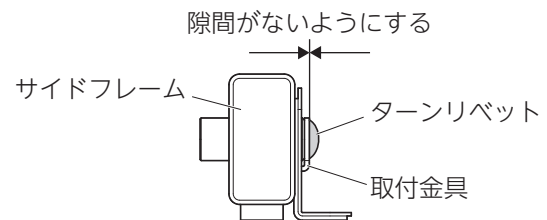
使用工具  
六角レンチ(対辺6mm)

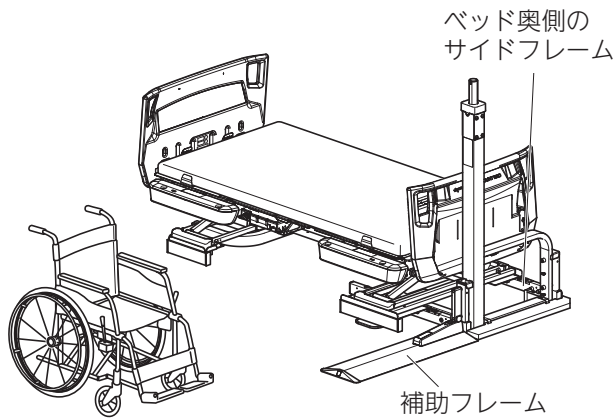


④ 補助フレーム取付けの反対側サイドフレームに足挟み防止金具、取付金具をターンリベットで取付けてください。



●取付金具とターンリベットに隙間が無いように、ターンリベットを回転させながら差込んでください。



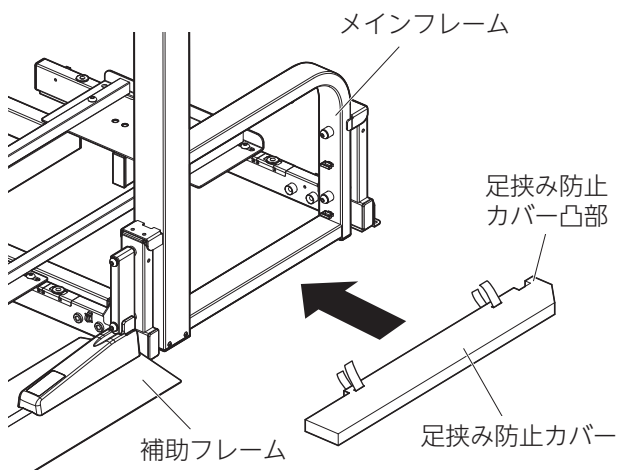


●設置するゆかの状態によって、補助フレーム先端が浮いてしまうことがあります。故障ではありません。補助フレームの先端が浮いている場合は、ベッドとリフトを設置する場所を変えるなど、補助フレームの先端がゆかに接する状態にしてください。

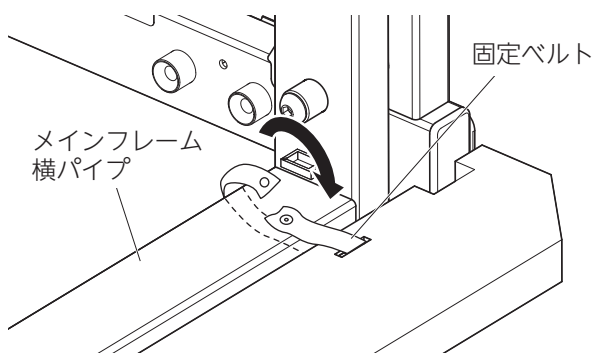


●組立て後、補助フレーム先端がゆかに接していることを確認してください。補助フレームの先端が浮いていると補助フレームとゆかとの間に足指がはさまれてけがをするおそれがあります。補助フレームの先端が浮いている場合は、ベッドとリフトを設置する場所を変えるなど、補助フレームの先端がゆかに接する状態にしてください。

## 8. 足挟み防止カバーの取付け



①図のように足挟み防止カバー凸部を補助フレームの反対側にして、メインフレームに突き当ててください。



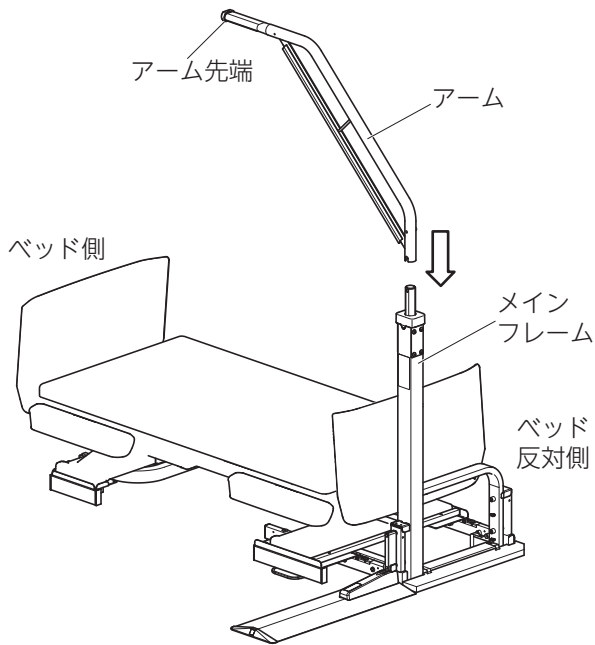
②足挟み防止カバーの固定ベルトを介護リフトのメインフレーム横パイプに巻き付け、固定ベルトのフックをしっかり固定してください(2ヶ所)。

# 7 組立方法

## 9. アームの取付け



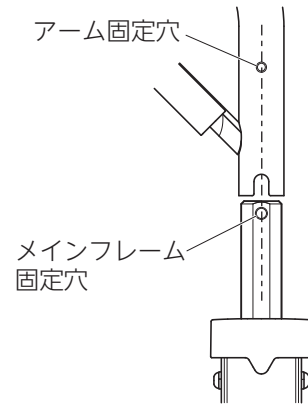
●アームをメインフレームに取付ける際は、アームが周辺の人や天井・家具などにぶつからないよう注意してください。ぶつかってけがをしたり、天井や家具などが破損・変形したりするおそれがあります。



①アーム先端の向きをベッド側にし、アームをメインフレームに取付けてください。



- アーム固定穴とメインフレーム固定穴の穴方向を同じ向きにあわせると、うまく取付けることができます。
- アームの先端の向きをベッド反対側にしてアームを取付けしないでください。



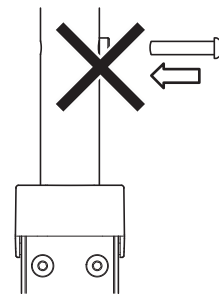
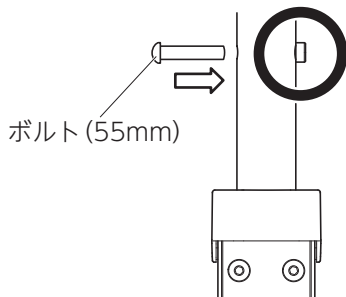
②ボルト(55mm)でアームを、メインフレームに仮止めしてください。



●使用するボルトの長さ(55mm)に注意してください。



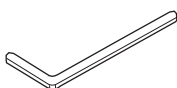
●ボルト(55mm)を入れる向きに注意してください。



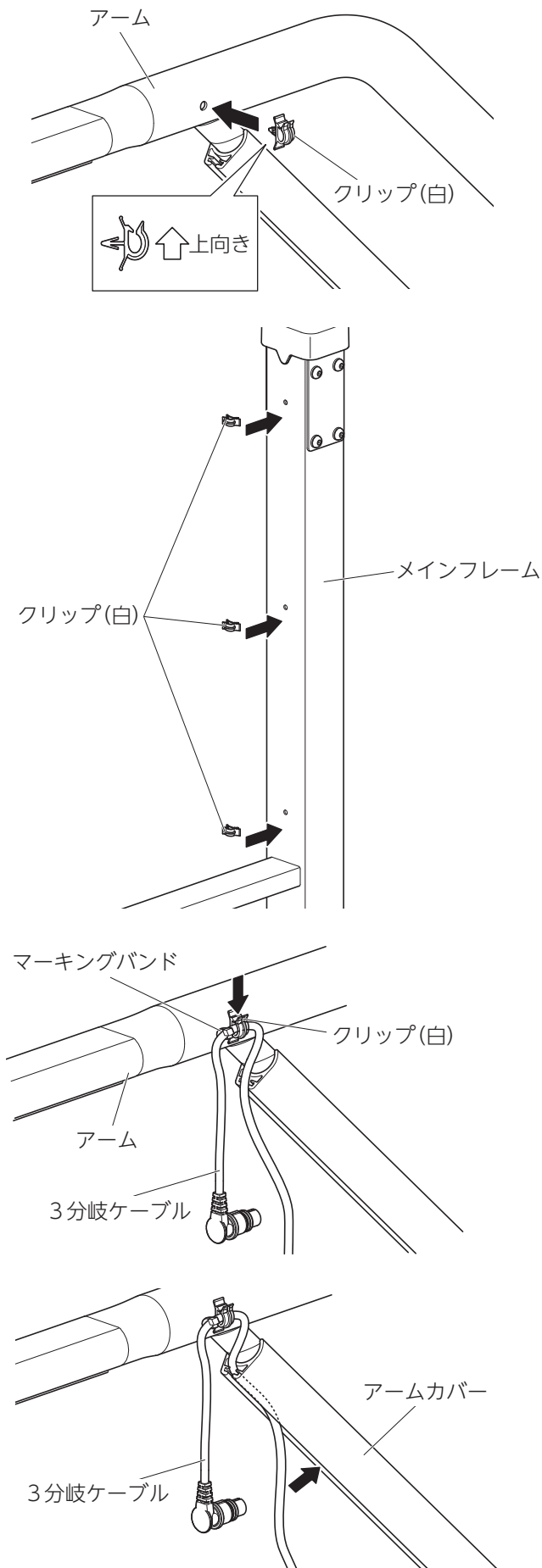
③仮止めしたボルト(55mm)を、六角レンチ(対辺6mm)でしっかりと固定してください。

※推奨締付トルクは 30～50N・m です。

使用工具  
六角レンチ(対辺6mm)



## 10.3分岐ケーブルの取付け



①クリップ(白)をアームにコード取付口が上向きになるように取付けてください。

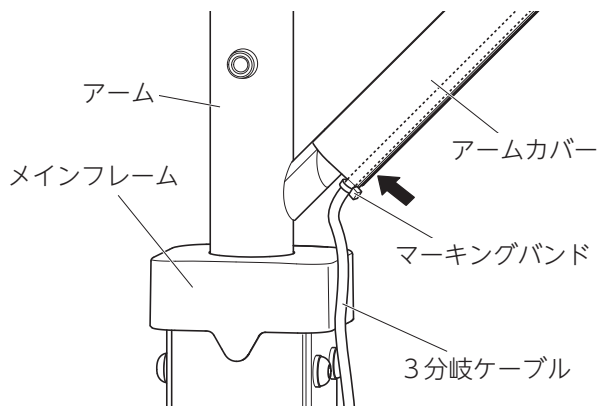
②クリップ(白)をメインフレームに取付けてください。

③3分岐ケーブルをマーキングバンドがクリップ(白)を挟むように留めてください。

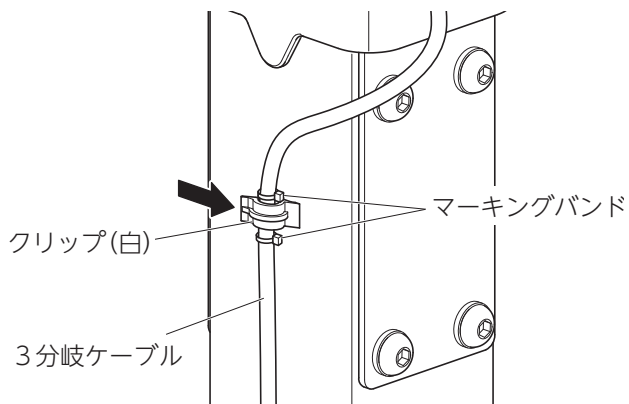
④3分岐ケーブルをアームカバーに差込んでください。

## 7 組立方法

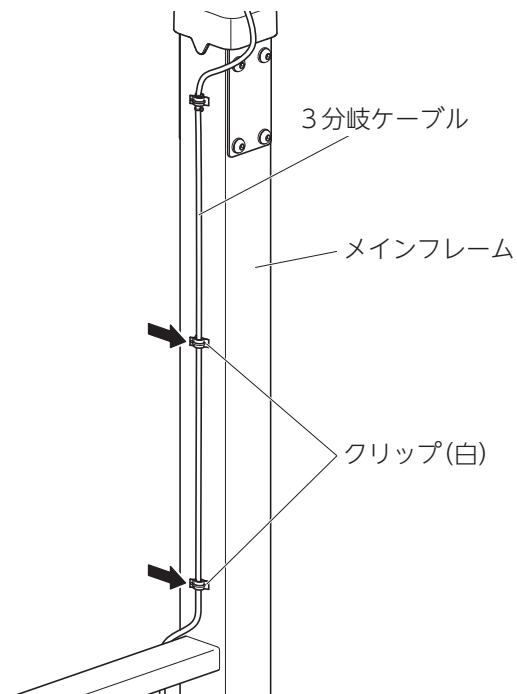
### 10. 3分岐ケーブルの取付け



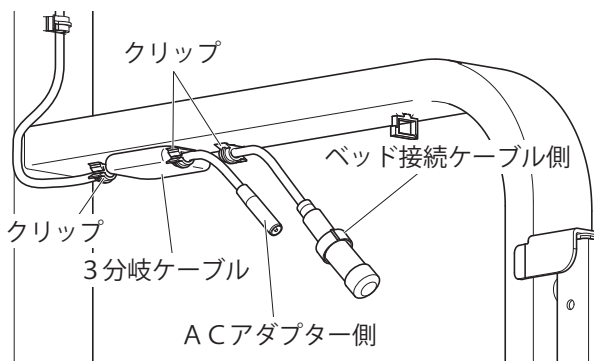
⑤ アームカバーのメインフレーム側は、3分岐ケーブルのマーキングバンドが出るようにしてください。



⑥ 3分岐ケーブルをメインフレームのクリップ(白)にマーキングバンドで挟むように留めてください。

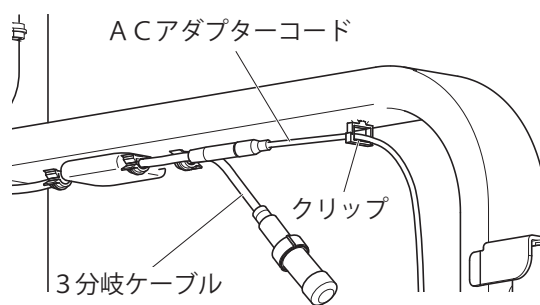


⑦ 3分岐ケーブルをメインフレームのクリップ(白)に留めてください。

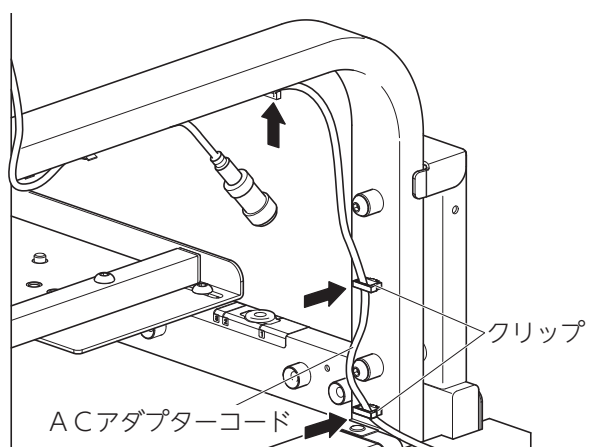


⑧ 3分岐ケーブルの分岐が図の向きになるようにクリップに留めてください。

## 11. ACアダプターの取付け



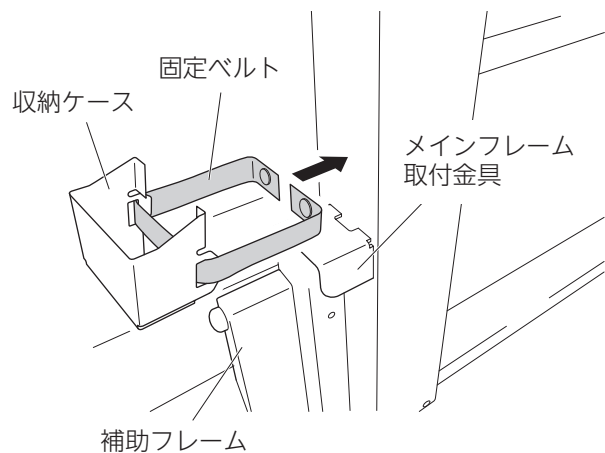
① ACアダプターのコネクタと3分岐ケーブルのコネクタを接続しクリップに留めてください。



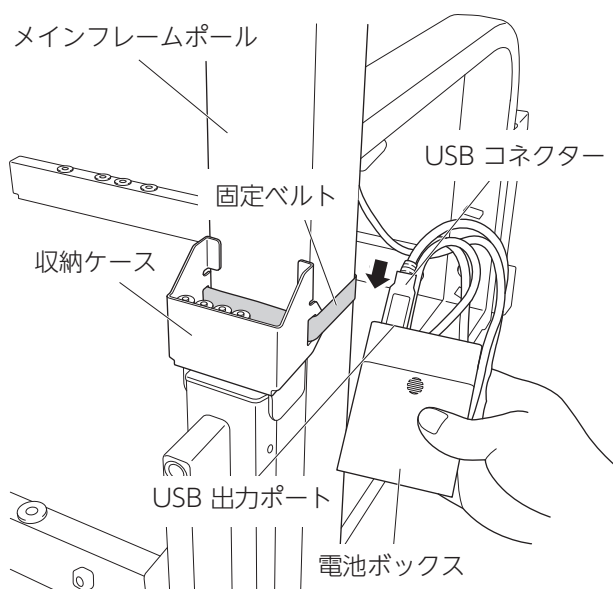
② ACアダプターのコードをクリップに留めてください。

## 7 組立方法

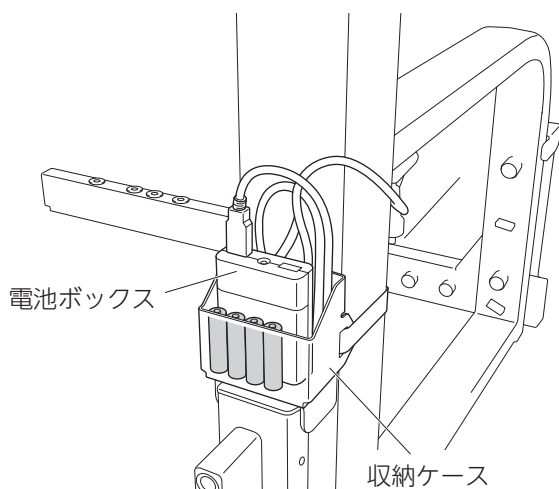
### 12. 電池ボックスの取付け



- ① 収納ケースを、補助フレーム側にあるメインフレーム取付金具の上に図の向きに置いてください。



- ② 収納ケースの固定ベルトをメインフレームポールに巻き付け、固定ベルトのホックをしっかりと固定してください。  
③ 3分岐ケーブルのUSBコネクターを電池ボックスのUSB出力ポートに差し込んでください。



- ④ 電池ボックスと単3形乾電池(4本)を収納ケースに収納してください。



- 乾電池は電池ボックスに入れないで、別々にして収納してください。
- 乾電池のフィルムは剥がさないでください。

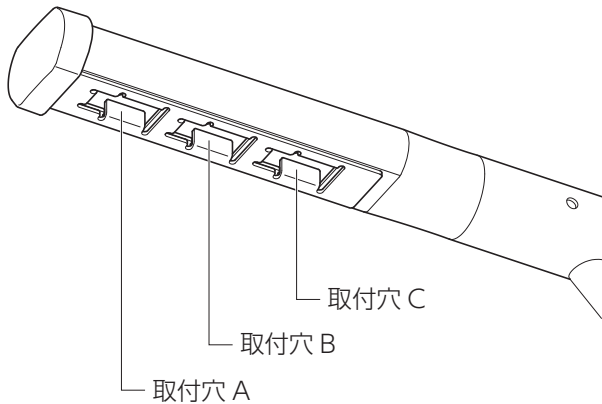
### 13. 昇降ユニット・ハンガー・手元スイッチの取付け



- ベッドに人が乗っている状態で、昇降ユニット・ハンガー・手元スイッチの取付けをしないでください。思わぬけがをすることがあります。
- 昇降ユニットを取付ける際は、昇降ユニットを落とさないように注意してください。誤って落とすと、けがをしたり昇降ユニットが破損したりすることがあります。



- 手元スイッチは、介護リフト専用のものを取付けてご使用ください。正しく機能しないおそれがあります。



①図を参照し取付穴を確認してください。取付穴は下記を推奨します。

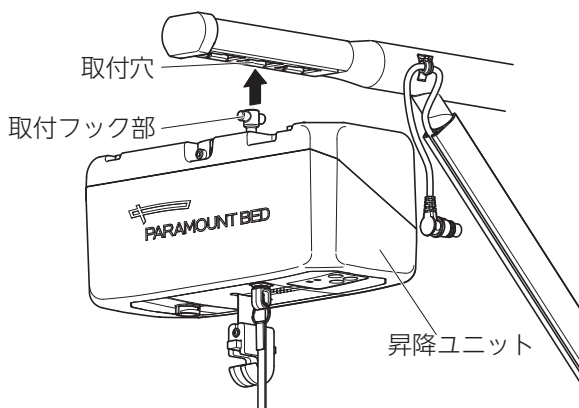


- 患者の体格やスリングの種類に応じて適切な取付穴を選択してください。

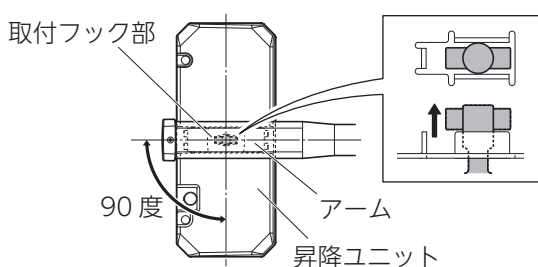
- 取付穴A：ベッド長さレギュラー・足側設置、または、楽匠 Wing のベッド長さロング・頭側設置
- 取付穴B：ベッド長さレギュラー・頭側設置、または、ベッド長さミニ・足側設置
- 取付穴C：ベッド長さミニ・頭側設置



- 昇降ユニットの取付位置が適切でないと思わぬけがをしたり、皮膚に異常が起こったりする恐れがあります。取付穴の選択に際しては、専門の医師や理学療法士、作業療法士などに相談してください。

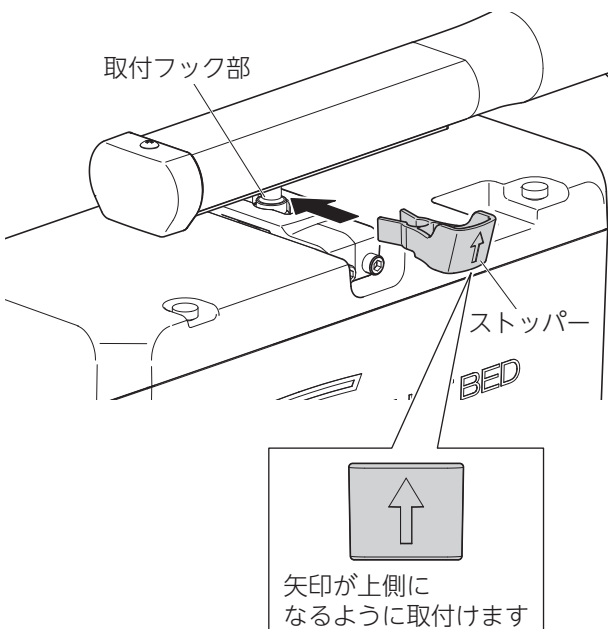
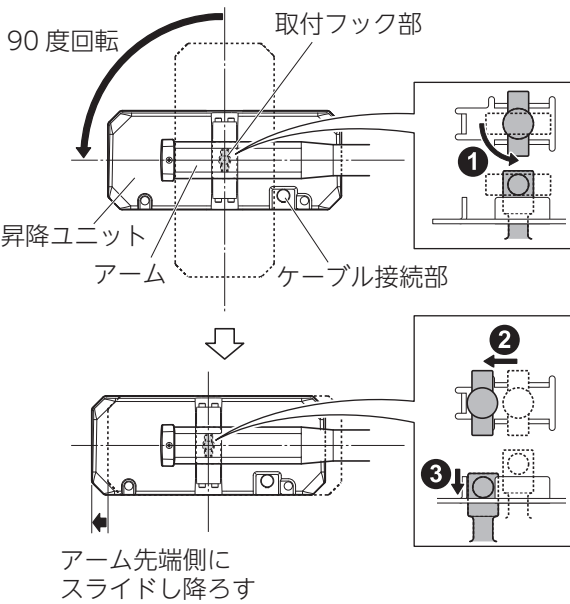
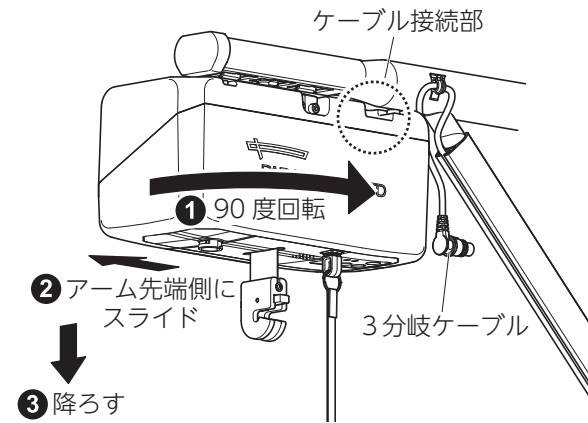


②昇降ユニットをアームと90度になるように持ち上げ、昇降ユニットの取付フック部を取付穴に差込んでください。



# 7 組立方法

## 13. 昇降ユニット・ハンガー・手元スイッチの取付け



③昇降ユニットを90度回転させアーム先端側にスライドさせ降ろします。そのとき3分岐ケーブルと昇降ユニットが接続できる向きに回転させてください。

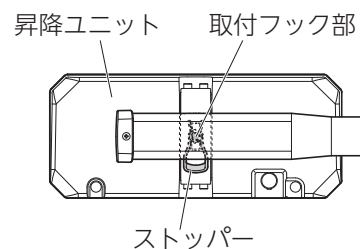
④図のようにストッパーを昇降ユニットの取付フック部に押付け、「パチッ」と音を確認して取付けます。

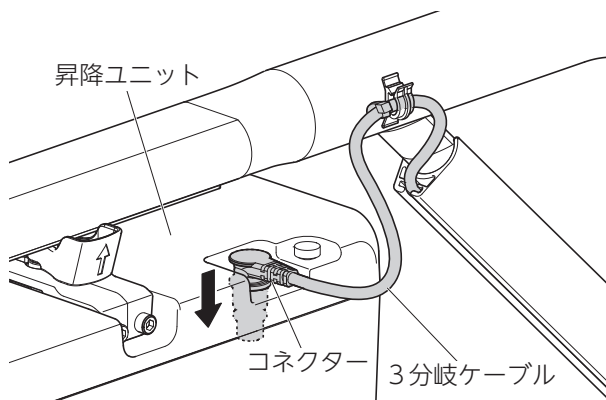


●ストッパーは矢印が上になるように取付けてください。

### けい こく 警告

●ストッパーを昇降ユニットの取付フック部に確実に取付け抜けないか確認してください。

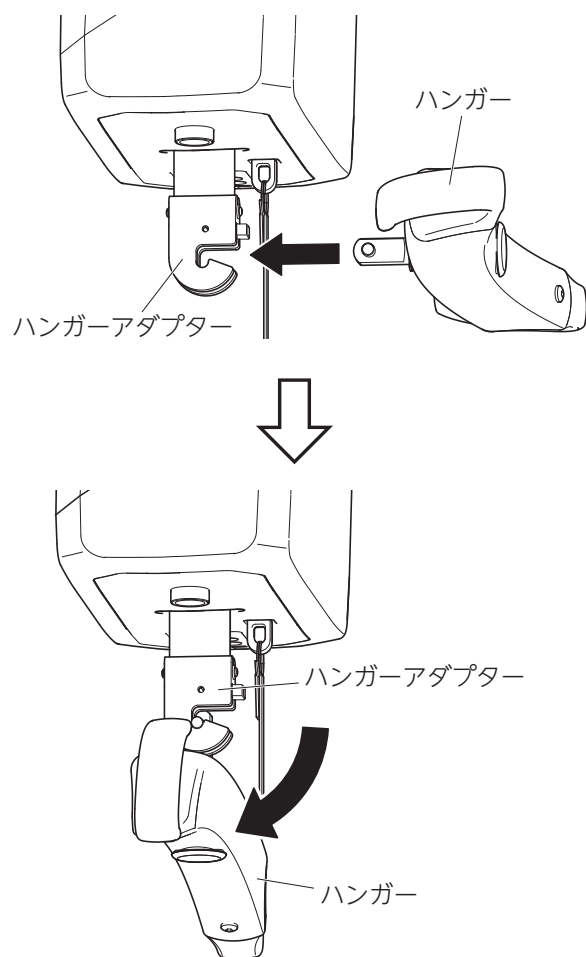




⑤ 3分岐ケーブルのコネクタを升降ユニットの3分岐ケーブルコネクタ差込口に差込んでください。



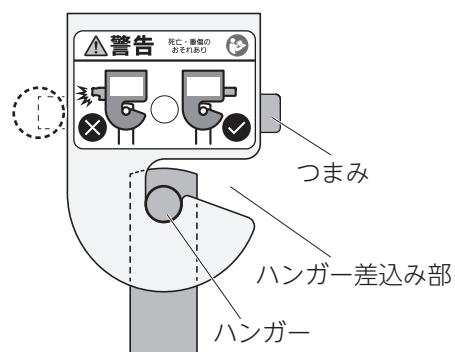
- 3分岐ケーブルコネクタの抜き差しはまっすぐ行ってください。
- 3分岐ケーブルコネクタが不意に外れないよう、差込口がきつくなっていますが、故障ではありません。
- コネクタがしっかりと奥まで差込まれていることを確認してください。



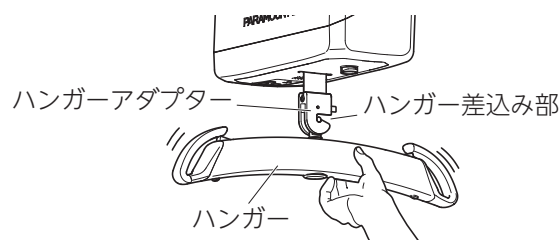
⑥ ハンガーをハンガーアダプターに取付けてください。



つまみがハンガー差込み部の反対側から飛び出していないことを確認してください。



●ハンガーがハンガーアダプターの奥まで差込まれ、ハンガーが外れないことを確認してください。

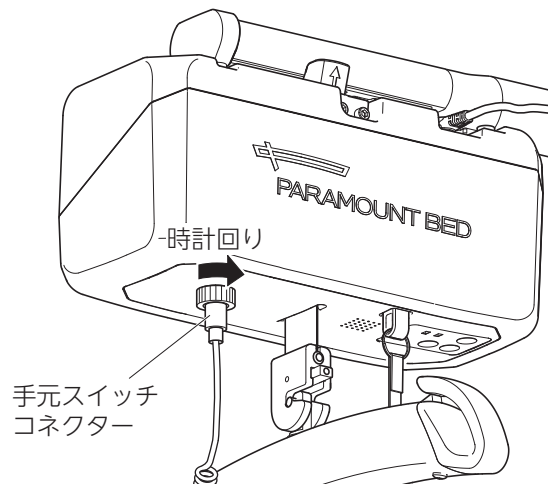


けい こく  
**警告**

- ハンガーがハンガーアダプターの奥まで差込まれ、つまみがハンガー差込み部の反対側から飛び出していないことを確認してください。ハンガーがハンガーアダプターから外れ、介護を受ける方が落下してけがをするおそれがあります。

## 7 組立方法

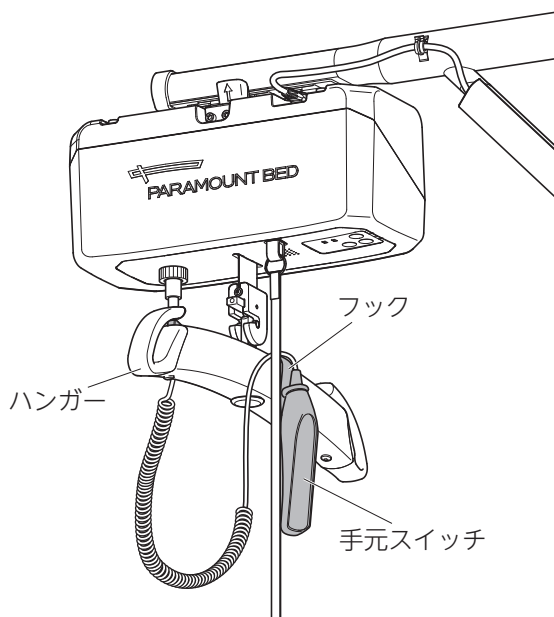
### 13. 昇降ユニット・ハンガー・手元スイッチの取付け



- ⑦手元スイッチコネクタを昇降ユニットの手元スイッチコネクタ差込口に差込んでください。
- ⑧コネクタキャップを時計回りに回してください。「カチッ」と音がして固定されます。



- 手元スイッチコネクタの抜き差しはまっすぐ行ってください。
- 手元スイッチコネクタが不意に外れないよう、差込口がきつくなっていますが、故障ではありません。
- コネクタがしっかりと奥まで差込まれていることを確認してください。



- 手元スイッチのフックをハンガーに引っ掛け、邪魔にならないようにしてください。

## 14. ベッドの設置

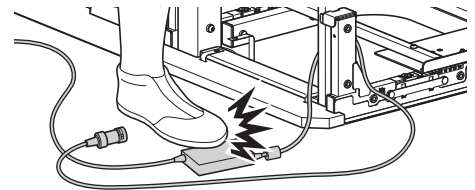
①設置するベッドの取扱説明書を参照しリフトの上に組み立ててください。



- ベッドの電源コードは正しく配線してください。誤った配線で介護リフトを使用すると、ベッドの電源コードが破損・断線し、感電・火災のおそれがあります。
- ベッドの電源コードはベッドのベースフレームや介護リフトのメインフレーム・サイドフレームの内側に入り込まないように注意してください。
- ベッドの電源コードはベッドの脚座や介護リフトのメインフレーム・サイドフレームなどで踏まないように配線してください。
- ベッドの電源コードはベッドの高さを一番上まであげた状態でも突っ張らないように配線してください。

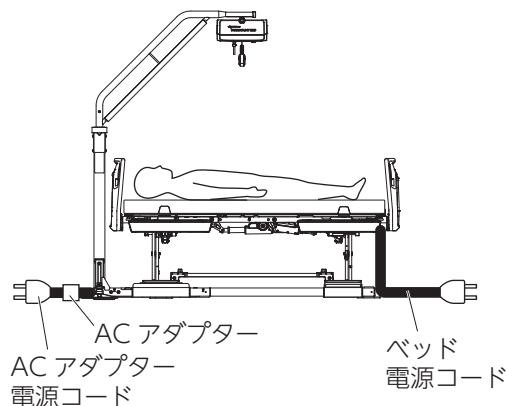


- ベッド組み立てのとき、ACアダプターを踏まないよう注意してください。



## 7 組立方法

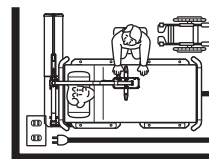
### 15. ACアダプター・ベッド電源コードの配線



- ① ACアダプターやベッド電源コードの配線する方向を決め、ACアダプターやベッド電源コードがベッドや介護リフトの内部に入らないように配線してください。



- ベッドの頭側にコンセントがある場合でも、ベッド外側にベッドの電源コードを配線させてください。電源コードがベッドや介護リフトの内側にありますと、電源コードが断線・破損し、感電・火災のおそれがあります。

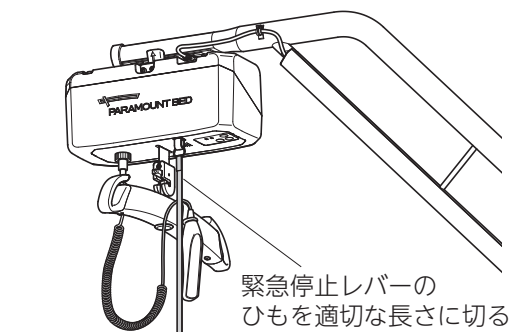
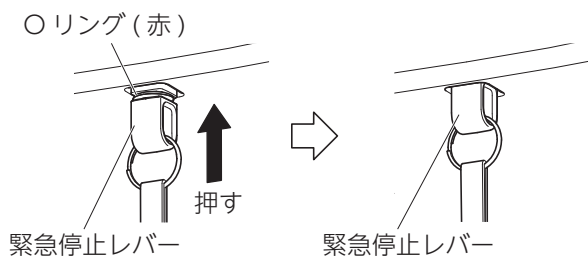


- ② ACアダプターの電源プラグをコンセントに差し込んでください。



- ベッドの頭側に介護リフトを設置する場合、メインフレームやサイドフレームについているクリップは使用せず、ベッド外側に電源コードを配線してください。

### 16. 緊急停止レバーの準備



- ① 緊急停止レバーのOリング(赤)が見えている場合、緊急停止レバーを押込んでください。

- ② 緊急停止レバーのひもを適切な長さに切ってください。



- 適切な長さに切らないと、余ったひもが利用者に引っかかり、けがをするおそれがあります。

## 17. ベッド接続ケーブルの接続

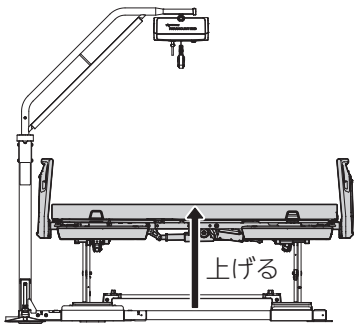


設置するベッドを確認のうえ作業を行ってください。(25・26 ページ参照)

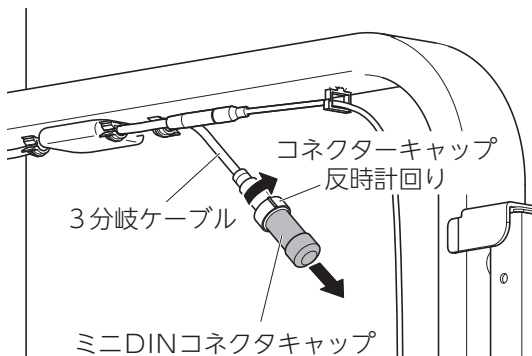


けい  
**警告**  
こく

- ベッド接続ケーブルは正しく配線してください。誤った配線で介護リフトを使用すると、ベッド接続ケーブルが破損・断線し、感電・火災のおそれがあります。
- ベッド接続ケーブルはベッドのベースフレームや介護リフトのメインフレーム・サイドフレームの内側に入り込まないように注意してください。
- ベッド接続ケーブルはベッドの脚座や介護リフトのメインフレーム・サイドフレームなどで踏まないように配線してください。
- ベッド接続ケーブルはベッドの高さを一番上まであげた状態でも突っ張らないように配線してください。



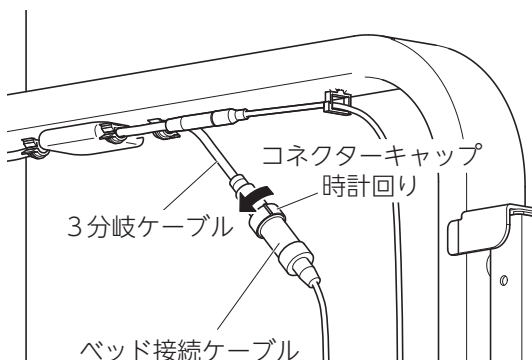
- ①ベッドと介護リフトをベッド接続ケーブルで接続する場合、ベッドの高さを最高にしてください。



- ②3分岐ケーブルについているミニDINコネクタキャップを取外してください。



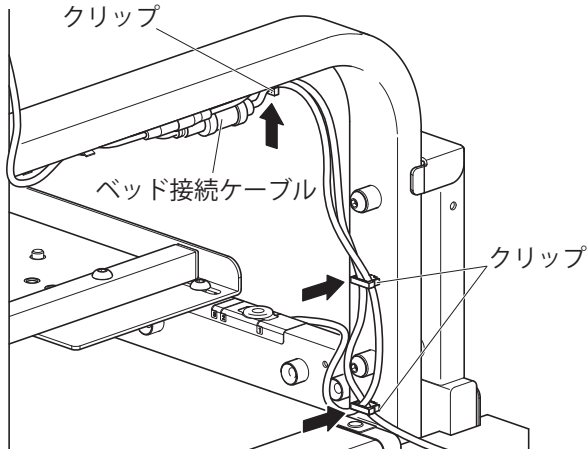
- 3分岐ケーブルから取外したミニDINコネクタキャップは、紛失ないように保管してください。



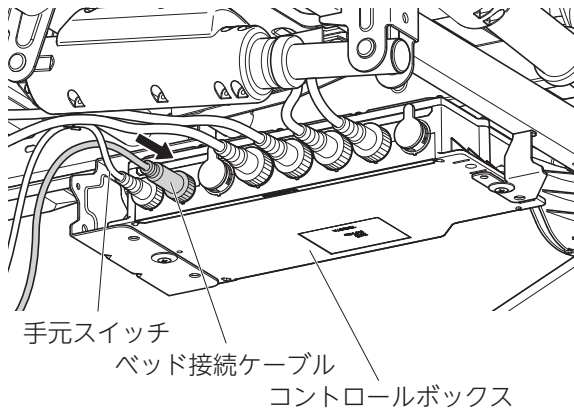
- ③ベッド接続ケーブルのコネクター(メス側)と3分岐ケーブルのコネクターを接続してください。
- ④3分岐ケーブルのコネクタキャップを時計回りに回してください。「カチッ」と音がして固定されます。

## 7 組立方法

### 17. ベッド接続ケーブルの接続



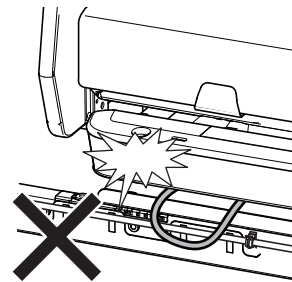
⑤ ベッド接続ケーブルをクリップに留めてください。



⑥ ベッドのコントロールボックスに付いているキャップを外し、ベッド接続ケーブルをベッドのコントロールボックスに接続してください。



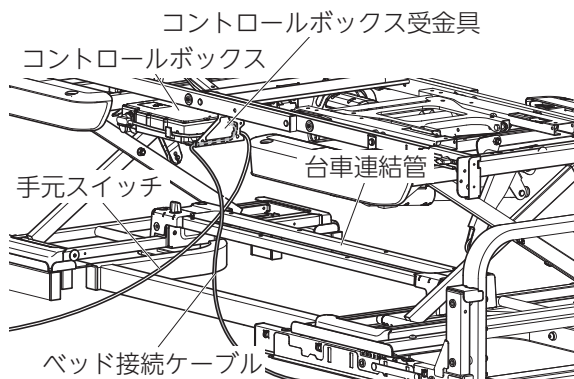
- 設置するベッドによりベッド接続ケーブルの取付位置が異なります。ベッドの配線は62ページ以降を参照してください。
- ベッドを最低にしたときベッド接続ケーブルが挟まれないよう配線に注意してください。



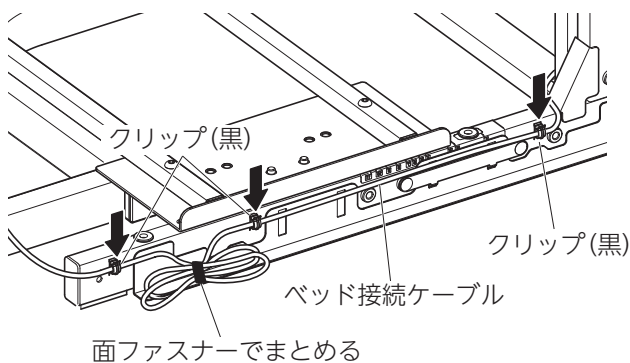
- コントロールボックスから取外したキャップは、紛失しないように保管してください。

## 18. ベッド接続ケーブルの配線

### ・楽匠フィット(Hタイプ)、楽匠プラス(Hタイプ)、楽匠 Wing、INTIME3000、RA-E1 モデル



- ① ベッド接続ケーブルをコントロールボックス受金具を通してコントロールボックスに接続してください。



- ② ベッド接続ケーブルをサイドフレームのクリップ(黒)に留めてください。ベッド接続ケーブルを留めたあとベッド接続ケーブルを付属の面ファスナーなどでまとめ、踏まない位置に避けておいてください。

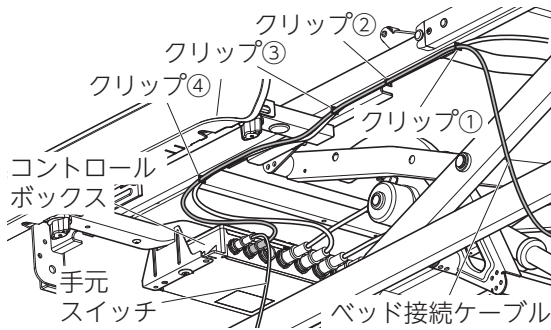


- 図はベッド右側に設置する場合です。ベッド左側に設置する場合は、ベッド台車連結管の上を通してコントロールボックスに接続してください。

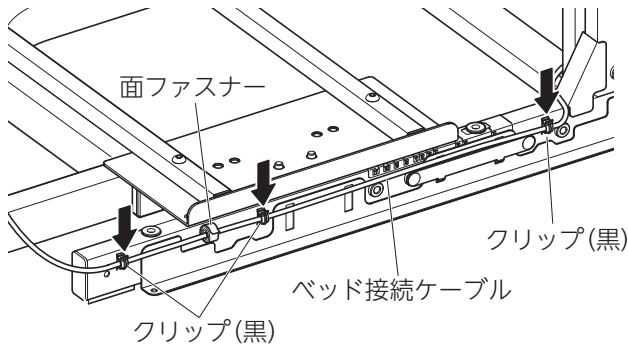
# 7 組立方法

## 18. ベッド接続ケーブルの配線

### ・楽匠フィット(Xタイプ)、楽匠プラス(Xタイプ) 頭側設置の場合



① ベッド接続ケーブルをクリップ①～④に通してコントロールボックスに接続してください。



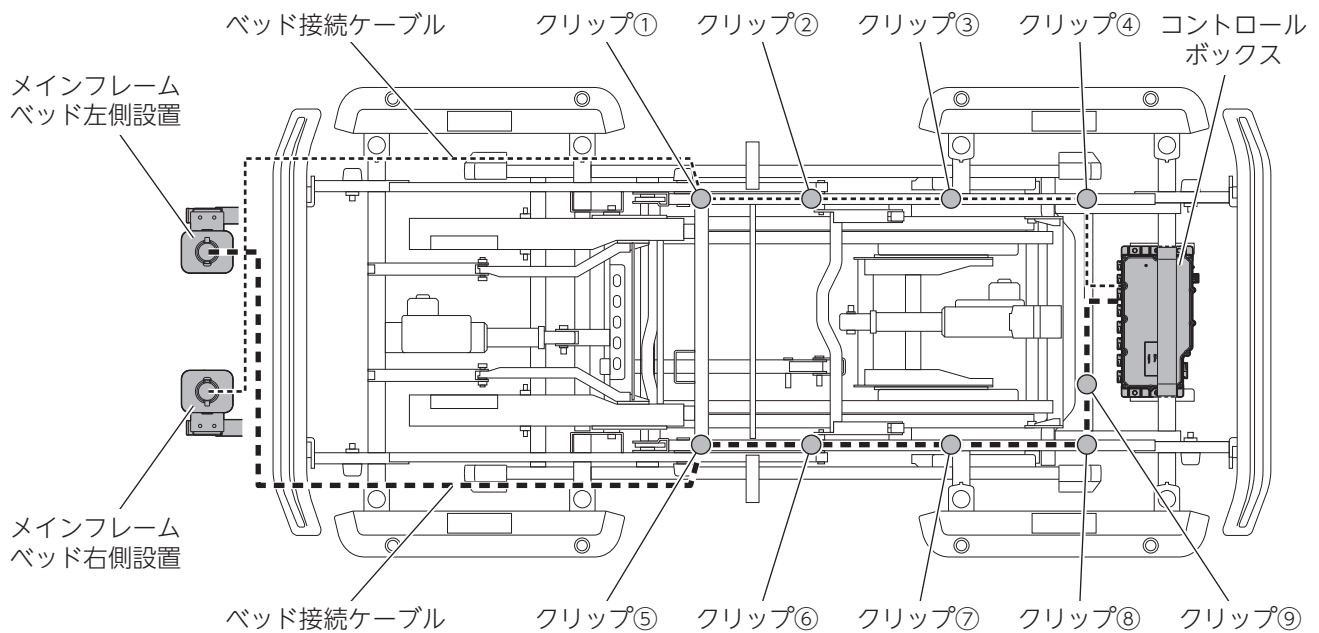
② ベッド接続ケーブルをサイドフレームのクリップ(黒)に留めてください。



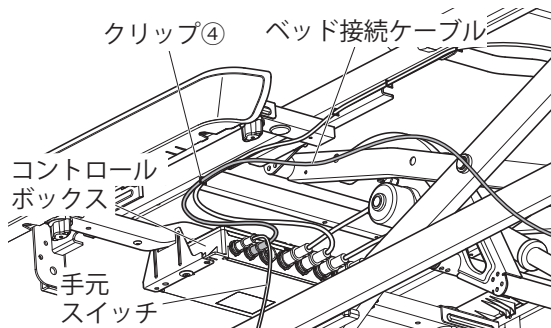
● 図はベッド右側に設置する場合です。ベッド左側に設置する場合は、反対側のクリップ⑤～⑨にベッド接続ケーブルを通してコントロールボックスに接続してください。

● 面ファスナーは使用しません。左図のクリップ間などで保管してください。

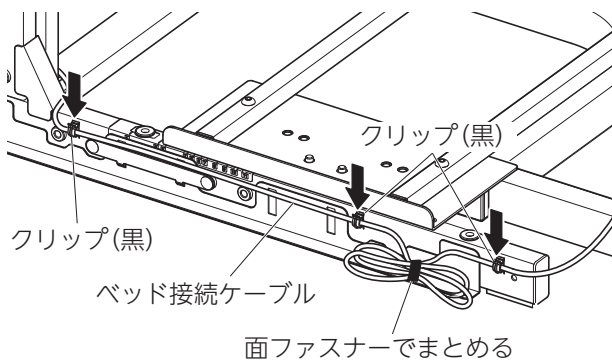
----- : 右側設置  
 ----- : 左側設置



## ・楽匠フィット(Xタイプ)、楽匠プラス(Xタイプ) 足側設置の場合



① ベッド接続ケーブルをクリップ④に通してコントロールボックスに接続してください。

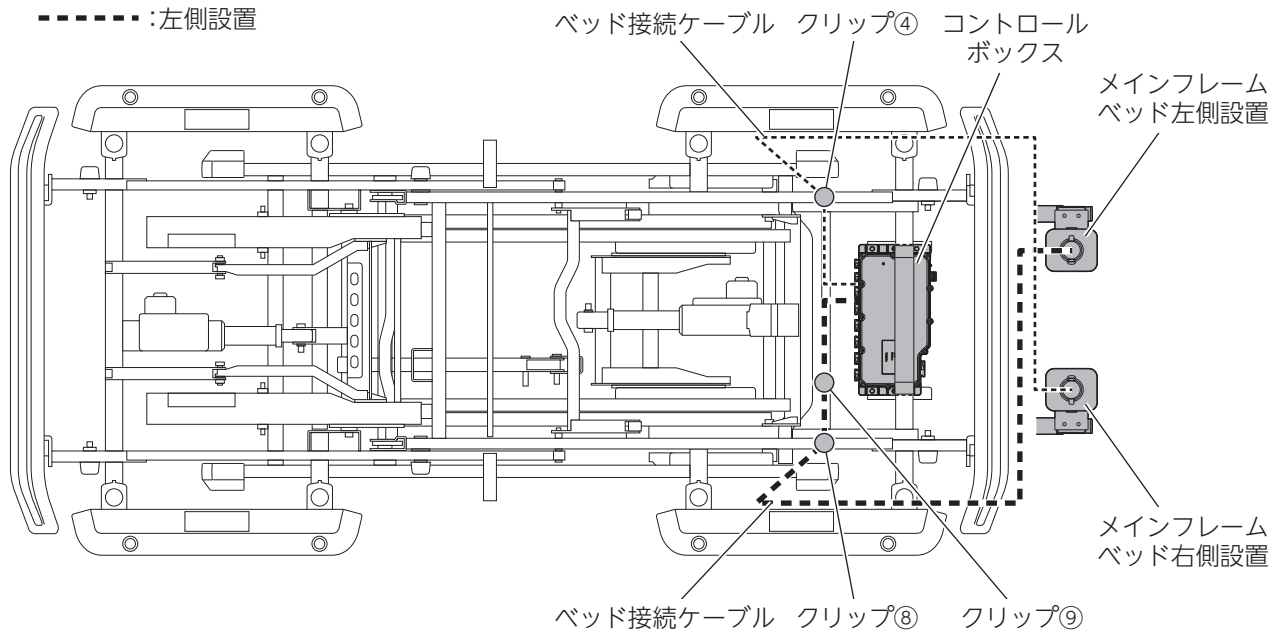


② ベッド接続ケーブルをサイドフレームのクリップ(黒)に留めてください。ベッド接続ケーブルを留めたあとベッド接続ケーブルを付属の面ファスナーなどでまとめ、踏まない位置に避けておいてください。



● 図はベッド右側に設置する場合です。ベッド左側に設置する場合は、反対側のクリップ⑧・⑨にベッド接続ケーブルを通してコントロールボックスに接続してください。

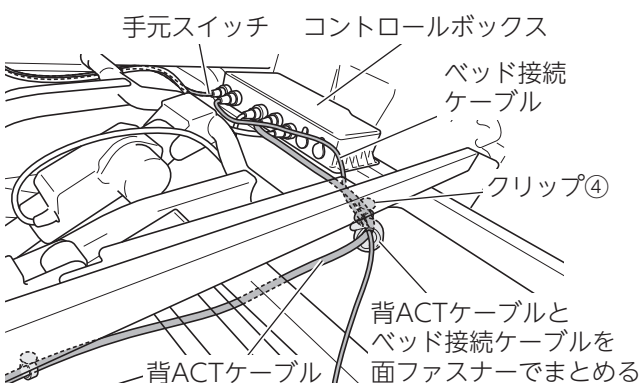
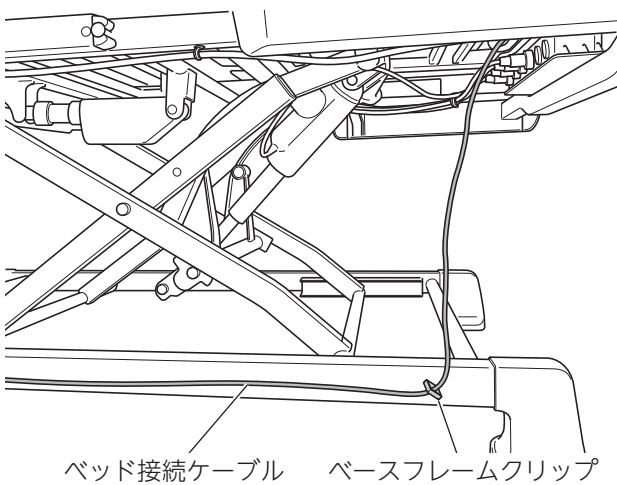
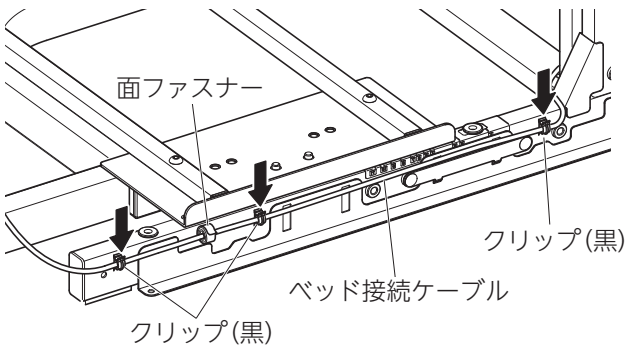
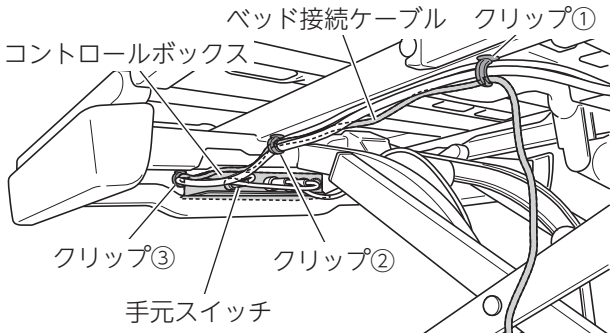
----- : 右側設置  
 - - - - - : 左側設置



# 7 組立方法

## 18. ベッド接続ケーブルの配線

### ・レント 頭側設置の場合



### ベッド右側設置の場合

① ベッド接続ケーブルをクリップ①～③に通してコントロールボックスに接続してください。

② ベッド接続ケーブルをサイドフレームのクリップ(黒)に留めてください。



● 面ファスナーは使用しません。左図のクリップ間などで保管してください。

### ベッド左側設置の場合

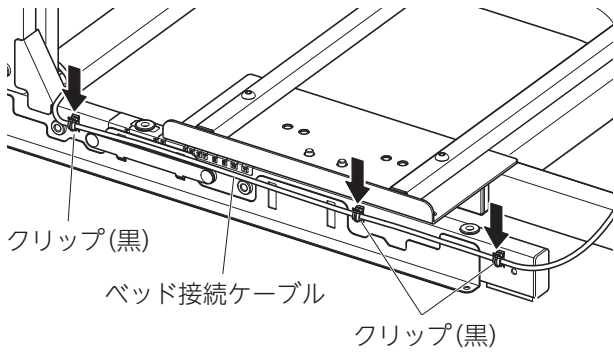
① ベッド接続ケーブルをベースフレームクリップに通してください。

② クリップ④付近で背ACTケーブルと面ファスナーで束ね、コントロールボックスに接続してください。

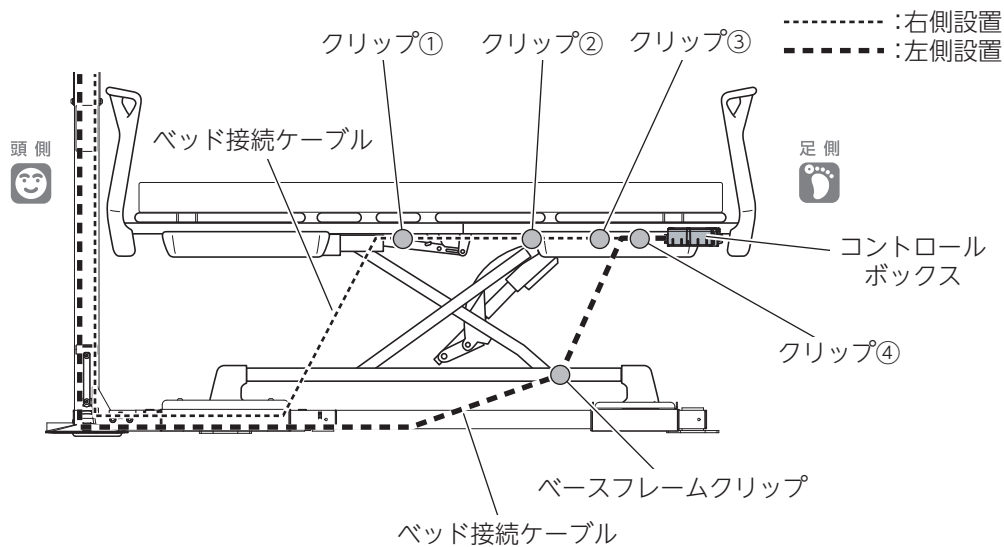
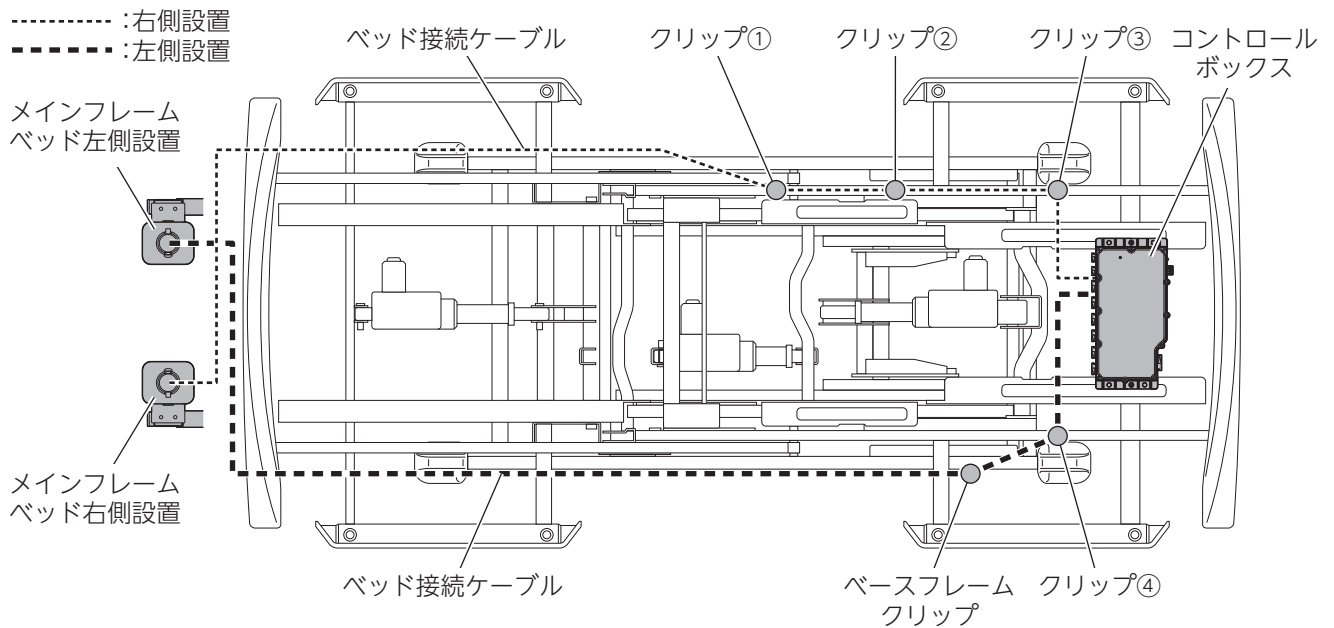


● ベッド接続ケーブルはコントロールボックスに接続する他のケーブルの上を通してください。

## ・レント 頭側設置の場合



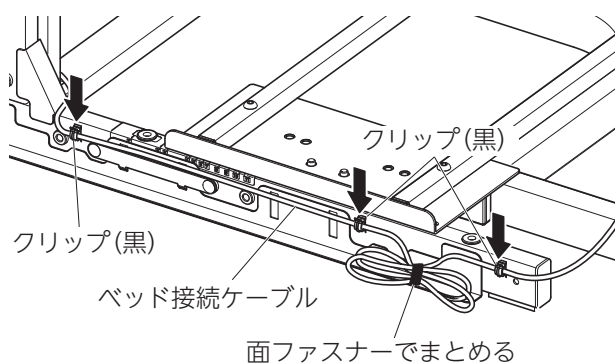
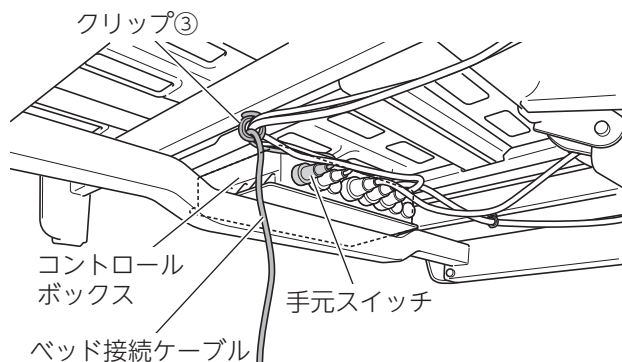
③ベッド接続ケーブルをサイドフレームのクリップ(黒)に留めてください。



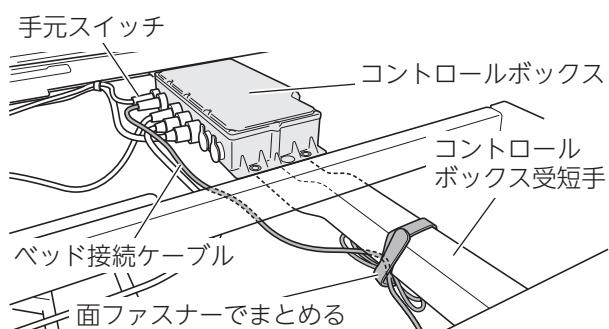
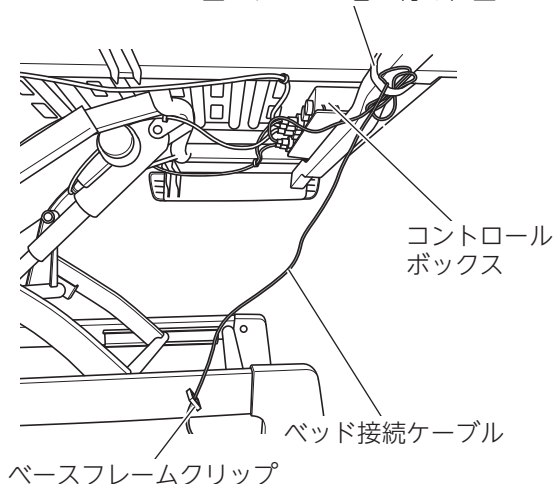
## 7 組立方法

### 18. ベッド接続ケーブルの配線

#### ・レント 足側設置の場合



面ファスナー巻き付け位置



#### ベッド右側設置の場合

- ① ベッド接続ケーブルをクリップ③に通してコントロールボックスに接続してください。
- ② ベッド接続ケーブルをサイドフレームのクリップ(黒)に留めてください。ベッド接続ケーブルを留めたあとベッド接続ケーブルを付属の面ファスナーなどでまとめ、踏まない位置に避けておいてください。

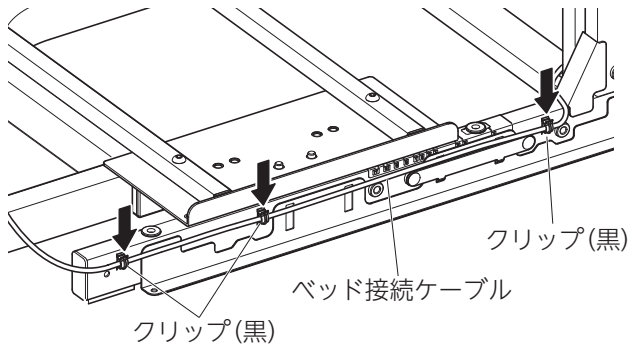
#### ベッド左側設置の場合

- ① ベッド接続ケーブルをベースフレームクリップに通してコントロールボックスに接続してください。
- ② ベッド接続ケーブルを留めたあとコントロールボックス受短手と共にベッド接続ケーブルを付属の面ファスナーなどでまとめてください。



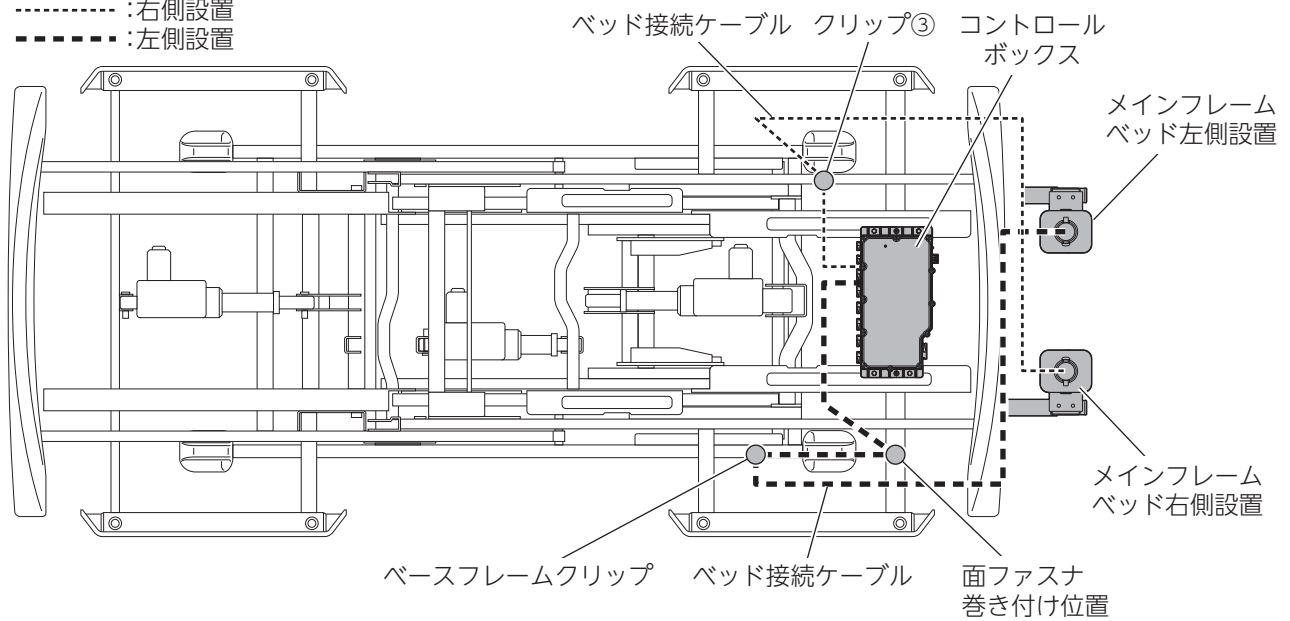
● ベッド接続ケーブルはコントロールボックスに接続する他のケーブルの上を通してください。

・レント 足側設置の場合

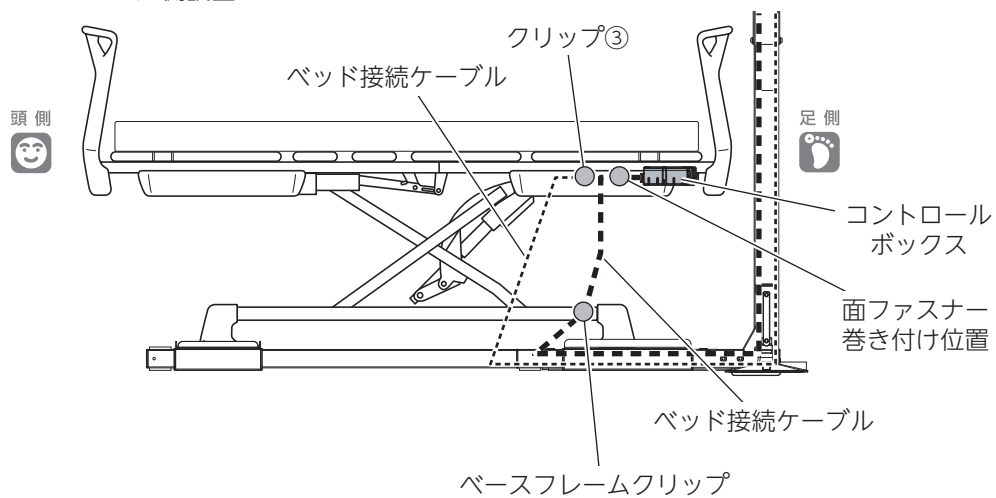


③ベッド接続ケーブルをサイドフレームのクリップ(黒)に留めてください。

----- : 右側設置  
 ----- : 左側設置



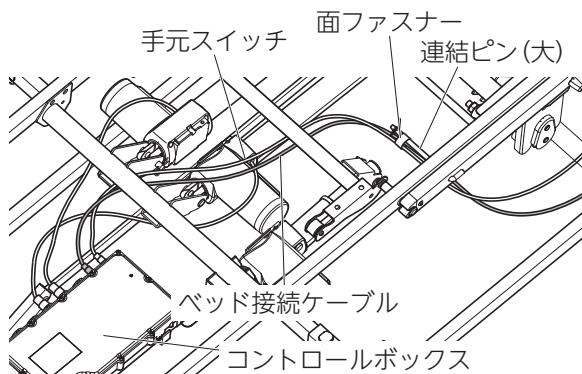
----- : 右側設置  
 ----- : 左側設置



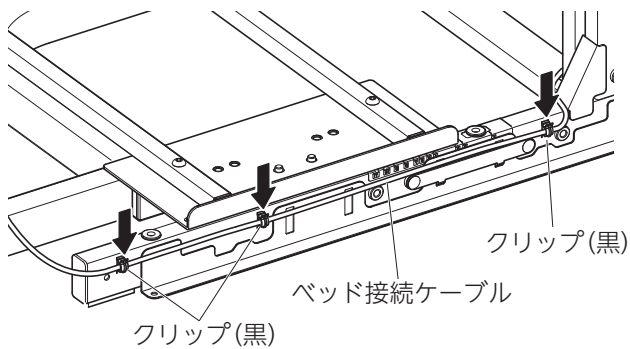
## 7 組立方法

### 18. ベッド接続ケーブルの配線

#### • KQ-B6000



- ①面ファスナーでベッド接続ケーブルを連結ピン(大)に組み付けてください。
- ②手元スイッチと同じ配線経路を通し、コントロールボックスに接続してください。

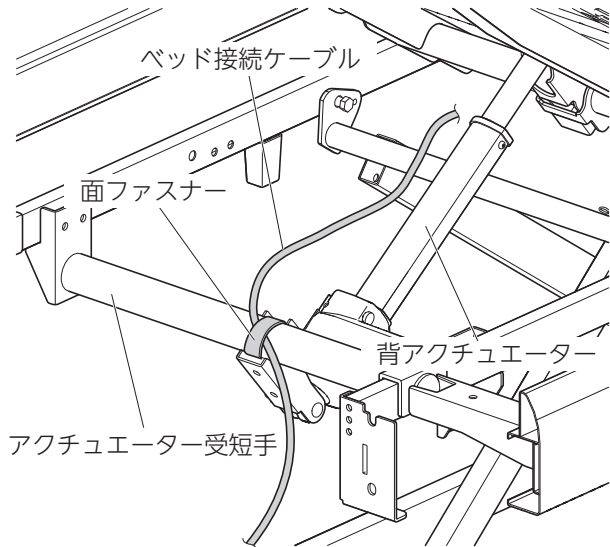


- ③ベッド接続ケーブルをサイドフレームのクリップ(黒)に留めてください。

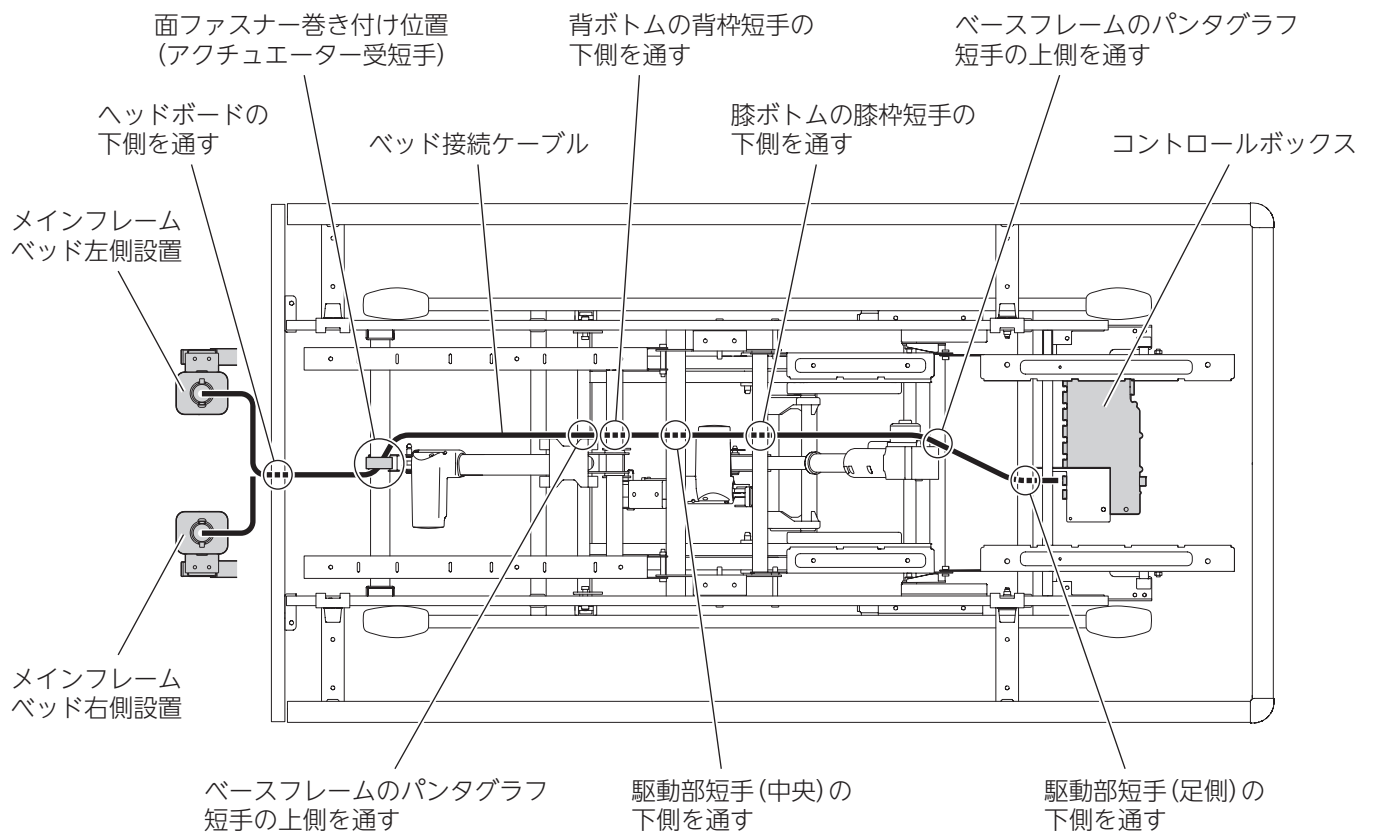


- 図はベッド右側に設置する場合です。ベッド左側に設置する場合は、反対側の連結ピン(大)に組み付けてください。

• INTIME1000 (RQ-A1 \*\*\*\* / RQ-B1 \*\*\*\*)、RA-C1/C2 モデル

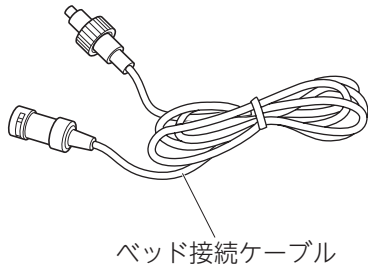


- ① ベッド接続ケーブルをヘッドボードの下側から通し、アクチュエーター受短手に面ファスナーで留めてください。
- ② ベッド接続ケーブルは下記イラストを参照して配線経路を通し、コントロールボックスに接続してください。



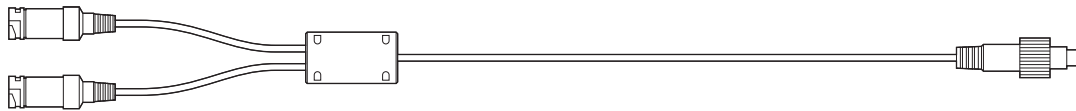
## 8 適合オプション

### 1. ベッド接続ケーブル(KQ-7881) ※ Q7881 と同じ製品です。



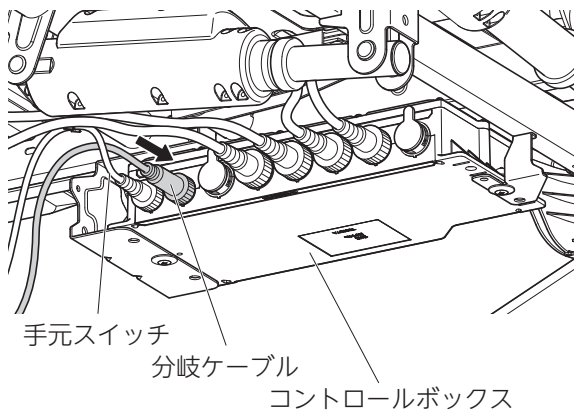
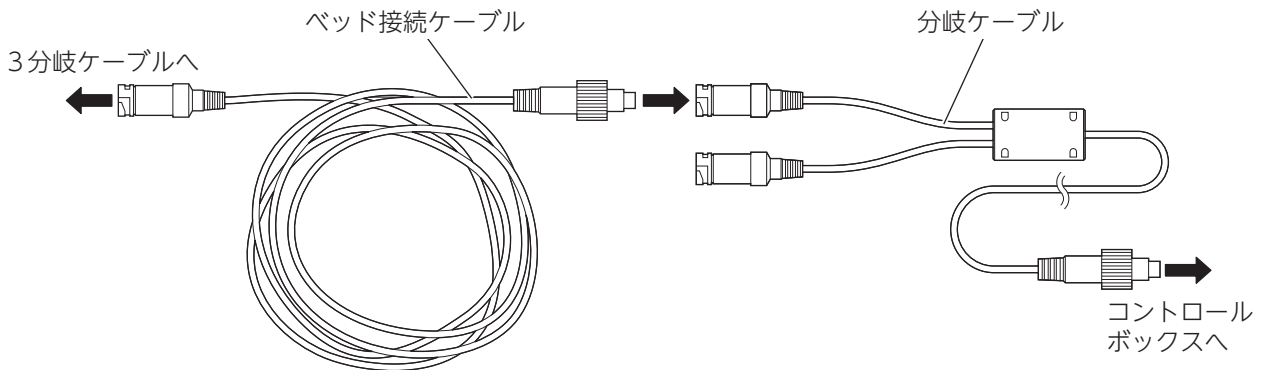
### 2. 分岐ケーブル(KQ-7882)

#### ・製品詳細



#### ・エアマットレス ここちあ結起との接続方法

- ① ベッド接続ケーブルのオス側を分岐ケーブルのメス側(2本のうちどちらでも可)に接続する
- ② ベッド接続ケーブルと接続した状態の分岐ケーブルのオス側をコントロールボックスに接続する。(配線経路に関しては62～70ページ「**7**組立方法 18. ベッド接続ケーブルの配線」参照)



- ③ 残っている分岐ケーブルのメス側にエアマットレス ここちあ結起を接続する。(配線経路に関してはエアマットレス ここちあ結起の取扱説明書参照)

## 9 組立後の点検

- 介護リフトの組立が終わりましたら、介護リフトを使用する前にこのチェックシートで点検してください。(72～77 ページをコピーしてお使いください)
- 定期点検の際も、このシートを使用してください。
- 異常が認められた場合や詳しい点検をご希望される場合は、パラテクノコールセンター (96 ページ参照) までお問い合わせください。



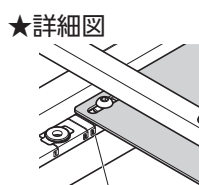
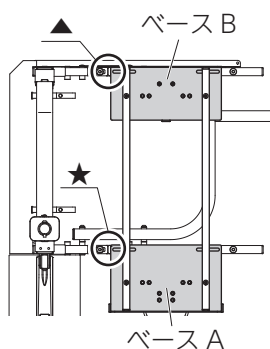
● 組立て後は点検を行ってください。組立てが不十分な状態で使用すると、けがや故障するおそれがあります。



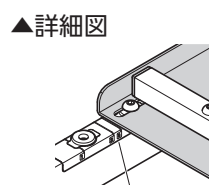
● 点検作業をしている際に異常音や振動が生じた場合には、すぐに介護リフトの使用を中止し、パラテクノコールセンター (96 ページ参照) までご連絡ください。

### 1 サイドフレーム、ベースA、ベースBの取付け

- ・ ベッドサイズと設置位置にあったサイドフレームの穴にベースA、ベースBが取り付けられていますか?
- はい
- いいえ → 34・35 ページ参照



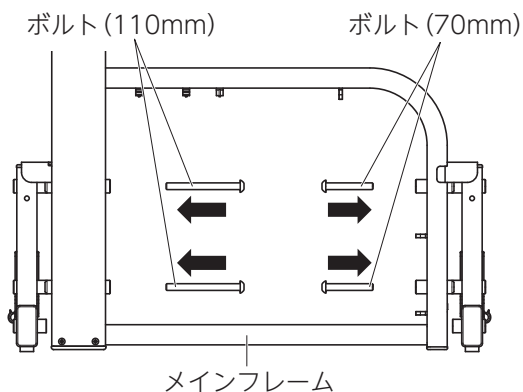
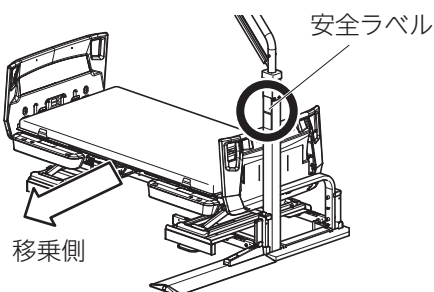
③ の位置にベース A のブラケット端が合ように組立ます。



③ の位置にベース B のブラケット端が合ように組立ます。

### 2 メインフレームの取付け

- ・ メインフレームは移乗側に安全ラベルが見えるように取付けられていますか?
  - ・ ボルト (4ヶ所) で確実に締付けられていますか?
- はい
- いいえ → 42 ページ参照



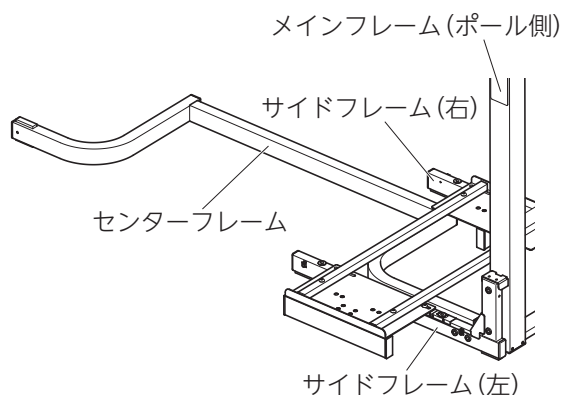
## 9 組立後の点検

### 3 センターフレームの取付け

- センターフレームはメインフレーム (ポール側) のサイドフレームに取付けられていますか?
- ボルト (2ヶ所) は、ベッド長さに合った取付位置で確実に締付けられていますか?

はい

いいえ → 37・44 ページ参照



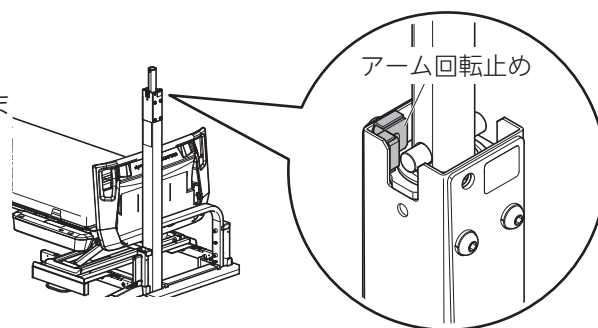
### 4 アーム回転止めの取付け

- アーム回転止めはベッド側に取付けられていますか?
- 頭部黒色ボルト (15mm) は確実に締付けられていますか?
- スプリングワッシャーは取付けられていますか?

はい

いいえ → 45 ページ参照

アーム回転止めの取付け



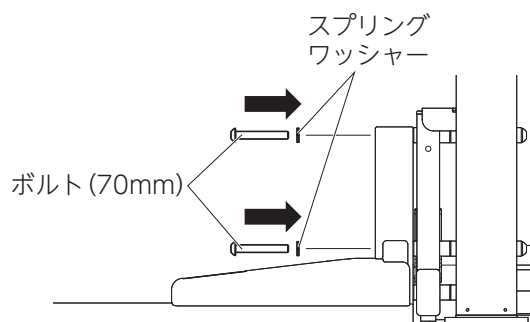
### 5 補助フレームの取付け

- 補助フレームは移乗側に取付けられていますか?
- ボルト、スプリングワッシャーで確実に締付けられていますか?
- 補助フレーム先端はゆかに接していますか?

はい

いいえ → 46 ページ参照

補助フレームの取付け

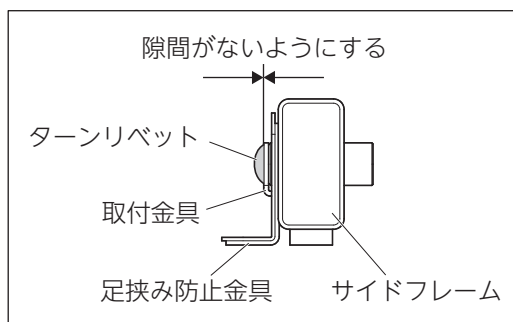
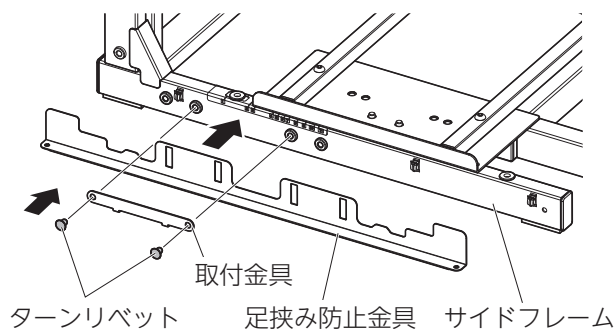


## 6 足挟み防止金具、取付金具の取付け

- ・ 移乗側の反対側に取付けられていますか？
- ・ ターンリベットで隙間無く確実に締付けられていますか？

はい

いいえ → 47 ページ参照 補助フレームの取付け

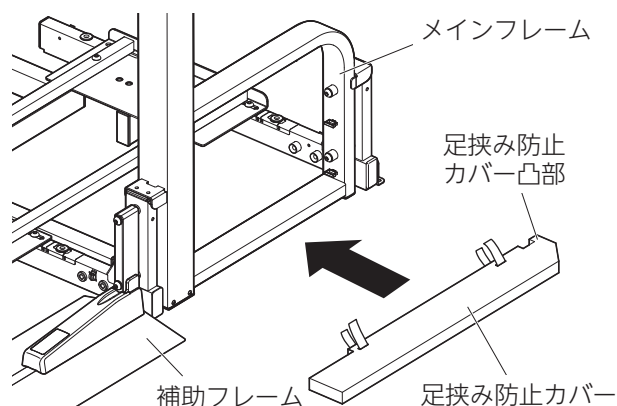


## 7 足挟み防止カバーの取付け

- ・ メインフレームに取付けられていますか？
- ・ 固定ベルトのホックは確実に留まっていますか？

はい

いいえ → 48 ページ参照

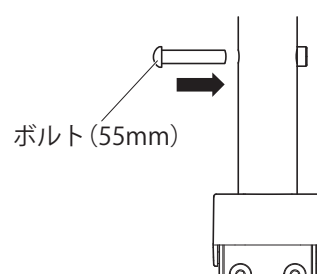


## 8 アームの取付け

- ・ ボルト(55mm)で確実に締付けられていますか？

はい

いいえ → 49 ページ参照

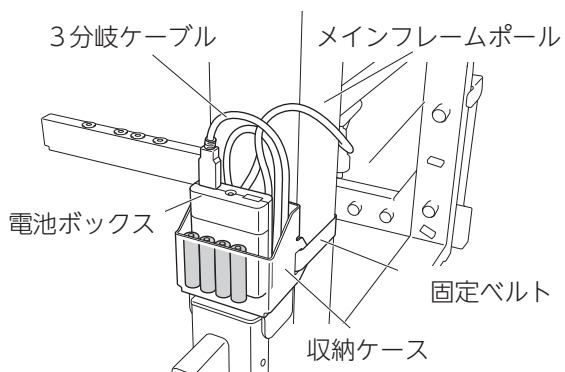


## 9 電池ボックスの取付け

- ・ 収納ケースはメインフレームポールに取付けられていますか？
- ・ 電池ボックスと3分岐ケーブルは接続されていますか？
- ・ 電池ボックスと単3形乾電池が別々に収納されていますか？
- ・ 単3形乾電池(4本)は使用期限が切れていませんか？

はい

いいえ → 53 ページ参照



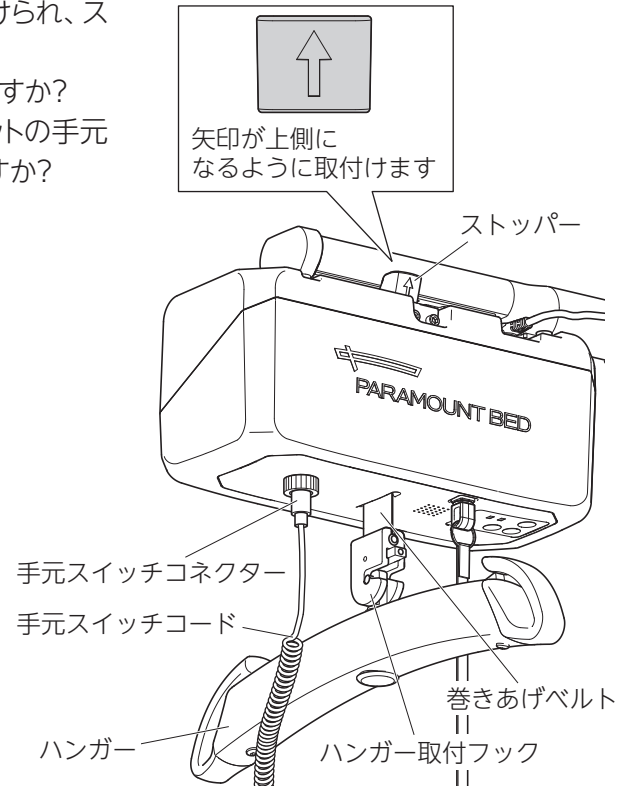
## 9 組立後の点検

### 10 昇降ユニット・ハンガー・手元スイッチの取付け

- 昇降ユニットの取付フック部はアームに確実に取付けられ、ストッパーは抜けませんか？
- ストッパーの取付向きは、矢印が上向きになっていますか？
- 手元スイッチの手元スイッチコネクターは昇降ユニットの手元スイッチコネクター差込口に確実に差込まれていますか？

はい

いいえ → 55 ページ参照



- 巻きあげベルトに摩耗・損傷・ほつれはありませんか？
- 手元スイッチのコードに摩耗・損傷はありませんか？

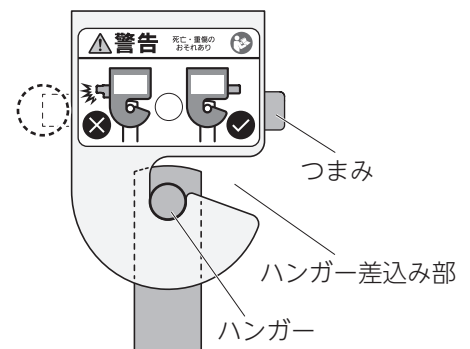
はい

いいえ (摩耗・損傷している) → 販売店またはパラテクノコールセンター(96 ページ参照)までお問い合わせください。

- ハンガーは昇降ユニットのハンガー取付フックに確実に取付けられていますか？
- ハンガー取付フックのつまみは、ハンガー差込み部の反対側から飛び出していないですか？
- ハンガーのスリング止めラッチがスムーズに動きますか？

はい

いいえ → 56 ページ参照



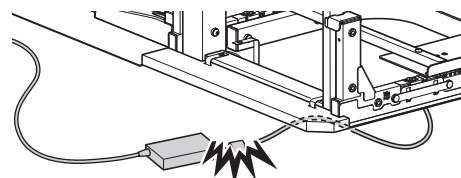
## 11 ベッドの電源コード、介護リフトのACアダプターの配線

- ベッドの電源コードはベッドのベースフレームの外側に配線されていますか？
- ベッドの電源コードが介護リフトのメインフレーム・サイドフレームの外側に配線されていますか？
- ベッドの電源プラグをコンセントに差込んだ後、手元スイッチの操作ができますか？

はい

いいえ → 59 ページ参照

- ベッドの脚座や介護リフトのメインフレームやサイドフレームなどがベッドの電源コードを踏んでいませんか？
- ベッドの電源コードが可動部と接触したり、はさまれたりしていませんか？
- ベッドの高さ調節を最低位置から最高位置まで行い、ベッドの電源コードが引っ張られることはありませんか？



はい

いいえ (踏んでいる・はさまれている・引っ張られる) → 58 ページ参照

## 12 操作時の確認

- 手元スイッチおよび昇降ユニットの「上昇ボタン・下降ボタン」で昇降ユニットが動かせますか？

はい

いいえ (昇降ユニットが正しく動作しない・異常音がする) → 79・81 ページ参照

- 手元スイッチの「上昇ボタン」を押し続けたとき、上限位置で自動で止まりますか？

はい

いいえ → 販売店またはパラテクノコールセンター(96 ページ参照)までお問い合わせください。

- 昇降ユニットを動かした際やアームを回転させた際、アームや昇降ユニットが家具などに当たりませんか？

当たらない

当たる → ベッド・介護リフトを移動するか、障害物を取り除いてください。

## 13 介護リフトの傷・変形

- アームやメインフレームなどに、破損や変形がありませんか？
- 昇降ユニットや手元スイッチ、ハンガーに傷や破損がありませんか？
- ハンガーフックやスリング止めラッチに傷や破損・変形がありませんか？(20・56 ページ参照)

ない

ある → 販売店またはパラテクノコールセンター(96 ページ参照)までお問い合わせください。

## 14 ラベルのはがれ

- ラベルがはがれたり、文字が見えなくなっていますか？

いいえ

はい (はがれている・文字が見えない) → 販売店またはパラテクノコールセンター(96 ページ参照)までお問い合わせください。

## 9 組立後の点検

### 15 介護リフトの安定性

- ・介護リフトを前後左右などから押して、容易に滑りませんか？
- ・昇降ユニットを引っ張って、著しいがたつきはありませんか？

いいえ

はい(滑る・がたつきがある) ➡ 25～27・32～55 ページ参照

### 16 使用の安全性

介護を受ける方に対して介護リフトを使用する前に、健常者の方に対して介護リフトを使用して、使用の安全性や昇降ユニットの動作などを確認してください。

- ・アームや昇降ユニットを操作した際に、がたつきや異常音はありませんか？

いいえ

はい(がたつきがある・異常音がする) ➡ 25～27・32～55・79・81 ページ参照

- ・補助フレームやメインフレーム(アーム回転止めを含む)、センターフレームなどのボルトにゆるみはありませんか？

ない

ある ➡ ボルトを確実に締め直してください。

- ・人を吊りあげた状態で緊急さげ機能が操作できますか？(14 ページ参照)

はい

いいえ ➡ 販売店またはパラテクノコールセンター(96 ページ参照)までお問い合わせください。

- ・乾電池を使用して緊急さげ機能が操作できますか？(23・24 ページ参照)

※確認のために付属の乾電池を使用しないでください。確認用の乾電池を用意してください。

はい

いいえ ➡ 新品の乾電池に交換してください。交換しても操作ができない場合は、販売店またはパラテクノコールセンター(96 ページ参照)までお問い合わせください。

### 17 昇降ユニット

- ・ハンガーがテーブルなどに接地した状態で、下降を停止し、音声アナウンスで「ベルトのたわみを検知しました」と発声しますか？

はい

いいえ ➡ 販売店またはパラテクノコールセンター(96 ページ参照)までお問い合わせください。

※調整・点検が必要な場合は、お買い上げの販売店またはパラテクノコールセンター(96 ページ参照)までお問い合わせください。


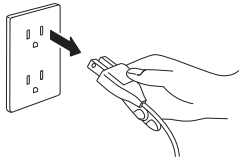
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは96ページの「15 アフターサービスについて」をご覧ください。

# 10 定期点検と日常のお手入れ

## 1. 定期点検

- 安全にご使用いただくために、1年に1回は定期的に点検してください(1ヶ月に1回点検することを推奨します)。使用の頻度や環境により製品は摩耗・劣化します。定期的に各部のゆるみ、可動部の動作、ベルトのほつれや摩耗状態、破損や異常音の有無などを点検してください。(点検項目は、72～77 ページ「**9** 組立後の点検」を参照してください)
- 異常が認められた場合や詳しい点検をご希望される場合は、パラテクノコールセンター(96 ページ参照)までお問い合わせください。

## 2. 日常のお手入れ

 <p>けい <b>警告</b> こく</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>●誤作動によるはさまれを予防するため、ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いてからお手入れを行ってください。</li><li>●介護リフトに水をかけて掃除しないでください。ショートして感電するおそれがあります。</li></ul>	
--	---	---


### 【汚れを落とす場合】

- 下記①～③の手順で行ってください。
  - ①水で薄めた中性洗剤にひたした布をよくしぼって拭いてください。
  - ②水でひたした布をよくしぼって、残った洗剤分を拭き取ってください。
  - ③乾いた布で残った水分を拭き取ってください。

### 【消毒する場合】

- 必ず下記の薬品を指定の濃度で各消毒剤の取扱説明書などの指示に従ってご使用ください。

～81.4%	消毒用エタノール
～0.2%	塩化ベンザルコニウム(オスバンなど)
～0.2%	塩化ベンゼトニウム(ハイアミンなど)
0.05%	グルコン酸クロルヘキシジン(ヒビテンなど)

 <p>ちゅう <b>注意</b> い</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>●揮発性のもの(シンナー、ベンジン、ガソリンなど)やクレゾールは使用しないでください。変色・変質させるおそれがあります。</li><li>●消毒剤を使用する場合は、指定以外の薬品を使用しないでください。破損・変質するおそれがあります。</li><li>●中性洗剤を使用した場合は、その後水拭きをしてください。水拭きをしないと樹脂の部分が割れるおそれがあります。</li></ul>
--	--



- オゾン殺菌器、オートフレイブ滅菌器などには対応できません。
- 漂白剤は使用しないでください。ベルトが損傷する恐れがあります。

## 11故障かな?と思ったら

- 故障でない場合がありますので、修理を依頼される前にもう一度、以下の項目をチェックしてください。
- チェック・処置をしても正常に動作しない場合は、ただちに介護リフトの使用を中止し、ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜き、販売店またはパラテクノコールセンター(96 ページ参照)まで修理をご依頼ください。
- 以下の症状により、電動で昇降ユニットをさげられない場合は、緊急さげ機能を使用して昇降ユニットをさげてください。(14 ページ参照)
- 地震・火災・水害などで被災した介護リフトは、販売店またはパラテクノコールセンター(96 ページ参照)まで点検・修理をご依頼ください。電装品のショートや漏電による感電・火災、介護リフトの変形による動作の異常によって、けがをするおそれがあります。

症 状	チェック	処 置	参 照 ページ
●手元スイッチを押しても動かない。	●電源ランプは消灯していますか?	●電源プラグをコンセントに差し込んでください。 ●緊急停止レバーを押し込み、昇降ユニットを使用状態にしてください。	14
	●エラーランプが点灯し、「リモコンが接続されていません」とアナウンスがありますか?	●手元スイッチのコネクターを昇降ユニットの差し込みにしっかり差し込んでください。 ●しっかり差し込んでも動かない場合は手元スイッチが断線している可能性があります。販売店またはパラテクノコールセンター(96 ページ参照)まで手元スイッチの交換をご依頼ください。	56
	●エラーランプが点灯し、「ベルトのたわみを検知しました」とアナウンスがありますか?	●上昇ボタンを押してたわみを直してください。	15 ・ 16
●ベッドあがるまたはさがるボタンを押してもエラーランプが点灯し、ベッドが動かない。	●「ベッドと接続されていません」とアナウンスがありますか? ●ベッド接続ケーブルのコネクターがコントロールボックスに差し込まれていますか?	●ベッド接続ケーブルのコネクターをベッドのコントロールボックスにしっかり差し込んでください。 ●しっかり差し込んでも動かない場合はベッド接続ケーブルが断線している可能性があります。販売店またはパラテクノコールセンター(96 ページ参照)までベッド接続ケーブルの交換をご依頼ください。	61
	●「ベッドと接続されていません」とアナウンスがありますか? ●適合ベッドと組み合わせて使っていますか?	●ベッド動作が可能な適合機種かご確認ください。	25 ・ 26
	●「ベッドと接続されていません」とアナウンスがありますか? ●ベッド側でエラーアナウンスはありますか?	●ベッド側のエラーを解除してください。解除方法についてベッドの取扱説明書をご参照ください。	—
●緊急停止レバーを引き続けても下がらない。	●電池ボックスのランプが速く点滅していませんか?	●電池切れです。新しい乾電池に交換してください。必ず4本同時に交換してください。	23
	●室内の温度が低くありませんか?(10℃未満)	●室内の温度をあげてからご使用ください。 ●電池ボックスを使用してください。	13 ・ 23

症 状	チェック	処 置	参 照 ページ
●吊りあげている途中でエラーランプが点灯し止まる。	●「荷重が大きいため、動作を停止しました」とアナウンスがありますか？	●最大使用者体重を超える方を吊りあげないでください。 ※ご使用の環境や介護を受ける方が激しく動いている場合は、100kg 未満の方でも100kg 以上と感知して止まることがあります。	6
	●「荷重が大きいため、動作を停止しました」とアナウンスがありますか？ ●室内の温度が低くありませんか？(10℃未満)	●室内の温度をあげてからご使用ください。	13
	●「モーターの温度が上がっています。しばらくお待ちください」とアナウンスがありますか？ ●5分以上連続で昇降を行っていませんか？	●介護を受ける方を降ろし、50 分程動作を停止してください。	13
	●「ベルトを交換してください」とアナウンスがありますか？	●緊急停止レバーを引き続け介護を受ける方を降ろし、販売店またはパラテクノコールセンター(96 ページ参照) まで巻きあげベルト交換をご依頼ください。	14
●昇降ユニットや手元スイッチのボタンをしてもエラーランプが点灯し、動かない。	●「エラーが発生しました。エラーコードは〇〇〇〇(4桁数字)です」とアナウンスがありますか？	●緊急停止レバーを停止状態にしてから再度押し込んで再起動してください。 ●同様にエラーコードがアナウンスされた場合は、電装品が故障した可能性があります。緊急停止レバーを引き続け介護を受ける方を降ろし、販売店またはパラテクノコールセンター(96 ページ参照) まで点検・修理をご依頼ください。	14
	●「故障を検知しました。エラーコードは〇〇〇〇(4桁数字)です」とアナウンスがありますか？	●緊急停止レバーを停止状態にしてから再度押し込んで再起動してください。 ●同様にエラーコードがアナウンスされた場合は、電装品が故障した可能性があります。緊急停止レバーを引き続け介護を受ける方を降ろし、販売店またはパラテクノコールセンター(96 ページ参照) まで点検・修理をご依頼ください。	14
	●「故障を検知しました。エラーコードは1428 です」とアナウンスがありますか？ ●指定以外の AC アダプターを使用していないませんか？	●指定の AC アダプターを使用してください。 ●緊急停止レバーを停止状態にしてから再度押し込んで再起動してください。 ●同様にエラーコードがアナウンスされた場合は、電装品が故障した可能性があります。緊急停止レバーを引き続け介護を受ける方を降ろし、販売店またはパラテクノコールセンター(96 ページ参照) まで点検・修理をご依頼ください。	14
●エラーランプが点灯する。	●「ベルトを交換してください」とアナウンスがありますか？	●ベルトの交換時期が近づいていますので、販売店またはパラテクノコールセンター(96 ページ参照) まで巻きあげベルト交換をご依頼ください。	—
	●「ベルトが斜めになっています」とアナウンスがありますか？	●下降ボタンを押して巻きあげベルトを引き出し、ベルトのねじれや偏りを直してください。	18

## 11故障かな?と思ったら

症 状	チェック	処 置	参 照 ページ
●介護リフトを使用したときにメインフレームやサイドフレームが大きく浮く。	●最大使用者体重を超える方を吊りあげていませんか? ※最大使用者体重を超えない方を吊りあげたときもメインフレームやサイドフレームは少し浮くことがあります、故障ではありません。	●最大使用者体重を超える方を吊りあげないでください。	6
●アームを操作するときに異常音がする。	●アーム回転止めのフェルトが剥れていませんか?	●販売店またはパラテクノコールセンター(96ページ参照)までアーム回転止めの交換をご依頼ください。	45

●修理のご依頼やお問い合わせの際は、製品識別表示ラベル(28～31ページ参照)に表示された番号もあわせてご連絡ください。

## 12長期保管について

■長期にわたり介護リフトをご使用にならないときは下記の点にご注意ください

- 高温・多湿・低温・乾燥・ほこりの多い場所を避けてください。  
温度 -10～50℃、湿度 30～85%RH の環境で保管してください。
- 取扱説明書と組立付属部品を紛失しないよう、大切に保管してください。
- ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 昇降ユニットを置く場合は横向きにして置き、緊急停止レバーに負荷がかからないようにしてください。
- 81～94ページ「13分解方法」に従って分解・保管してください。  
※使用を再開する場合は、32～70ページの「7組立方法」に従って正しく組立てた後、72～77ページ「9組立後の点検」に従い、点検を行ってください。

## 13分解方法

■介護リフトの分解は販売店に依頼することをおすすめしますが、ご自分で行う場合は以下の手順に従ってください。



- 取外したボルト・アーム回転止め・スプリングワッシャーなどは、紛失しないように保管してください。



- 介護リフトの分解は手順に従って行ってください。手順どおりに行わないと、思わぬけがをしたり、介護リフトやベッドが破損・変形したりするおそれがあります。
- ベッドに人が乗っている状態で、介護リフトを分解しないでください。思わぬけがをするおそれがあります。
- 分解の際は、部品の取扱いに注意してください。落下した場合、手などの一部がはさまれた場合に、けがをするおそれがあります。



- 分解の際にはユニット同士やユニットの可動部で、手や指をはさまないように注意してください。けがをするおそれがあります。

# 13 分解方法

## 1. 分解作業の前に

①介護リフトのACアダプター電源プラグをコンセントから抜いてください。

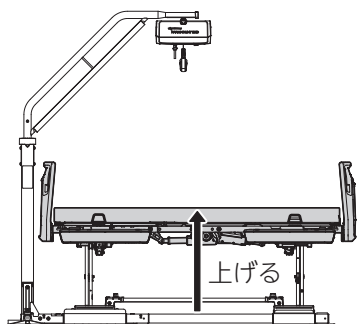


●介護リフトのACアダプター電源プラグをコンセントから抜いた状態で介護リフトを分解してください。分解中に介護リフトの手元スイッチが不意に押されると、ハンガーが動作してけがをするおそれがあります。

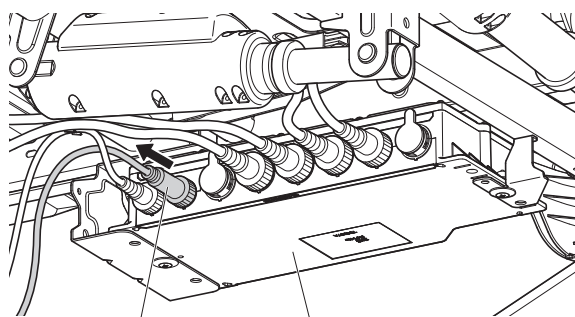
## 2. ベッドの分解



ベッド接続ケーブルを使用している場合は、ベッドを分解する前に、下記①～③を行ってください。



①ベッドの高さを最高にしてください。

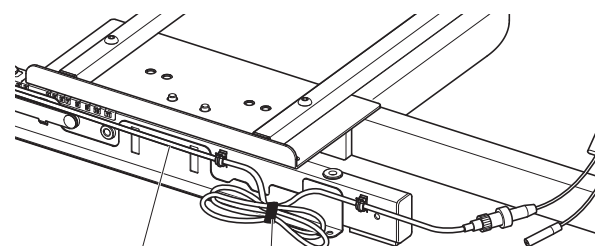


②ベッド接続ケーブルをベッドのコントロールボックスから取外してください。



ベッドによりコントロールボックスの取付位置が異なります。使用しているベッドの取扱説明書を確認してください。

ベッド接続ケーブル  
コントロールボックス



③ベッド接続ケーブルを付属の面ファスナーなどでまとめ、踏まない位置に避けておいてください。

④使用しているベッドの取扱説明書を参照し分解してください。

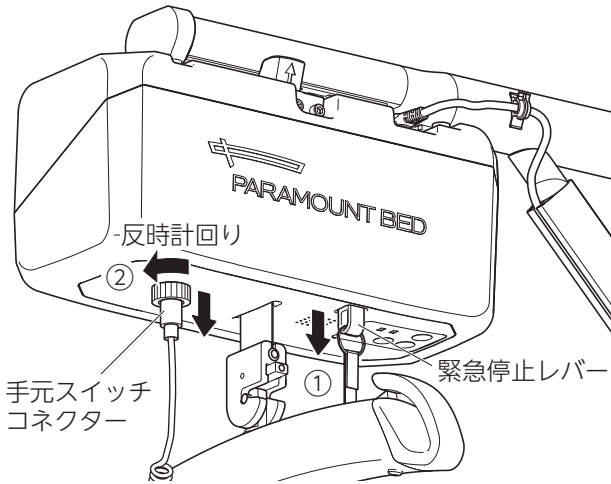
ベッド接続ケーブル  
面ファスナーでまとめる

# 13 分解方法

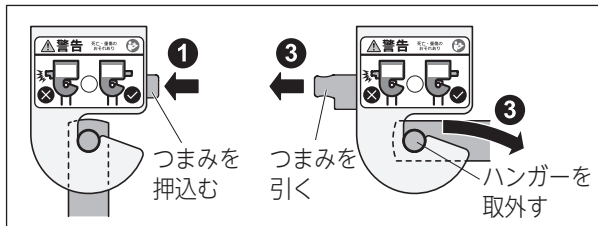
## 3. 昇降ユニット・ハンガー・手元スイッチの取外し



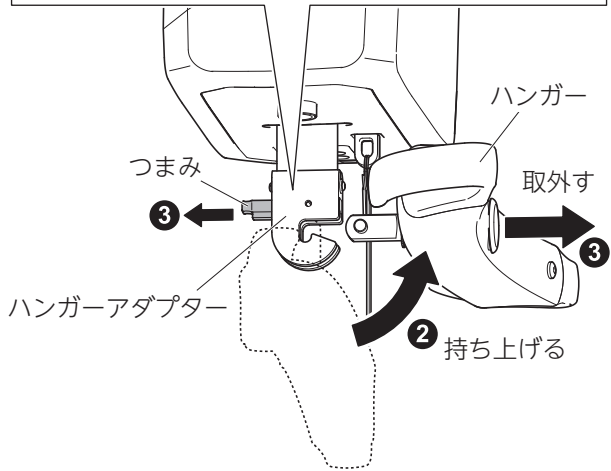
●昇降ユニットを取外す際は、昇降ユニットを落とさないように注意してください。誤って落とすと、けがをしたり昇降ユニットが破損したりするおそれがあります。

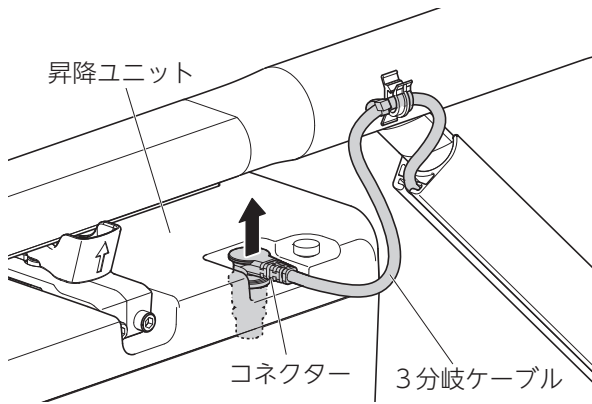


- ①緊急停止レバーを引いてください。
- ②手元スイッチの手元スイッチコネクターを昇降ユニットの手元スイッチコネクター差込口から取外してください。

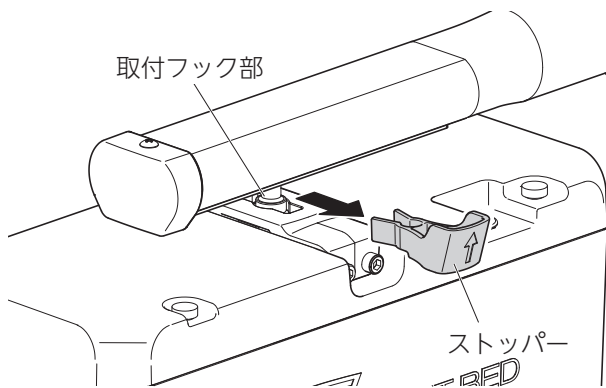


- ③下記の手順に従って、ハンガーをハンガーアダプターから取外してください。
  - ①ハンガーアダプターのつまみを押込んでください。
  - ②ハンガーを持ち上げてください。
  - ③反対側から出てきたつまみを引きながら、ハンガーを取外してください。

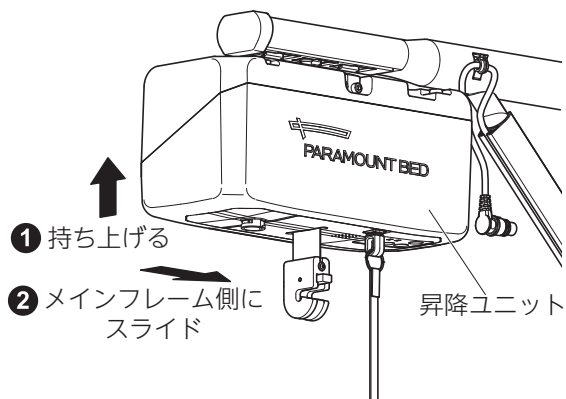




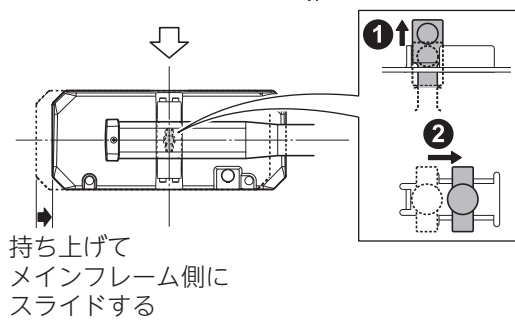
④ 3分岐ケーブルのコネクターを昇降ユニットから取外してください。



④ ストッパーを引き抜いてください。



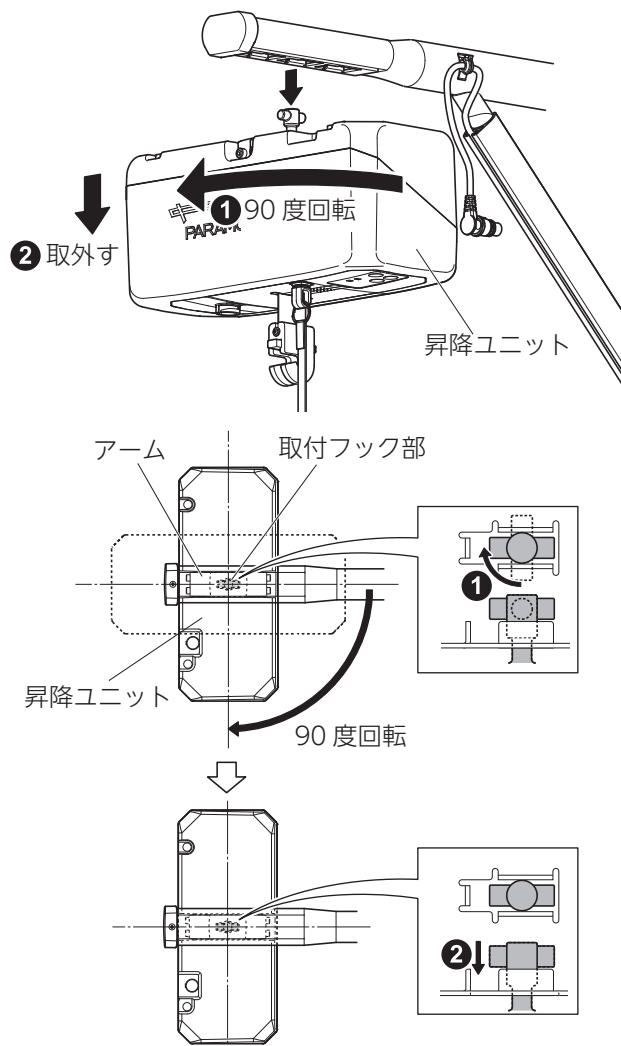
⑤ 昇降ユニットを持ち上げメインフレーム側にスライドしてください。



# 13 分解方法

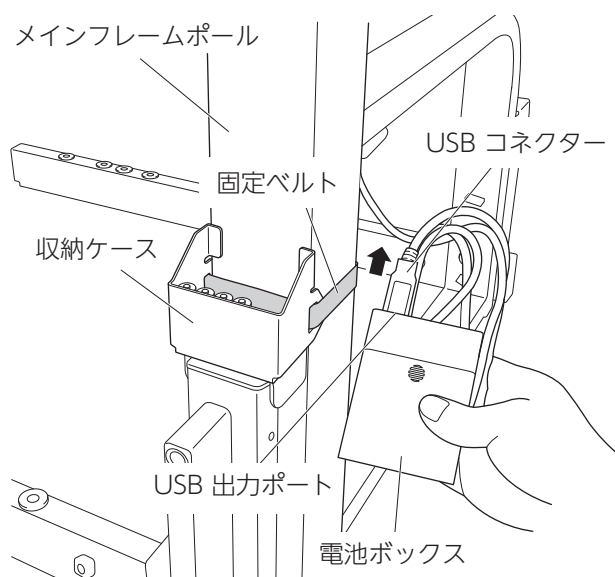
## 3. 昇降ユニット・ハンガー・手元スイッチの取外し

⑥昇降ユニットを 90 度回転させ取外してください。

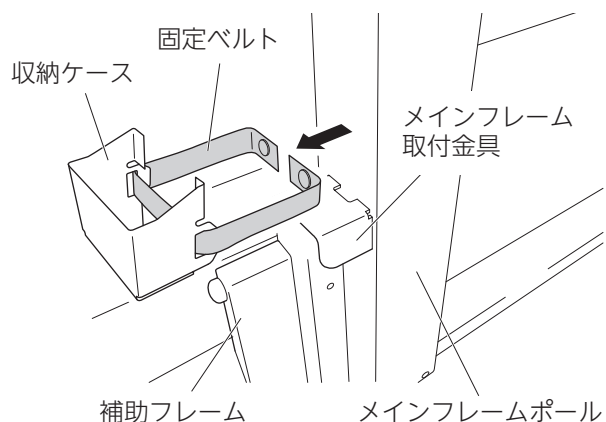


## 4. 電池ボックスの取外し

①電池ボックスから 3 分岐ケーブルの USB コネクターを取外してください。



## 4. 電池ボックスの取外し

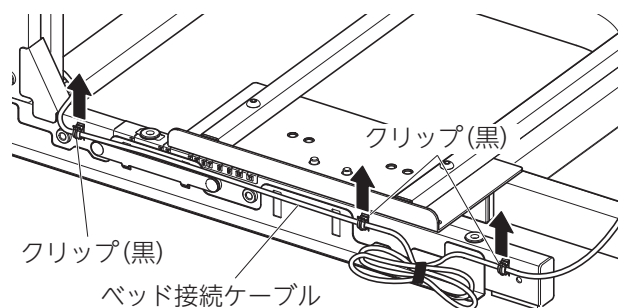


②固定ベルトのホックを外し、収納ケースをメインフレームポールから取外してください。

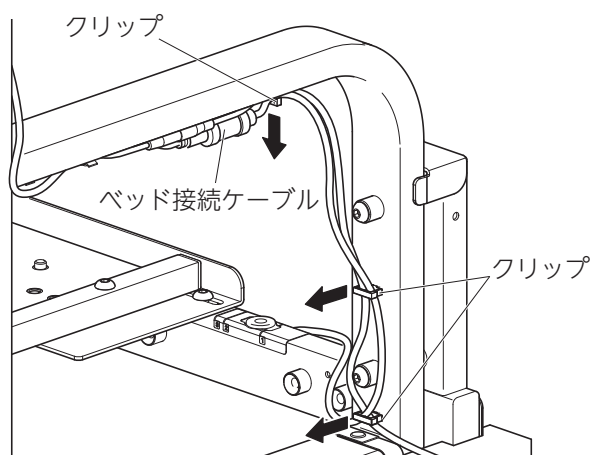
## 5. ベッド接続ケーブルの取外し



ベッド接続ケーブルを使用している場合は、下記①～③を行ってください。

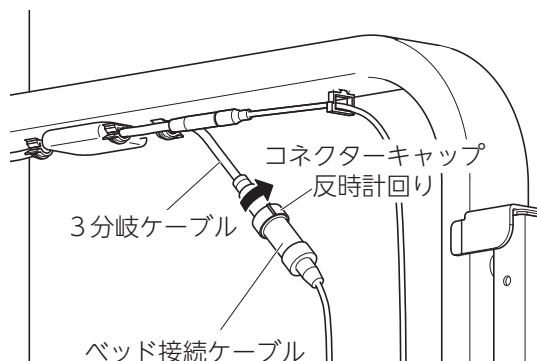


①クリップ(黒)からベッド接続ケーブルを外してください。(6ヶ所)

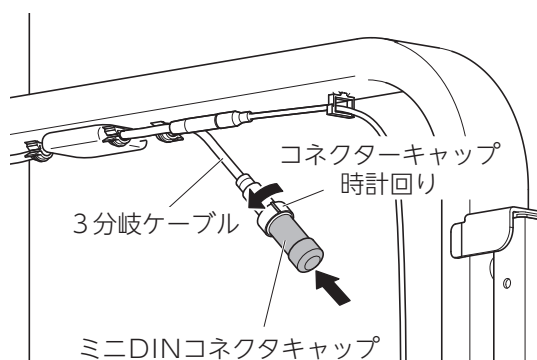


## 13 分解方法

### 5. ベッド接続ケーブルの取外し

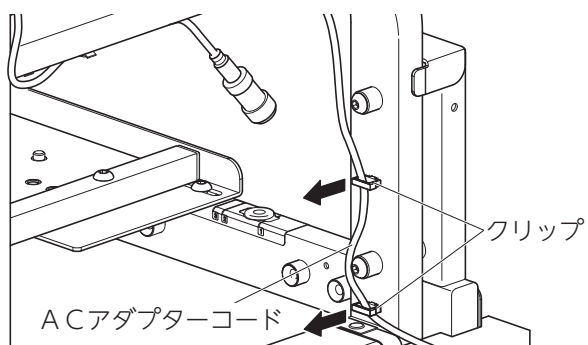


- ② ベッド接続ケーブルのコネクタキャップを反時計回りに回し、コネクタを外し、ベッド接続ケーブルを取外してください。



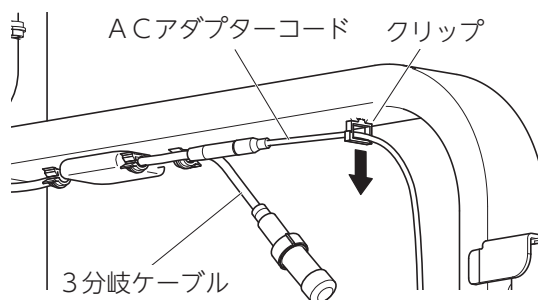
- ③ ミニDINコネクタキャップを取付けてください。

### 6. ACアダプターの取外し

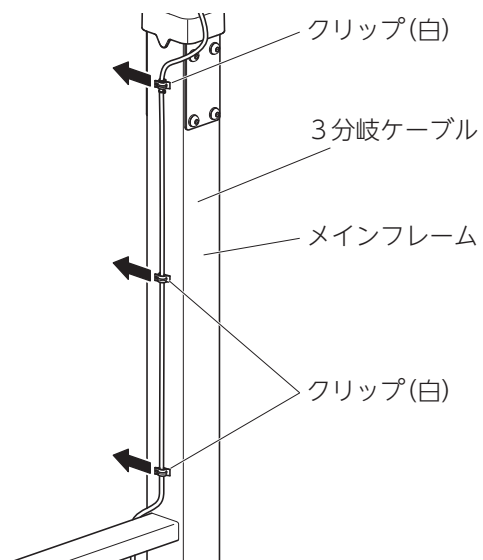


- ① ACアダプターのコードをクリップから外してください。(3ヶ所)

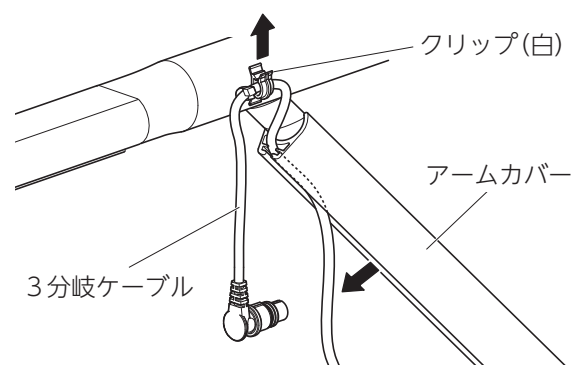
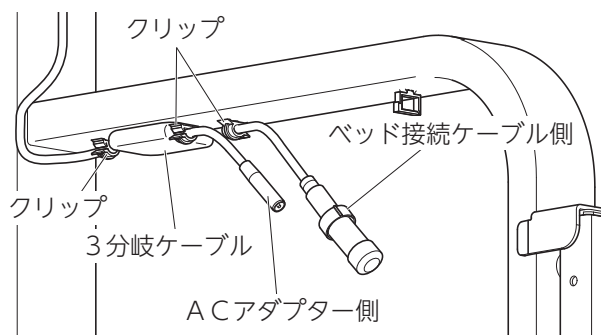
- ② ACアダプターのコネクタと3分岐ケーブルのコネクタを外し、ACアダプターを取外してください。



## 7.3分岐ケーブルの取外し



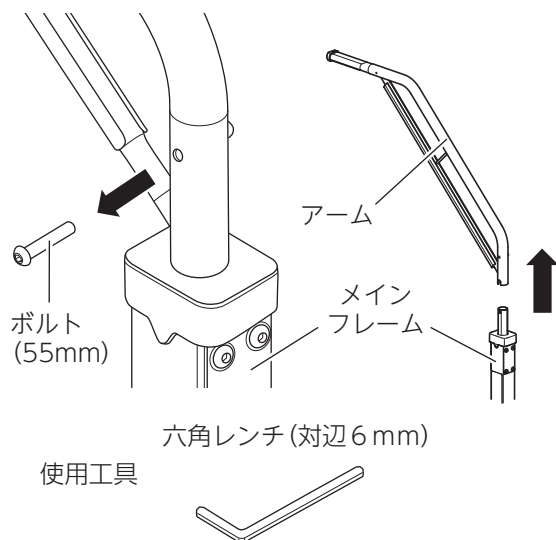
- ① 3分岐ケーブルをメインフレームのクリップから外してください。(6ヶ所)



- ② 3分岐ケーブルをアームのカバーおよびクリップ(白)から外し、3分岐ケーブルを取外してください。

## 13 分解方法

### 8. アームの取外し



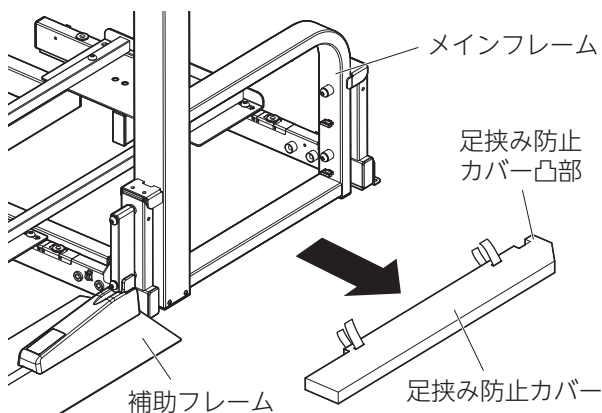
①アームとメインフレームを固定しているボルト(55mm)を六角レンチ(対辺6mm)で取外してください。

②アームをメインフレームから取外してください。



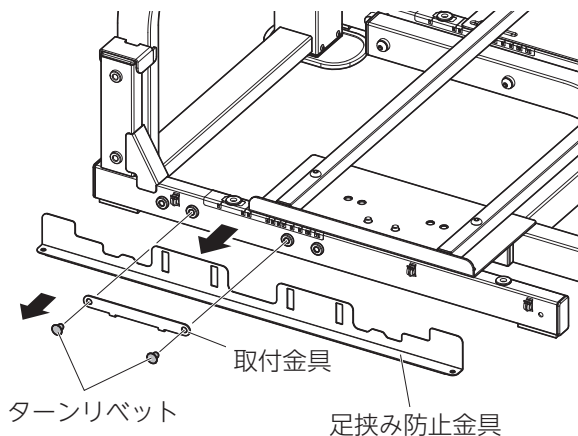
●アームを取外す際はアームが天井や家具、周辺の人などにぶつからないよう注意してください。周辺の人や物がけがをしたり、天井や家具などが破損・変形したりするおそれがあります。

### 9. 足挟み防止カバーの取外し



足挟み防止カバーの固定ベルトを外し、メインフレームから足挟み防止カバーを取外してください。

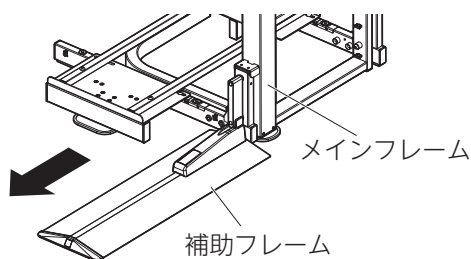
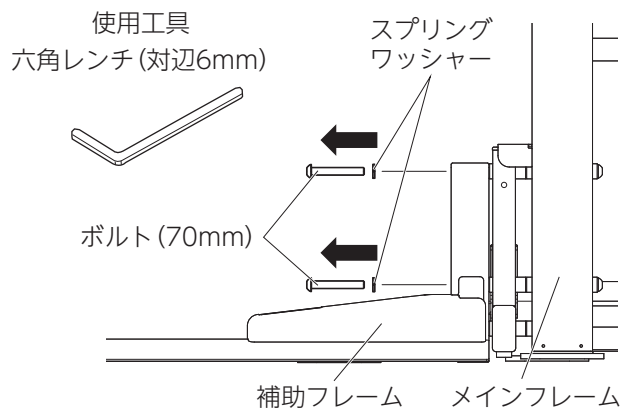
### 10. 補助フレームの取外し



①足挟み防止金具とサイドフレームを固定している取付金具とターンリベットを外し、足挟み防止金具を取外してください。

ターンリベットは反時計回りに回すと簡単に外すことができます。

## 10. 補助フレームの取外し

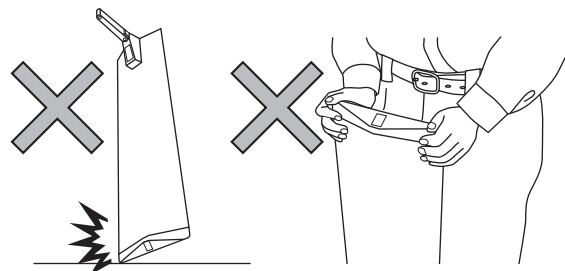


②補助フレームとメインフレームを固定しているボルト (70mm)を六角レンチ (対辺 6mm)で取外してください。(2ヶ所)

③補助フレームをメインフレームから取外してください。

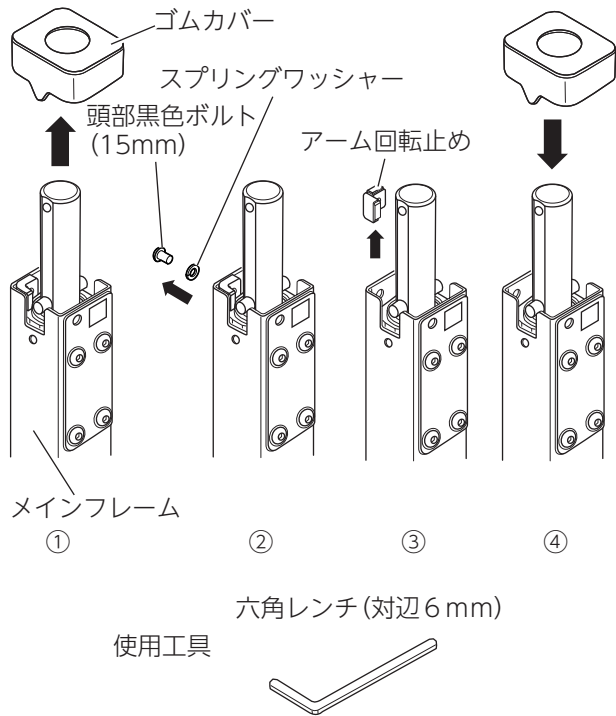


●補助フレームを取外し、補助フレームを移動する際は、補助フレームを落としたり、補助フレーム先端の角を持ったり、補助フレーム先端の角をゆかに当てたりしないように注意してください。誤って落とすと、補助フレームが足などにぶつかってけがをしたり、ゆかや家具、補助フレームなどが破損・変形したりするおそれがあります。また、補助フレーム先端の角でけがをしたり、ゆかを傷つけたりするおそれがあります。



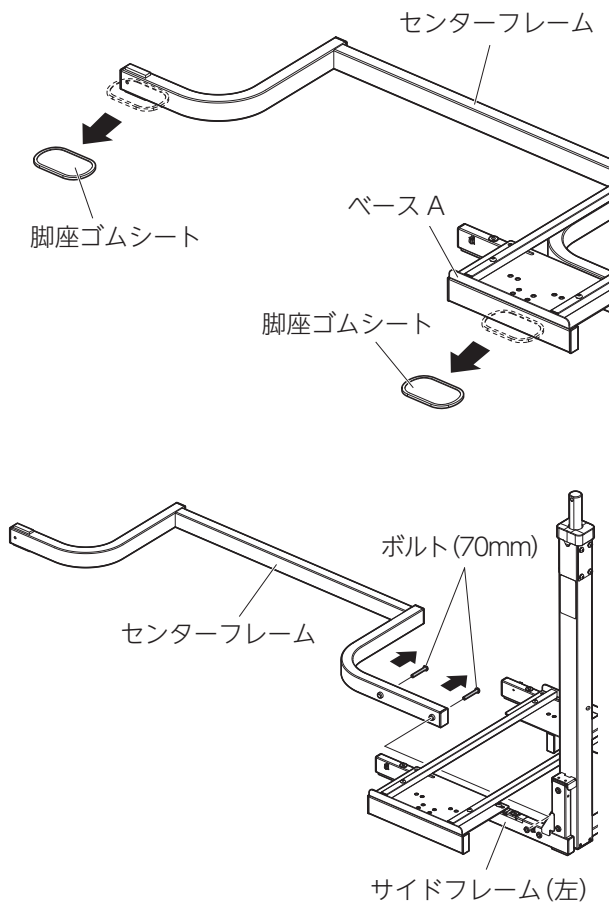
# 13 分解方法

## 11. アーム回転止めの取外し



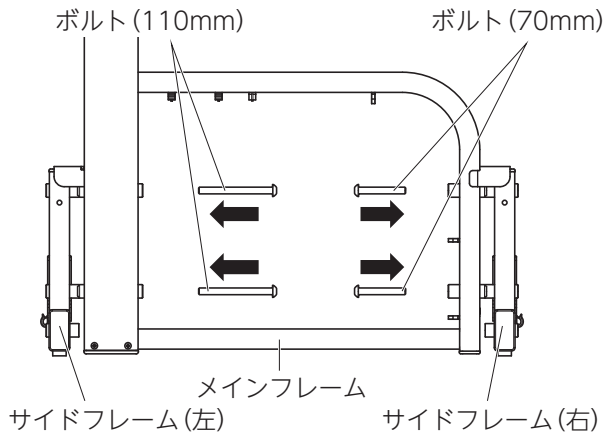
- ①メインフレームのゴムカバーを取外してください。
- ②メインフレームとアーム回転止めを固定している頭部黒色ボルト(15mm)を六角レンチ(対辺 6mm)でスプリングワッシャーと一緒に取外してください。
- ③アーム回転止めを取外してください。
- ④ゴムカバーをメインフレームに再び取付けてください。

## 12. センターフレームの取外し



- ①脚座ゴムシート 2 個を取外してください。
- ②サイドフレームとセンターフレームを固定しているボルト(70mm)を六角レンチ(対辺 6mm)で取外してください。

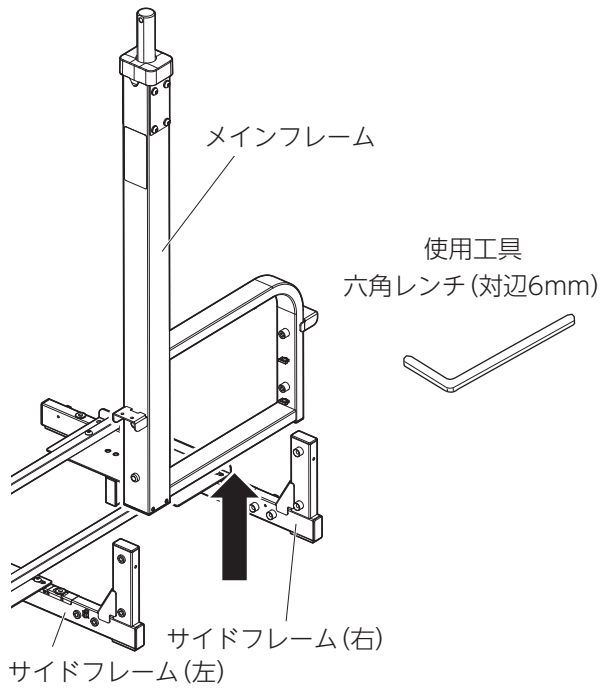
### 13. メインフレームの取外し



- ①メインフレームとサイドフレームを固定しているボルト (110mm、70mm) を六角レンチ (対辺 6mm) で取外してください。(4ヶ所)

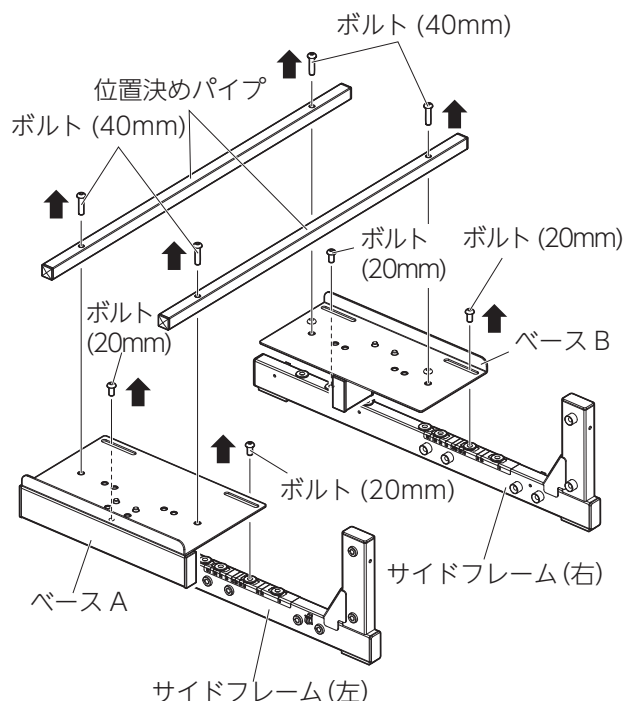


- ボルト(110mm、70mm)を取外す際は、メインフレームが倒れないよう、手でメインフレームを支えてください。メインフレームが倒れてけがをしたり、メインフレームやゆかなどが破損・変形したりするおそれがあります。



# 13 分解方法

## 14. サイドフレームの取外し



ボルト (40mm、20mm) を外しベースA、ベースB、位置決めパイプをサイドフレームから取外します。

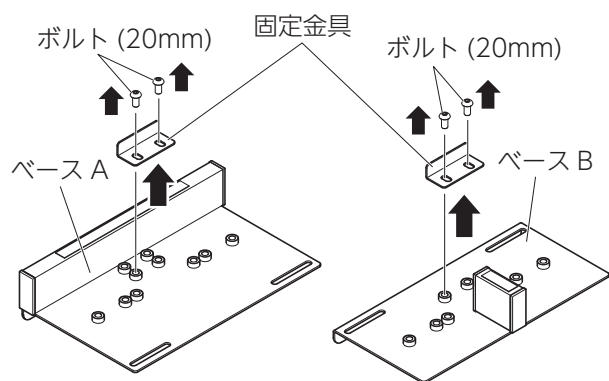


●ボルト (40mm、20mm) を取外す際は、サイドフレームが倒れないよう、手でサイドフレームを支えてください。サイドフレームが倒れてけがをしたり、サイドフレームやゆかなどが破損・変形したりするおそれがあります。

使用工具  
六角レンチ (対辺6mm)

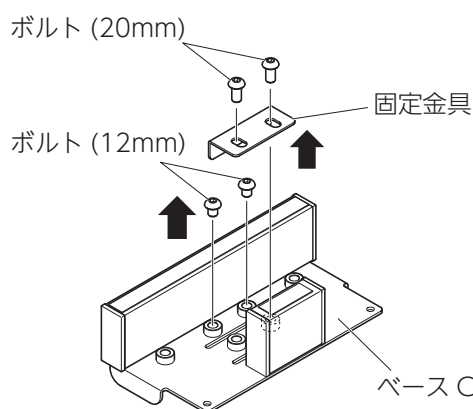


## 15. ベースA、ベースB、ベースCの分解



①ボルト (20mm) を外し、固定金具をベースA、ベースBから取外します。

使用工具  
六角レンチ (対辺6mm)

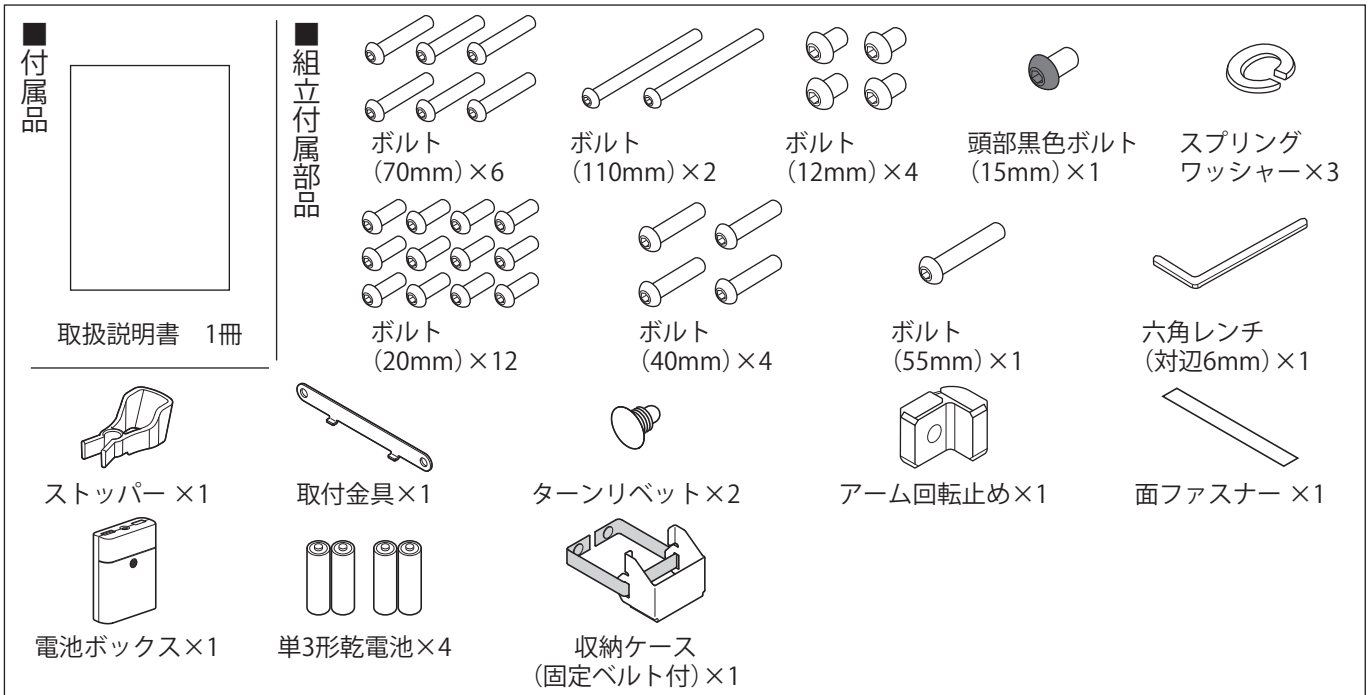


②ボルト (20mm、12mm) を外し、固定金具をベースCから取外します。

## 16. 付属部品と分解したユニットの保管

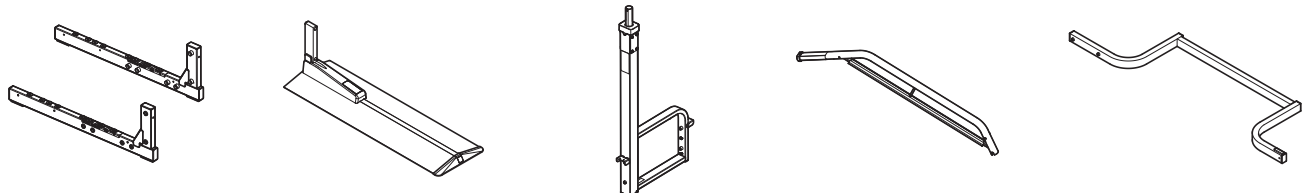
### ■付属品、組立付属部品、その他の部品の保管

介護リフトを分解した後、本取扱説明書および下記の組立付属部品、その他の部品を袋などに入れて保管してください。

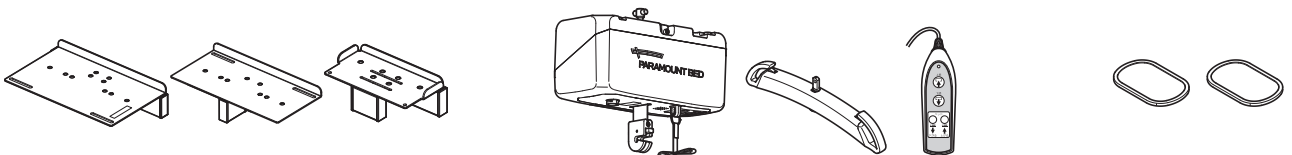


### ■その他の部品

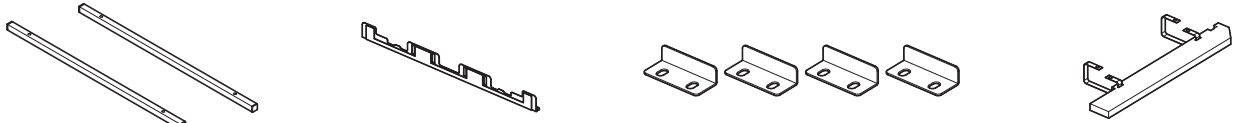
- ① サイドフレーム    ② 補助フレーム    ③ メインフレーム    ④ アーム    ⑤ センターフレーム



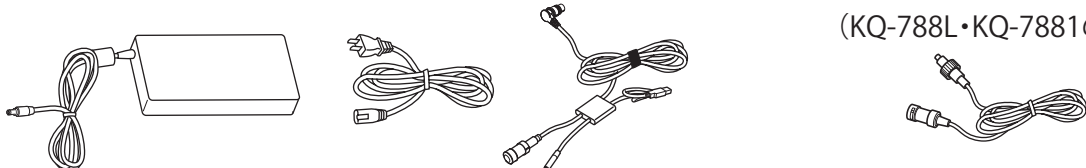
- ⑥ ベースA・ベースB・ベースC × 2    ⑦ 昇降ユニット・ハンガー手元スイッチ    ⑧ 脚座ゴムシート



- ⑨ 位置決めパイプ    ⑩ 足挟み防止金具    ⑪ 固定金具    ⑫ 足挟み防止カバー



- ⑬ ACアダプター・電源コード・3分岐ケーブル    ⑭ ベッド接続ケーブル (KQ-788L・KQ-7881のみ)



- 電源コードなどはひもなどで束ねて保管してください。
- 梱包するときには、取扱説明書、付属品などが梱包されていることを見やすい所に明記しておく、後日開梱するときに便利です。

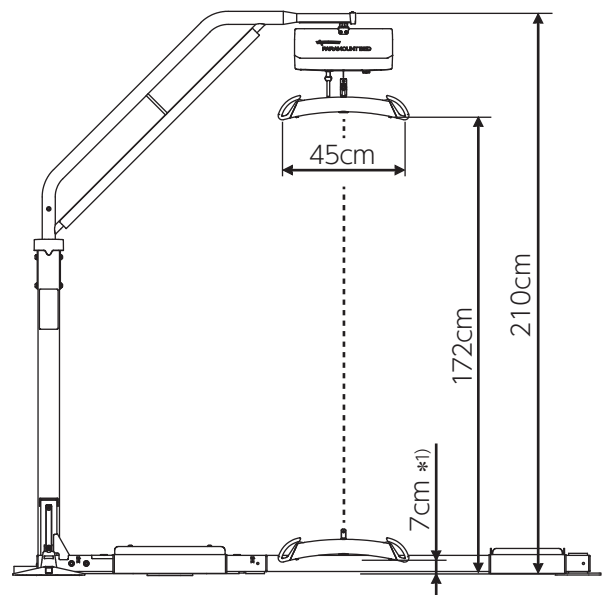
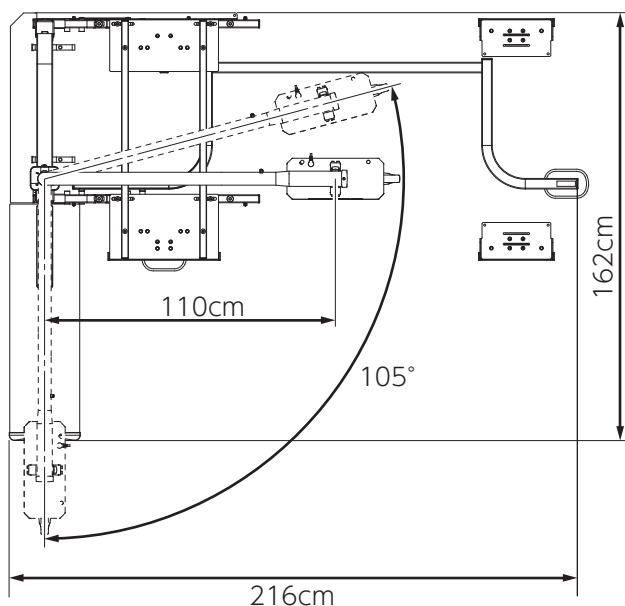
# 14仕様

品名		ベッド設置式リフト エレベオ		
品番		KQ-788S	KQ-788L	
寸法	全長 (cm)	216		
	全幅 (cm)	162		
	全高 (cm)	210		
	ハンガーフック最大高さ (cm)	172		
	アーム回転半径 (cm)	最大110 * <sup>1)</sup>		
	ストローク (cm)	165 * <sup>2)</sup>		
製品重量総質量 (kg)		86		
最大利用者体重 (kg)		100		
昇降ユニット	電撃に対する保護の形式		クラスII機器	
	水の有害な侵入に対する保護の程度		IP×4	
	消費電力		120W	
	電源		AC100V、50/60Hz	
	モーター	モーター形式		DC ギヤードモーター
		定格電圧		DC24V
最大連続使用時間		2分(休止時間 18分 * <sup>3)</sup> )		
昇降速度		4.5cm/秒		
動作保証条件	温度	10~40℃		
	湿度	30~75% RH		
耐用期間		8年[自己認証(当社データ)による] ※ただし消耗部品は除く		
電源コードの長さ		200cm		
ベッド接続ケーブル		なし	あり	
材質	本体	スチール製、粉体塗装		
	ストッパー	PP		
	昇降ユニットカバー	ABS		
	ハンガー	アルミ		

\*1) 昇降ユニットを取り付けるポジションにより変わります。(99cm、104.5cm、110cm)

\*2) 巻きあげベルトの巻き込み状態によって誤差が生じます。

\*3) 昇降ユニットを最大連続使用時間(2分)動作させた場合、昇降ユニットを過熱から保護するための時間。



\*1) 巻きあげベルトの巻き込み状態によって誤差が生じます。

# 15 アフターサービス

## 1. 保証書

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ日」などの記入をお確かめになり、記載内容をよくお読みいただき大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

販売店名・お買い上げ日の記入が無い場合は、品番・販売店・お買い上げ日が確認できるように、製品をお買い上げの領収書などを保証書と一緒に保管してください。

## 2. 修理を依頼されるとき

修理のご依頼は、お買い上げの販売店または弊社製品の修理受付窓口であるパラテクノコールセンター（下記参照）までご連絡ください。

### ■連絡していただきたい内容

- 品名、品番、製品識別表示ラベルの番号（28～31 ページ「6 部品の確認」参照）
- お買い上げ日
- 破損または異常の内容（できるだけ詳しく）
- お名前、ご住所および電話番号

### ■消耗部品について

- 手元スイッチ・巻きあげベルト・アーム回転止め・脚座ゴムシート・脚座ゴム・単3形乾電池は消耗部品です。

### ■保証期間内は

保証書の記載内容に基づき無償で修理いたします。ただし、保証期間内でも修理が有償になる場合があります。詳しくは保証書をご覧ください。

### ■保証期間が過ぎているとき

修理により使用できる製品については、ご希望により有償で修理いたします。

## 3. 部品の最低保有年数は

弊社ではこの介護リフトの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間を製造打ち切り後8年としております。

## 4. アフターサービスについてご不明な場合

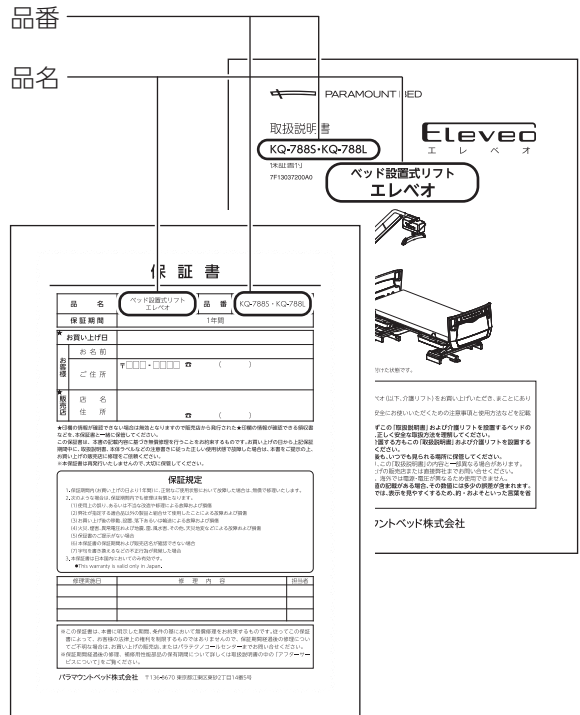
お買い上げの販売店またはパラテクノコールセンターまでお問い合わせください。

パラテクノコールセンター ☎0120-54-8639

受付時間：平日 8:00～18:00 / 土・日・祝日 9:00～17:00（年始は休業いたします）

【パラテクノ株式会社について】 弊社製品の修理や保守点検などの各種サービスを実施する会社です。  
**<パラマウントベッド 株式会社>**

本社	〒136-8670	東京都江東区東砂2丁目14番5号	☎(03)3648-1111 (大代)
東京支店	〒136-8670	東京都江東区東砂2丁目14番5号	☎(03)3648-1171 (代)
札幌支店	〒060-0062	札幌市中央区南2条西13丁目318番地11	☎(011)271-1181 (代)
仙台支店	〒984-0015	仙台市若林区卸町2丁目3番地の3	☎(022)239-5211 (代)
さいたま支店	〒336-0967	さいたま市緑区美園3丁目23番1	☎(048)878-0100 (代)
横浜支店	〒194-0004	東京都町田市鶴間5丁目3番33号	☎(042)795-8800 (代)
名古屋支店	〒461-0001	名古屋市東区泉1丁目20番17号	☎(052)963-0600 (代)
大阪支店	〒550-0001	大阪市西区土佐堀2丁目3番33号	☎(06)6443-8791 (代)
高松営業所	〒761-8031	高松市郷東町2-2-3	☎(087)881-8900 (代)
広島支店	〒733-0011	広島市西区横川町3丁目8番5号	☎(082)293-1311 (代)
福岡支店	〒812-0013	福岡市博多区博多駅東3丁目14番20号	☎(092)461-1131 (代)







# 保証書

品名	ベッド設置式リフト エレベオ	品番	KQ-788S・KQ-788L
保証期間	1年間		
★お買い上げ日			
お客様	お名前		
	ご住所	〒□□□ - □□□□ ☎ ( )	
★販売店	店名		
	住所	☎ ( )	

★印欄の情報が確認できない場合は無効となりますので販売店から発行された★印欄の情報が確認できる領収書などを、本保証書と一緒に保管してください。

この保証書は、本書の記載内容に基づき無償修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から上記保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルなどの注意書きに従った正しい使用状態で故障した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

※本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

## 保証規定

- 保証期間内（お買い上げの日より1年間）に、正常なご使用状態において故障した場合は、無償で修理いたします。
- 次のような場合は、保証期間内でも修理は有償となります。
  - 使用上の誤り、あるいは不当な改造や修理による故障および損傷
  - 弊社が指定する適合品以外の製品と組合せて使用したことによる故障および損傷
  - お買い上げ後の移動、設置、落下あるいは輸送による故障および損傷
  - 火災、煙害、異常電圧および地震、雷、風水害、その他、天災地変などによる故障および損傷
  - 保証書のご提示がない場合
  - 本保証書の保証期間および販売店名が確認できない場合
  - 字句を書き換えるなどの不正行為が発覚した場合
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
  - This warranty is valid only in Japan.

修理実施日	修理内容	担当者

※この保証書は、本書に明示した期間、条件の基において無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、お買い上げの販売店、またはパラテクノコールセンターまでお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書の中の「アフターサービスについて」をご覧ください。

パラマウントベッド株式会社 〒136-8670 東京都江東区東砂2丁目14番5号